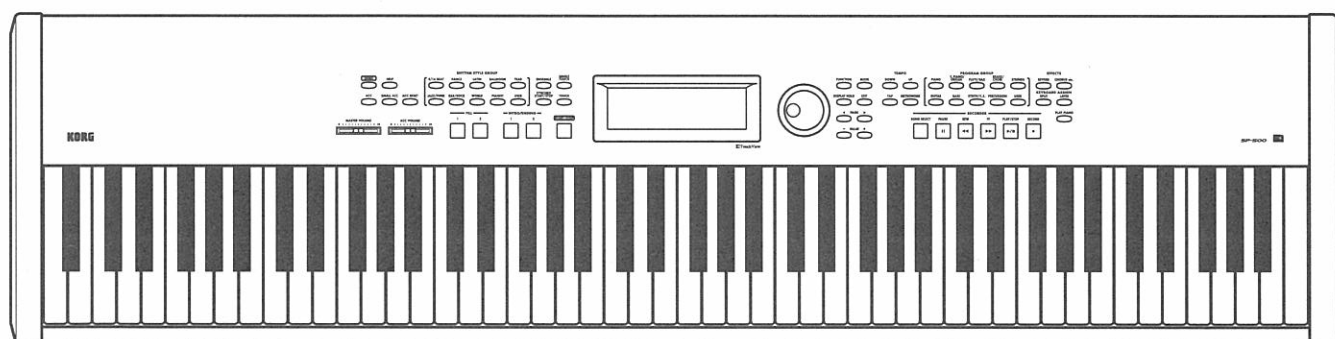


SP-500

DIGITAL PIANO

取扱説明書



 TouchView

KORG

GENERAL
MIDI

安全上のご注意




ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

デジタル・ピアノは、ご家庭の中で身近において、お子さまから専門家の方まで幅広くご愛用いただけます。

デジタル・ピアノは大きくて非常に重いものです。安全に使用していただくためにも、室内での設置場所や日常の取り扱いについては、十分に注意してください。また、設置や移動の際は必ず2人で行ってください。

小さなお子様のご使用になる場合は、ご家族の方が最初に教えてあげてください。

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- AC/ACパワーサプライのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- AC/ACパワーサプライのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
感電やショート恐れがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、AC/ACパワーサプライのプラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切ってAC/ACパワーサプライのプラグをコンセントから抜く。
 - AC/ACパワーサプライが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへ修理を依頼してください。
- ⊘ 本製品を分解したり改造したりしない。
- ⊘ 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。

- AC/ACパワーサプライのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、AC/ACパワーサプライのコードの上に重いものを乗せない。

コードが破損し、感電や火災の原因になります。

- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- 雨天時の野外などのような湿気の多い場所で、使用や保管はしない。
- 本製品の上に液体の入ったもの（水や薬品等）を置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。



- 濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- AC/ACパワーサプライをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。






- 長時間使用しないときは、AC/ACパワーサプライをコンセントから抜く。



- 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- 不安定な場所に置かない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。
- 地震時は本製品に近づかない。
- 本製品に前後方向から無理な力を加えない。
本製品が転倒する危険性があります。
- LCD画面を破損する恐れがあるので、次のようなことは絶対にしない。
 - シャープ・ペンシルのように先の鋭いもの、硬いものでLCD画面を強く押したりこすったりする。
 - LCD画面の隅を、ペンや爪などで強くこする。

目次

 はじめに	7
1. ご使用になる前に	7
付属品の確認	7
2. 本書の使い方	7
本書の表記について	7
3. おもな特長	8
4. 各部のなまえ	10
フロント・パネル	10
リア・パネル	11
操作パネル	12
 演奏するための準備	13
1. 電源をオンにする前に	13
接続	13
ヘッドホンを使うときは	13
譜面立てを使うときは	13
電源をオンにするときは	14
音量を調節するときは	14
 基本操作	15
1. ディスプレイ	15
ディスプレイのオブジェクトの名称	15
ディスプレイの濃さ	15
ディスプレイの使い方	15
基本画面	16
2. 操作パネル	16
3. ヘルプ機能	17

データについて

万一異常な動作をしたときに、メモリーの内容が消えてしまうことがありますので、大切なデータはデータファイラー等にセーブしておいてください。また、データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

演奏を楽しむためのエチケット

音楽を楽しむときには、周囲への音の配慮も大切です。演奏する時間によって、音量調節をしたり、ヘッドホンを使用しましょう。
また、ヘッドホン使用時、または小さな音量での演奏時に、鍵盤の機構上若干のメカニズム音が聞こえます。あらかじめご了承ください。

デモ演奏 19

1. デモ演奏を聴く 19
デモ曲を聴くときは 19
2. デモ曲で演奏の練習をする 21
右手と左手を別々に練習するときは 21
メロディー・パートの音を小さくするときは 21
デモ演奏のテンポを変えるときは 22

演奏してみよう 23

1. 音を出してみよう 23
電源をオンにするときは 23
2. 音色を選ぶ 24
音色を変更するときは 24
打楽器の音色を選ぶときは 25
[USER]プログラム・グループの音色を選ぶときは 25
3. 音色を組み合わせる 26
2つの音色を組み合わせで演奏するときは(レイヤー機能) 26
鍵盤の左右にちがう音色を設定して使うときは(スプリット機能) 27
ピアノとして演奏するときは 28
4. 音色に効果を加える 29
音に残響効果を加えるときは 29
音に変化などの効果を加えるときは 30
5. メトロノームに合わせて演奏する 31
メトロノームを鳴らすときは 31
テンポを調節するときは 32
6. ペダルを使う 33
7. 鍵盤のタッチ感を変える 34
8. [USER]プログラム・グループを使う 34
[USER]プログラム・グループに好みの音色を集めるときは 34
プログラム名を変更するときは 35

自動伴奏 37

1. 自動伴奏を使った演奏 37
自動伴奏を使うときは 37
テンポを変更するときは 39
全体の音量を調節するときは 40
パートごとに音量を調節するときは 40
パートをミュートするときは 40
2. いろいろな自動伴奏の機能 41
スタート/ストップ方法を変更するときは 41
コード指定方法を変更するときは 41
アンサンブルで演奏するときは 42
バリエーションを変えるときは 43
イントロをつけるときは 43
エンディングをつけるときは 43
フィルをつけるときは 44
リズム・スタイルに最適なプログラムにするときは 44
パートを減らした伴奏にするときは 44

3. [USER]リズム・スタイル・グループを使う	45
[USER]リズム・スタイル・グループに好みのスタイルを集めるときは	45
4. カスタム・リズム・スタイルの編集	46
自分でリズム・スタイルを作るときは	46
○ カスタム・スタイルのパラメーター一覧	47

録音してみよう 49

1. 演奏を録音する	49
基本的な録音 (リアルタイム・レコーディング)	49
自動伴奏を使って録音するとき	51
記録した演奏データを読み込むときは	51
2. いろいろな録音方法	53
クオンタイズを使って録音するとき	53
多重録音	53
曲の途中から録音するとき	54
オート・パンチ・イン/アウト	54
演奏しないで自動伴奏を録音する方法 (ステップ・レコーディング)	55
ステップ・レコーディングでコードを入力してみましょう	56
3. 編集機能	57
保存した録音データを編集するとき	57

ファンクション 63

1. 音の高さの調整	63
音の高さを微調整するとき	63
キーを変更するとき (移調)	63
オクターブを変更するとき	63
2. 音律を選ぶ	64
音律を設定するとき	65
好みの音律を作るとき	65
3. ペダルの設定	66
レイヤー、スプリット時のダンパー・ペダルの設定	66
アサインابل・スイッチの機能を設定するとき	66
4. オール・セットアップ	67
各設定を本体に記憶させるとき	67
5. 便利な機能	68
音の左右のバランスを調整するとき	68
ポップアップ画面の表示時間を変更するとき	68

他の機器との接続 69

1. MIDI機器との接続	69
MIDI (ミディ) とは?	69
MIDIの接続方法	69
MIDIチャンネルの設定	69
本機をマルチティンバー音源として使うときは	70
ローカル・オン/オフの設定	70
外部シーケンサーと同期させるときは	71
MIDIトランスポート	71
MIDI Filter	71

付録 73

故障とお思いになる前に	73
電源が入らない	73
音が出ない	73
音が途切れてしまう	73
特定の音域でピアノ音色の音程、音質がおかしい	73
高音域で音が出ない、低くなる	73
ペダルの効果が正しくかからない	73
DS-1H (別売) を使用したときに効果がかからない	73
録音できない	73
送信したMIDIデータに外部機器が応答しない	73
仕 様	74
プログラム・リスト	75
リズム・スタイル・リスト	78
ドラム・キット・リスト	81
デモ曲・リスト	83
認識できるコード一覧	84

索引 87



はじめに

このたびは、コルグ・デジタル・ピアノSP-500をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

1. ご使用になる前に

本書iiページにある「安全上のご注意」、「火災・感電・人身障害の危険を防止するには」、「注意」、「警告」の各項をよくお読みになってください。

付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。

- ・「取扱説明書」(本書です)
- ・ヘッドホン
- ・AC/ACパワー・サプライ
- ・ペダル
- ・譜面立て

2. 本書の使い方

本書の表記について

p. ■■: 参照するページを表します。

MeMO: これらのマークは、注意、アドバイスに関する説明を表します。

パネル: [...]スイッチ、ダイヤル、[...]スライダー: [...]で括った名称はフロント・パネル上にありますので、それぞれを操作してください。

ディスプレイ: “...”セル、“...”ボタン: “...”で括った名称はディスプレイ上にありますので、ディスプレイに表示するセル、ボタン、チェック・ボックス、ラジオ・ボタンを操作してください。

ヘルプ機能の言語設定で“English”にすると、すべて英語表示になります。“Japanese”にしたとき一部日本語表示にならないところもあります。

※ディスプレイの表示: 本書に記載されている各種のパラメーターの数値などは表示の一例ですので、本体のディスプレイの表示と必ずしも一致しない場合があります。

3. おもな特長

グランド・ピアノのようなタッチ感

低音部では重めに高音部では軽めといった、グランド・ピアノのように音域によって重量感が4段階に異なるRH2（リアル・ウェイトド・ハンマー・アクション2）鍵盤を採用しています。

多彩な音色

コルグ独自のステレオ・サンプリング音源の412音色（16のドラムキット音色を含む）を鍵盤で弾くことができます。

2つの音色を重ねて演奏するレイヤー機能や、鍵盤を分割して2つの音色を割り当てるスプリット機能も使えます。

多彩なリズム・スタイル

自動伴奏のスタイルは世界各地で作られたさまざまなリズム・スタイルを搭載しています。各国の特徴ある伴奏をつけて演奏を楽しむことができます。

エフェクト機能

コンサート・ホールで演奏しているような響きを加えるリバーブ効果や、音にうねりを与え広がりのある豊かな響きにするコーラスなどのデジタル・エフェクトを2系統（37種類）内蔵しています。

ペダル効果

ピアノ演奏にかかすことのできないダンパー・ペダルを接続する端子とソフト・ペダルなどに使えるアサインブル・スイッチ端子があります。別売のDS-1Hダンパー・ペダルを接続すると、ペダルを踏む深さで効果のかかり方が調整可能なハーフペダル機能を使うことができます。

メトロノーム機能

練習に便利なメトロノームもスイッチひとつで使うことができます。音量調節もできます。

レコーダー機能

テープ・レコーダー感覚で操作のできるレコーダーがあります。また、鍵盤以外に5トラック分の録音ができますので、ちょっとした室内楽やバンド楽譜の入力もできます。

もちろん、自動伴奏の録音もできますので、簡単に伴奏だけ録音ができます。

100曲まで本体のメモリーに保存することができ、電源をオフにしても消えることなく保存することができます。

ステップ・レコーディング機能

レコーダーには自動伴奏をコードとパネル操作に分けて1つずつ入力できるステップ・レコーディング機能があります。

この機能により、ピアノが弾けなくてもコード付きの楽譜から簡単に伴奏を録音することができます。

タッチ・コントロール機能

ピアノで一番たいせつなタッチを6種類変えることができます。タッチが弱くなりがちなお子さまから、本格的に弾きこなせる人まで使うことができます。また強弱のないタッチも選べますので、ハーブシコード等の音色の演奏に使うことができます。

音律

10種類の音律で古典音楽や中近東音楽なども弾くことができます。また、ユーザー・スケールにより自分で4種類までの音律を作ることができます。

音程の調節（トランスポーズ）

トランスポーズ機能がありますので、他の楽器や歌にキー（調）が合わせられないとき、簡単にキー（調）を変更して演奏することができます。

MIDI

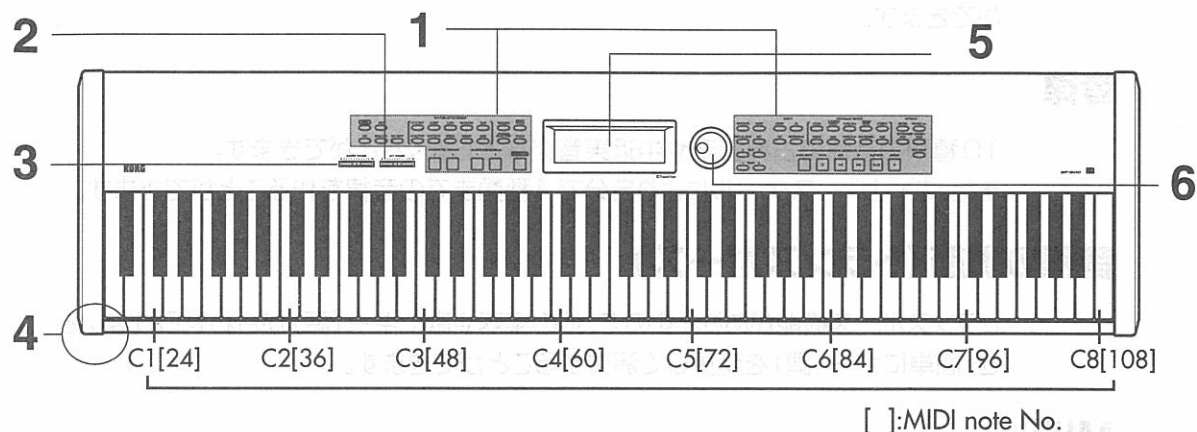
MIDI端子でコンピューターや他のMIDI機器と接続することができます。コンピューターのシーケンサーに録音したり、練習ソフトウェアを使用することができます。

タッチビュー方式のディスプレイ

64x240ドットLCDを採用して、グラフィカルでわかりやすい表示です。ディスプレイのパネル面を軽く触れるだけでスイッチとして働きます。

4. 各部のなまえ

..... フロント・パネル



1. 操作パネル

それぞれのスイッチの名前については、p.12の「操作パネル」を参照してください。

2. [ACC VOLUME] (アカンパニメント・ボリューム) スライダー

自動伴奏やデモ演奏を再生するときに鍵盤以外の音量を調節します。このボリュームを0にすると鍵盤の音以外は出ません。

3. [MASTER VOLUME] (マスター・ボリューム) スライダー

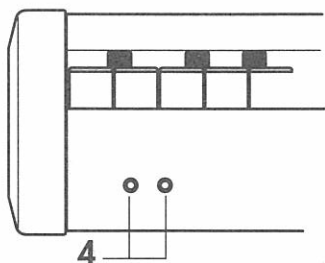
ヘッドホンやアウトプットから出る全体の音量を調節します。(p.14)

4. ヘッドホン端子

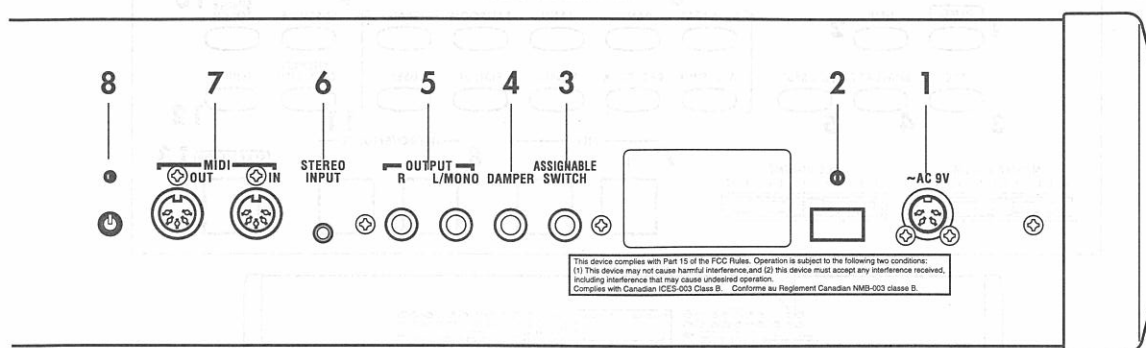
ステレオ・ヘッドホンをつなぎます。ヘッドホンは、2つまで同時につなぐことができます。市販のヘッドホンを使用する場合は、ミニプラグ・タイプのステレオ・ヘッドホンを使用してください。(p.13)

5. タッチ・スイッチ付きディスプレイ (p.15)

6. ダイアル (p.16)



リア・パネル



1. AC9V端子

付属のAC/ACパワー・サプライを接続します。
(※p.14)

2. [POWER] (パワー)スイッチ

電源をオンまたはオフにします。押すたびにオン、オフが切り替わります。(※p.14)

3. ASSIGNABLE SWITCH端子

付属のペダルや別売のDS-1Hダンパーペダルを接続します。(※p.13、33、66)

4. DAMPER (ペダル) 端子

付属のペダルや別売のDS-1Hダンパーペダルを接続します。(※p.13、33、66)

5. OUTPUT (アウトプット) 端子

オーディオ機器などのインプット端子と接続して音を出したり、テープ・レコーダーなどに演奏を録音するときに使用する端子です。音量は本機の[MASTER VOLUME]スライダーで調節します。
ステレオで接続するときはL/MONO端子とR端子に接続し、モノラルで接続するときはL/MONO端子だけに接続します。モノラル標準プラグのケーブルを使用します。

6. INPUT (インプット) 端子

CDプレーヤーなどオーディオ機器のアウトプット端子と接続して、本機のヘッドホンから音を出すための端子です。音量は接続したオーディオ機器のボリュームで調節します。
ステレオ・ミニ・プラグのケーブルを使用します。

7. MIDI 端子

シンセサイザー、シーケンサー、リズムマシンなどのMIDI機器と接続して、情報を交換するための端子です。※p.69「MIDI機器との接続」

8. コントラスト

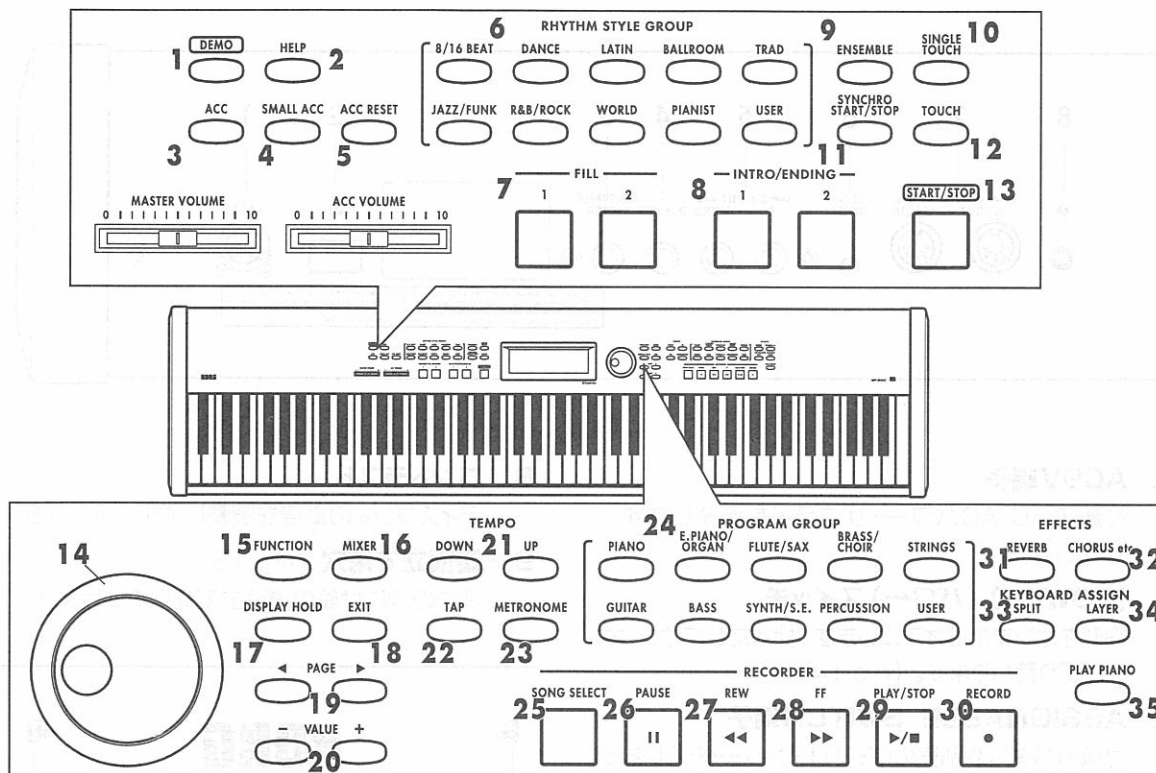
ディスプレイの輝度を調整します。(※p.15)

9. 譜面立て用穴 (※p.13)

2つの穴に付属の譜面立てを取りつけます。



操作パネル



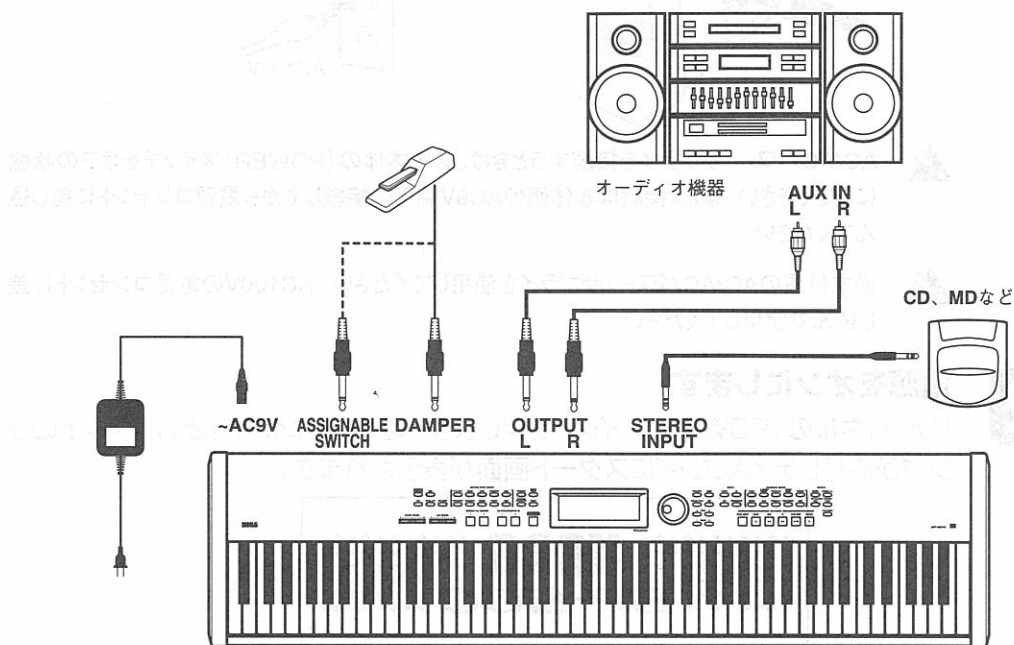
- | | | | |
|--|------|---|------|
| 1. [DEMO](デモ)スイッチ | p.19 | 14. [BEAT](ビート)ランプ | p.39 |
| 2. [HELP](ヘルプ)スイッチ | p.17 | 15. [FUNCTION](ファンクション)スイッチ | p.63 |
| 3. [ACC](アカンパニメント)スイッチ | p.37 | 16. [MIXER](ミキサー)スイッチ | p.40 |
| 4. [SMALL ACC](スモールACC)スイッチ | p.44 | 17. [DISPLAY HOLD]
(ディスプレイ・ホールド)スイッチ | p.16 |
| 5. [ACC RESET](ACCリセット)スイッチ | p.38 | 18. [EXIT](エグジット)スイッチ | p.16 |
| 6. [RHYTHM STYLE GROUP]
(リズム・スタイル・グループ) | p.38 | 19. [PAGE◀, ▶](ページ◀, ▶)スイッチ | p.16 |
| 7. [FILL 1, 2](フィル 1、2)スイッチ | p.44 | 20. [VALUE-, +](バリュー -, +)スイッチ | p.16 |
| 8. [INTRO/ENDING 1, 2]
(イントロ/エンディング 1、2)スイッチ | p.43 | 21. [TEMPO UP, DOWN](テンポ・アップ、ダウン)
スイッチ | p.39 |
| 9. [ENSEMBLE](アンサンブル)スイッチ | p.42 | 22. [TAP TEMPO](タップ・テンポ)スイッチ | p.39 |
| 10. [SINGLE TOUCH](シングル・タッチ)スイッチ | p.44 | 23. [METRONOME](メトロノーム)スイッチ | p.31 |
| 11. [SYNCHRO START/STOP]
(シンクロ・スタート/ストップ)スイッチ | p.41 | 24. [PROGRAM GROUP](プログラム・グループ) | p.24 |
| 12. [TOUCH](タッチ)スイッチ | p.34 | 25. [SONG SELECT](ソング・セレクト)スイッチ | p.51 |
| 13. [START/STOP](スタート/ストップ)スイッチ | p.38 | 26. [PAUSE](ポーズ)スイッチ | p.52 |
| | | 27. [REW](REWIND: 巻き戻し)スイッチ | p.52 |
| | | 28. [FF](FAST FORWARD: 早送り)スイッチ | p.52 |
| | | 29. [PLAY/STOP](プレイ/ストップ)スイッチ | p.50 |
| | | 30. [RECORD](レコード)スイッチ | p.49 |
| | | 31. [REVERB](リバーブ)スイッチ | p.29 |
| | | 32. [CHORUS etc.](コーラス)スイッチ | p.30 |
| | | 33. [SPLIT](スプリット)スイッチ | p.27 |
| | | 34. [LAYER](レイヤー)スイッチ | p.26 |
| | | 35. [PLAY PIANO](プレイ・ピアノ)スイッチ | p.28 |

演奏するための準備

1. 電源をオンにする前に

電源をオンにする前に、付属のペダルの接続や別売のモニターアンプスピーカー、オーディオ機器の接続などを行います。

接続

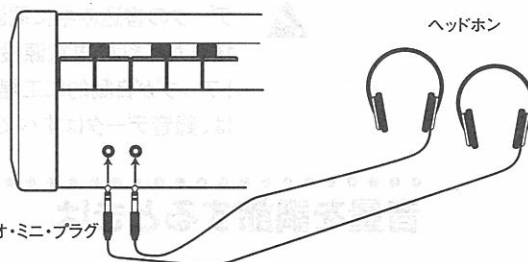


ヘッドホンを使うときは

本体左側手前にあるヘッドホン端子にステレオ・ヘッドホンのプラグ(ステレオ・ミニ・プラグ)を差し込みます。ヘッドホン端子は2つありますので、2人で演奏を楽しむことができます。

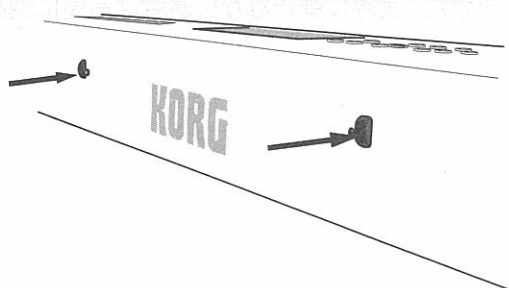


ヘッドホンを使用する際は、耳の保護のために大きな音量で長い時間聴かないでください。



譜面立てを使うときは

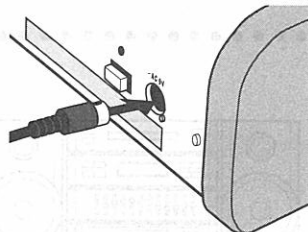
譜面立てをリア・パネルの2つの取り付け穴に差し込んでお使いください。



電源をオンにするときは

1 AC/ACパワー・サプライを差し込みます

AC/ACパワー・サプライの丸型コネクタを本体背面のAC9V端子に差し込みます。AC/ACパワー・サプライのプラグを電源コンセントに差し込んでください。



⚠ AC/ACパワー・サプライを接続するときは、必ず本体の [POWER] スイッチをオフの状態にしてください。また、接続は本体側のAC9V端子に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 必ず付属のAC/ACパワー・サプライを使用してください。AC100Vの電源コンセントに差し込んで使用してください。

2 電源をオンにします

リア・パネルの [POWER] スイッチを押します。電源をオンにすると、パネル上のランプが点灯しディスプレイにスタート画面が表示されます。



電源をオフにするときは

もう一度 [POWER] スイッチを押します。電源をオフにすると、パネル上のランプがすべて消灯します。

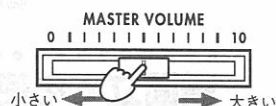
⚠ データの書き込み中に電源をオフするとメモリの内容が壊れることがあります。メモリ内容が壊れたときは、再電源投入時にユーザーリズムスタイル、ユーザープログラム、オールセットアップが自動的に工場出荷時の状態になります。また、録音データの一部が壊れた場合は、録音データはすべて工場出荷時の状態になります。

音量を調節するときは

[MASTER VOLUME] スライダーでヘッドホン端子、リア・パネルの [OUTPUT] 端子から出力される音量を調節します。

[MASTER VOLUME] スライダーを中程まで上げます。スライダーを右に動かすと音が大きくなり、左に動かすと音が小さくなります。

“0” の位置では音が出ません。実際に弾きながら適度な音量に調節してください。



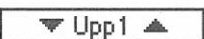
1. ディスプレイ

ディスプレイのオブジェクトの名称

SP-500のディスプレイは、タッチ・パネル式のタッチ・ビュー・システムを搭載しています。ディスプレイに表示されるボタンやセル（これらをオブジェクトといいます）を直接押すことで、ページの選択、値の設定、選択位置の移動、設定の変更など、さまざまな操作を行ないます。

セル（角の丸い四角枠）:  8 Beat

このセルを押すとセルの表示が反転します。このときにダイヤルや[VALUE]スイッチでその値を変更することができます。セルに“▲”、“▼”があるときは、“▲”、“▼”の部分を押してセル自身の値を変更することができます。

ボタン（四角い枠）:  Upp1 ▲

このボタンを押すことによって、ボタンに表記している内容を実行したり、ページを開いたりします。ボタンに“▲”、“▼”があるときは、“▲”、“▼”の部分を押して対応するセルの値を変更することができます。

チェック・ボックス: ☒ On ☐ Off

このチェック・ボックスを押すと、押すごとにオン、オフが切り替わります。オンのときはボックスが塗り潰された状態になります。

ラジオ・ボタン: ☒ On ☐ Off

このボタンはいくつかの項目の中から1つの項目だけ選ぶときに使います。ボタンを押すとその項目が選択されます。

ディスプレイの濃さ

ディスプレイの濃さはリア・パネルの[CONTRAST]つまみを回して調節します。



ディスプレイの使い方

ディスプレイに表示されるオブジェクトは、軽く指で触るだけで反応します。

あまり強く押すと、反応しなかったり故障の原因になりますので注意してください。

表示されているオブジェクトがグレー表示（網かけ）になっているときは、そのオブジェクトを押すことができません。

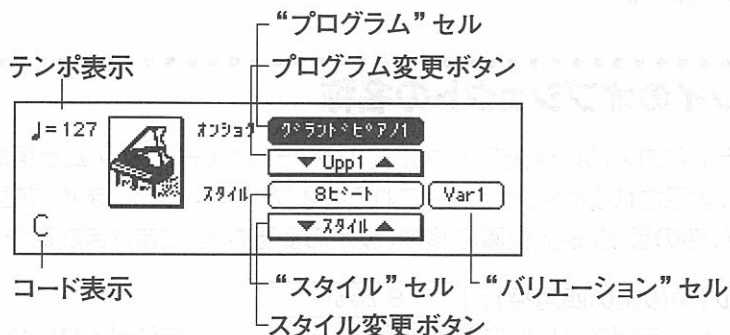



ディスプレイを破損する恐れがありますので、下記のようなことは、絶対にしないでください。

- ・シャープ・ペンシルのように先の鋭いものや硬いもので、ディスプレイを強く押したり、こすったりする。
- ・ディスプレイの隅を、ペンや爪などで強くこする。

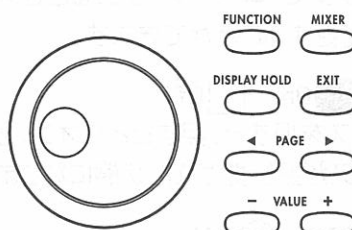
基本画面

電源をオンにしたときに表示されるページです。本機の演奏はおもにこの基本画面上で行います。



 ディスプレイに電源オン、オフ時にしま状にノイズが出るありますが、故障ではありません。

2. 操作パネル



[PAGE ◀、▶]スイッチ

音色やスタイルを選ぶときなど、ディスプレイに“1/2”、“1/3”などの表示がある場合は、このスイッチを使ってディスプレイのページを前後させることができます。

[EXIT]スイッチ

元のページに戻るときに使います。

[DISPLAY HOLD]スイッチ

[DISPLAY HOLD]スイッチのランプ消灯時は、音色やスタイルを選ぶために[PROGRAM GROUP]や[RHYTHM STYLE GROUP]の各スイッチを押すと、選んだ音色やスタイルのページが数秒間表示されたあとに、自動的に元のページに戻ります。

このようなページのことを**ポップアップ画面**といいます。

[DISPLAY HOLD]スイッチのランプ点灯時は、ポップアップ画面が表示されたままになります。このとき[EXIT]スイッチを押すと元のページに戻ります。

ポップアップ画面を表示している時間は自由に設定することができます。(p.68)

電源オン時は、[DISPLAY HOLD]スイッチはオフ(ランプ消灯)になっていますが、ご自分の好みに合わせて設定を切り換えてください。

[VALUE+、-]スイッチ、ダイヤル

ディスプレイ内のセルの値は、フロント・パネルのダイヤルまたは[+]スイッチ、[-]スイッチで設定します。

値を小さく変化させるときは[+]スイッチ、[-]スイッチを使用し、値を大きく変化させるときはダイヤルを使用します。

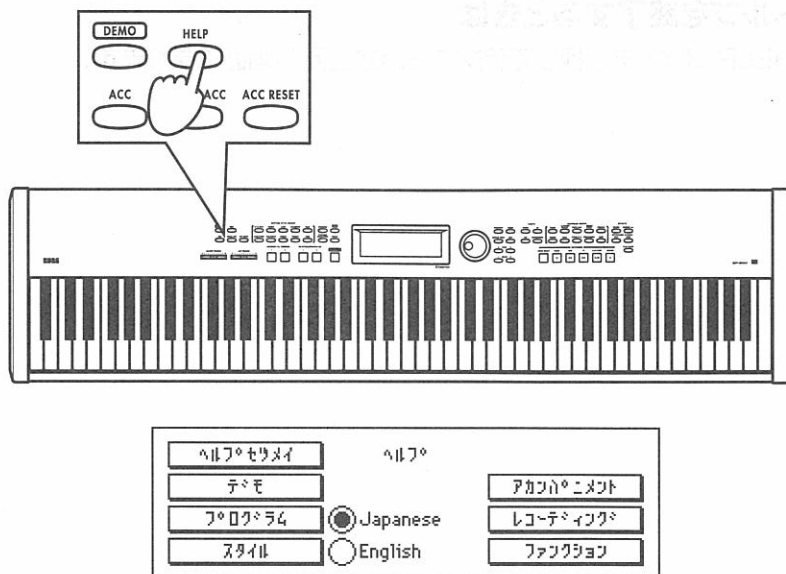
3. ヘルプ機能

ヘルプ機能は、本機の各機能の簡単な説明をディスプレイで確認することができます。

1

[HELP]スイッチを押します

[HELP]スイッチのランプが点灯し、ディスプレイにヘルプ項目の一覧が表示されます。




2

表示する言語を選びます

ヘルプの内容は日本語または英語で表示することができます。日本語で表示するときは“Japanese”ラジオ・ボタンを、英語で表示するときは“English”ラジオ・ボタンを押します。

ヘルプ以外のディスプレイ表示の表記を変更するときは

同様の手順でヘルプ画面以外のプログラム名や一部のボタン名などのディスプレイの表示を、英語表記または日本語表記にすることができます。

 切り換わり中は、絶対に電源をオフにしないでください。

3

項目を選びます

説明を見たい項目をディスプレイのボタンで選びます。

ヘルプのせりめい (Introduction)	ヘルプ画面の操作と基本機能の説明
デモ (Demo)	デモを聴く
プログラム (Program)	音色を変える
スタイル (Style)	リズム・スタイルを変える
アカン・コメント (Accompaniment)	自動伴奏を使う
レコーディング (Recording)	録音する
ファンクション (Function)	[FUNCTION]の各ページの機能リスト

各項目の画面でのシンボル説明

[]内の名称はパネル上のスイッチ名です。

” ”内の名称は画面上のボタン名です。

“>>”はヘルプのその項目の最初のページです。

“<<”はヘルプのその項目の最後のページです。

“⇄”は前後のページがあります。

“[]:ON”はスイッチを押してランプを点灯させるという意味です。

“[]:OFF”はスイッチを押してランプを消灯させるという意味です。

4**ページを進めます**

[PAGE ▶]スイッチを押すと次のページが表示されます。

[PAGE ◀]スイッチを押すと前のページに戻ります。

他の項目をみるときは

[EXIT]スイッチを押します。ヘルプ項目の一覧の画面に戻ります。

5**ヘルプを終了するときは**

[HELP]スイッチを押してランプを消すと元の画面に戻ります。

デモ演奏

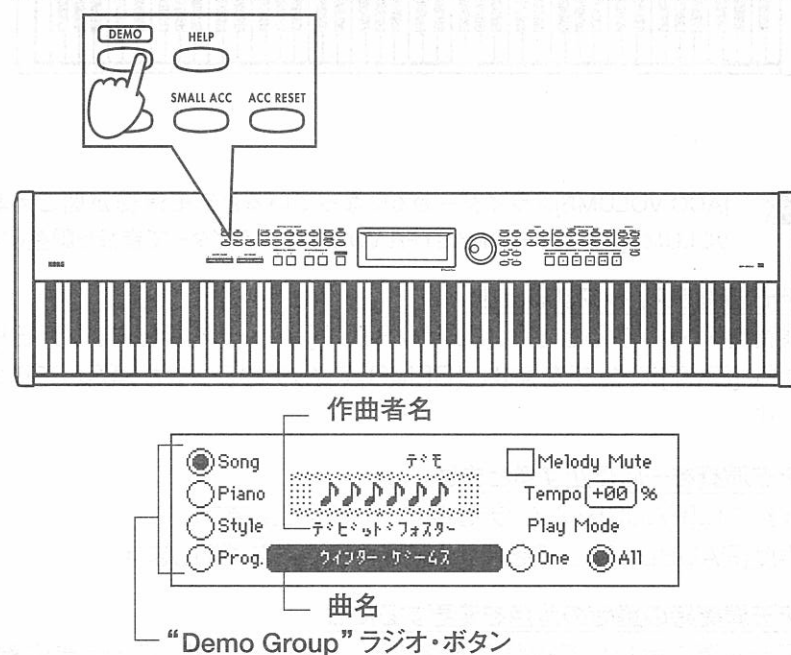
1. デモ演奏を聴く

本機には、ソング・デモを6曲、ピアノ曲デモを24曲、スタイル・デモを9曲、音色デモを9曲内蔵しています。デモ演奏を聴いて、本機の豊かな音色とその表現力を確認してください。

デモ曲を聴くときは

1 [DEMO]スイッチを押します

[DEMO]スイッチのランプが点灯し、“デモ”ページが表示されます。



2 “Demo Group”を選びます

デモ曲のグループを“Demo Group”ラジオ・ボタンを押して選びます。



3 曲を選びます

“曲名”セルを押して、ダイヤルか[VALUE]スイッチで聴きたい曲を選びます。デモ曲の曲名はp.83を参照してください。

MeMO “曲名”は次の各スイッチを押して選ぶことができます。
[RHYTHM STYLE GROUP]の中から聴きたいデモ曲のリズム・スタイルのスイッチを押すと“Style”、[PROGRAM GROUP]の中から聴きたいデモ曲のプログラム・グループのスイッチを押すと“Prog.”が選ばれ、それぞれのデモ曲が演奏されます。

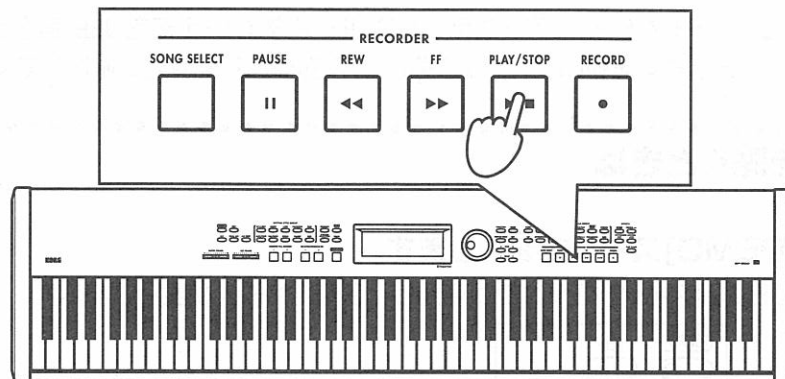
選んだグループの曲をすべて聴くときは

“Play Mode”の“All”ラジオ・ボタンを押すと、選んだ曲からその“Demo Group”のすべての曲を順番にくり返し演奏します。“One”ラジオ・ボタンを押したときは、選んだ曲だけを演奏します。

4

デモ演奏をスタートします

[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します。



[ACC VOLUME]スライダーが0になっているとデモ演奏が聞こえません。[ACC VOLUME]スライダーと[MASTER VOLUME]スライダーで音量を調整してください。

デモ演奏をストップするとき

演奏をストップするときは、[PLAY/STOP]スイッチを押します。デモ曲を聴き終えたら、[EXIT]スイッチを押すと[DEMO]スイッチのランプが消灯して基本画面に戻ります。

デモ演奏を一時停止するときは

演奏中に[PAUSE]スイッチを押すと一時停止します。
再度[PAUSE]スイッチを押すと続きから演奏を再開します。

デモ演奏時の鍵盤の音色を変更するには

デモ演奏に合わせて鍵盤で演奏することもできます。このときの鍵盤の音色は[DEMO]スイッチを押す前の音色になります。音色を変更したいときには、再度[DEMO]スイッチを押して、基本画面に戻って音色を変更してください。▶p.24「音色を選ぶ」

2. デモ曲で演奏の練習をする

“Demo Group”で“Piano”または“Song”ラジオ・ボタンを選んだときは、デモ曲に合わせて演奏の練習ができる、次の機能が使えます。

右手と左手を別々に練習するときは

ピアノ・デモ曲では、右手のパートまたは左手のパートの一方のパートをデモ演奏させ、もう一方のパートの音を小さくして、音を小さくしたパートを自分で演奏することができます。

1

練習したい曲を選びます

「デモ曲を聴くときは」の手順1～3を参照して、“Demo Group”で“Piano”ラジオ・ボタンを選び、“曲名”セルで曲を選びます。



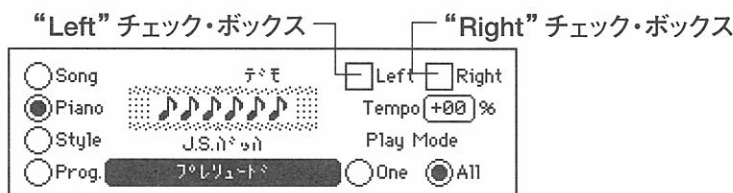
“Demo Group”で“Piano”以外のラジオ・ボタンを選んだときは、この操作はできません。

2

練習したいパートの音を小さくします

左手パートを練習するときは“Left”チェック・ボックスを押し、オンにします。

右手パートを練習するときは“Right”チェック・ボックスを押し、オンにします。



3

デモ演奏を始めます

[PLAY/STOP]スイッチを押してデモ演奏を開始します。

デモ演奏に合わせて、音を小さくしたパートを演奏してみましょう。

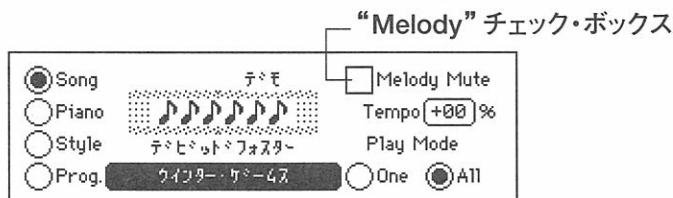
MeMO

オンにしたパートは[ACC VOLUME]スライダーの半分の音量になります。オフのパートは鍵盤と同じ音量になります。鍵盤の音量は[MASTER VOLUME]スライダーで調節します。音を小さくしたパートの音量は[ACC VOLUME]スライダーで調節できます。

メロディー・パートの音を小さくするときは

“Demo Group”で“Song”ラジオ・ボタンを選んだときは、メロディー・パートの音量を小さくすることができます。

“Melody”チェック・ボックスをオンにすると、メロディーのパートの音量が小さくなります。



デモ演奏のテンポを変えるときは

演奏がむずかしいときには、テンポを遅くし、余裕あるテンポで再生することができます。

1

“Tempo”を設定します

“Demo” ページの “Tempo” セルを押してダイヤルまたは[VALUE]スイッチで設定を変更します。“+00%” は元のテンポで、“+” の値にするとテンポが早く、“-” の値でテンポが遅くなります。設定できる範囲は-50%～+50%です。

演奏してみよう

1. 音を出してみよう

まずは、電源を入れて鍵盤を弾いて音を出してみましょう。

電源をオンにするときは

p.14の接続の手順を参照して、AC/ACパワー・サプライ、ヘッドホン、ペダルを接続してから、本機の電源をオンにします。

1 電源をオンにします

[VOLUME]スライダーは0付近に合わせておきます。

リア・パネルの[POWER]スイッチを押します。電源をオンにすると、パネル上のランプが点灯しディスプレイにスタート画面が表示されます。



電源をオフにするときは

もう一度[POWER]スイッチを押します。電源をオフにすると、パネル上のランプがすべて消灯します。

2 鍵盤を弾きます

鍵盤を弾きながら、徐々に[VOLUME]スライダーで音量を調節します。

MeMO モニター・スピーカーやラジカセ、オーディオ機器に接続してお使いの方は、それらの出力ボリュームも合わせて調節します。

音量を調節するときは

[MASTER VOLUME]スライダーを中程まで上げます。スライダーを右に動かすと音が大きくなり、左に動かすと音が小さくなります。“0”の位置では音が出ません。実際に弾きながら適度な音量に調節してください。



2. 音色を選ぶ

本機には412の音色が10のグループに分かれて内蔵されています。これらの各グループに収められているそれぞれの音色を**PROGRAM (プログラム)**といいます。

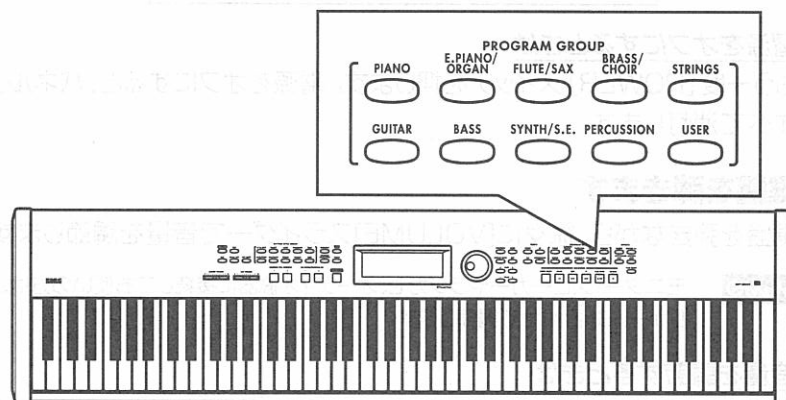


音色を変更するときは

1 プログラム・グループを選びます

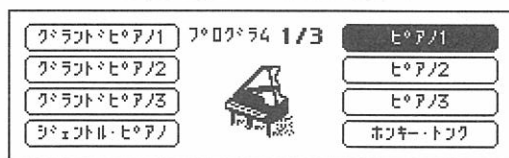
[DISPLAY HOLD]スイッチを押してオンにしてから [PROGRAM GROUP] のいずれかのスイッチを押して、弾きたい音色が収められているプログラム・グループを選びます。ディスプレイにポップアップ画面が表示されます。

MeMO [DISPLAY HOLD]スイッチを押してオンにすると、ポップアップ画面が自動的に閉じずに表示したままになります。



2 プログラムを選びます

表示されたポップアップ画面から弾きたいプログラム名を押して選びます。画面に“1/2”や“2/3”などが表示されているときは、[PAGE ►]スイッチまたはダイヤルで次のページを表示し、その他のプログラムを選ぶことができます。プログラムの内容についてはp.75～の表をご覧ください。



MeMO このほかにもプログラムを選ぶ方法があります。

- 基本画面で“▼ Upp1 ▲”を押します。このときはそのグループ内のプログラムが選べます。
- 基本画面上の“プログラム”セルを押します。この状態で、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチを押すとグループ内のプログラムが選べます。
- 基本画面の楽器アイコン(絵)を押すと、そのグループのプログラム一覧のポップアップ画面が表示されます。プログラム名を押して選べます。

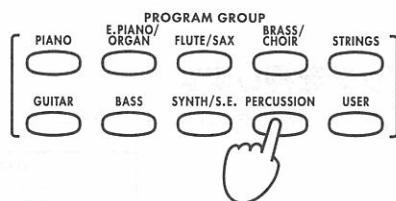
3 基本画面に戻ります

[EXIT] スwitchを押し、基本画面に戻ります。鍵盤を弾くと、いま選んだ音で演奏することができます。

打楽器の音色を選ぶときは

鍵盤で打楽器の音色を鳴らすことができます。

1 [PROGRAM GROUP]の[PERCUSSION]スイッチを押します



2 プログラムを選びます

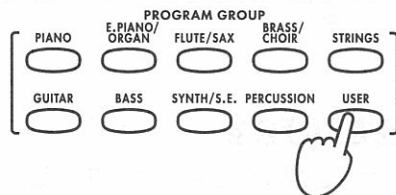
“5/6” ページの “GMキット1” ～ “SFXキット” のプログラムを選ぶと、各楽器が鍵盤の各キーに割り当てられます。ドラムキット・リストを確認してください。

[USER]プログラム・グループの音色を選ぶときは

[USER]プログラム・グループはプログラムを演奏しやすいように並べ替えたり、自分の良く使うプログラムだけ集めてプログラム・グループを作ることができます。(p.34)

1 [PROGRAM GROUP]の[USER]スイッチを押します

本機に読み込まれているプログラムの一覧が表示されます。



2 プログラムを選びます

鍵盤で演奏してください。

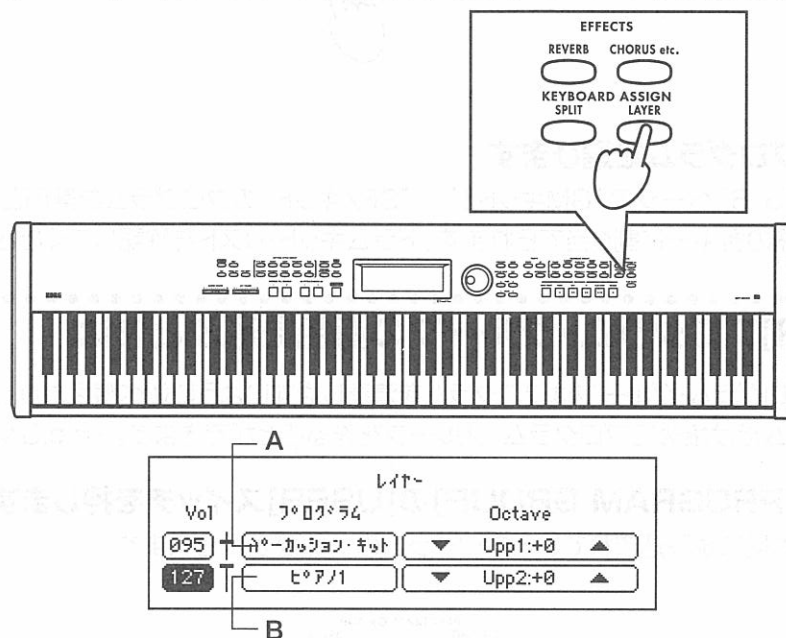
3. 音色を組み合わせる

2つの音色を組み合わせて演奏するときは(レイヤー機能)

1つの鍵盤を弾いたときに、2つのプログラムを重ねて同時に鳴らすことができます。これをレイヤー機能といいます。

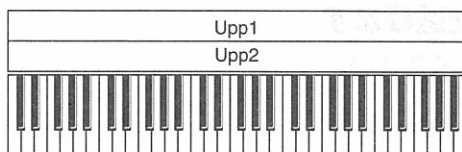
1 [LAYER]スイッチを押します

[LAYER]スイッチのランプが点灯し、“レイヤー”ページが表示されます。



2 それぞれの音色を選びます

“Up1”のプログラムを選ぶにはAのセルを、“Up2”のプログラムを選ぶにはBのセルを押してからプログラムを選びます。☞p.24「音色を選ぶ」



MeMO レイヤー機能をオンにすると最大同時発音数は32音になります。“グランドピアノ1”等のプログラムを選んでいるときは21音になります。☞p.73「故障とのおいになる前に」

3 それぞれの音量のバランスを調節します

“Vol” (ボリューム) セルの値をダイヤルまたは[VALUE] スイッチで調節します。設定できる音量は0(最小)～127(最大)です。

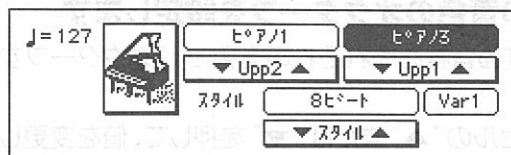
4 それぞれの音色のオクターブを設定します

鍵盤で演奏する音程をそれぞれのプログラムで、1オクターブずつ変更することができます。“Octave”セルの“▲”または“▼”を押して、値を変更します。設定できる範囲は-2、-1、0、+1、+2です。

5

基本画面に戻ります

[DISPLAY HOLD]スイッチがオンのときは[EXIT]スイッチを押し基本画面に戻ります。基本画面に“Upp2”と“Upp1”のプログラム名が表示されます。



この画面でも“▼ Upp2 ▲”、“▼ Upp1 ▲” ボタンを押して、それぞれのプログラムを変更することができます。

レイヤーを解除するときは

[LAYER]スイッチを押して、[LAYER]スイッチのランプを消灯させます。

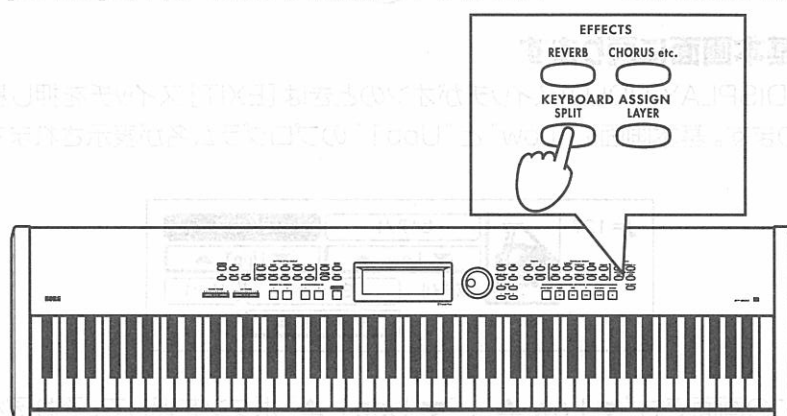
鍵盤の左右にちがう音色を設定して使うときは（スプリット機能）

鍵盤の低音側と高音側に、それぞれちがうプログラムを設定して演奏することができます。これをスプリット機能といいます。

1

[SPLIT]スイッチを押します

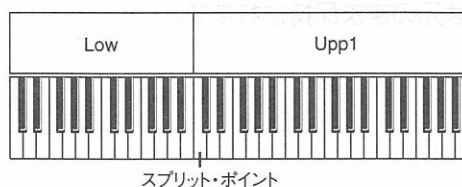
[SPLIT]スイッチのランプが点灯し、“スプリット” ページが表示されます。



2

それぞれの音色を選びます

Upp1（高音側）を変更するにはAのセルを、Low（低音側）を変更するにはBのセルを押してから音色を選びます。p.24「音色を選ぶ」



3

それぞれの音量のバランスを調整します

“Vol” (ボリューム) セルの値をダイヤルまたは[VALUE] スイッチで調整します。
設定できる音量は0(最小)～127(最大)です。

4

それぞれの音色のオクターブを設定します

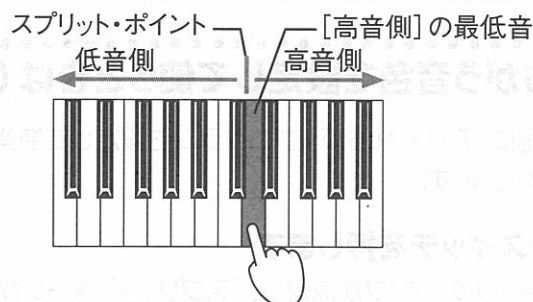
鍵盤で演奏する音程をそれぞれの音色で、1オクターブずつ変更することができます。

“Octave” セルの“▲”または“▼”を押して、値を変更します。

設定できる範囲は-2、-1、0、+1、+2です。

境目にしたい鍵盤を変更するとき

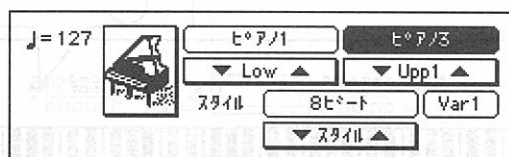
境目にする鍵盤(スプリット・ポイント)を変更するには、“Point” セルを押してダイヤルまたは[VALUE] スイッチで設定をします。または[SPLIT]スイッチを押しながら、境目にしたい鍵盤を押します。押した鍵盤は高音側になります。



5

基本画面に戻ります

[DISPLAY HOLD]スイッチがオンのときは[EXIT]スイッチを押して基本画面に戻ります。基本画面に“Low”と“Upp1”のプログラム名が表示されます。



この画面でも“▼ Low ▲”、“▼ Upp1 ▲” ボタンを押して、それぞれのプログラムを変更することができます。

スプリットを解除するとき

[SPLIT]スイッチを押して、[SPLIT]スイッチのランプを消灯させます。

..... ピアノとして演奏するときは

[PLAY PIANO]スイッチを押すと以下の設定になり、簡単にピアノとして使えるようになります。

- ・全鍵盤で演奏できる状態になります。SPLIT、LAYERがオフになり“KeyL”のミュートは解除されます。(p.26、27、40)
- ・Upp1のプログラムは“グランドピアノ1”になります。
- ・Upp1のオクターブ設定が“0”に設定されます。(p.63)
- ・その他の設定は元のまま保持されます。

4. 音色に効果を加える

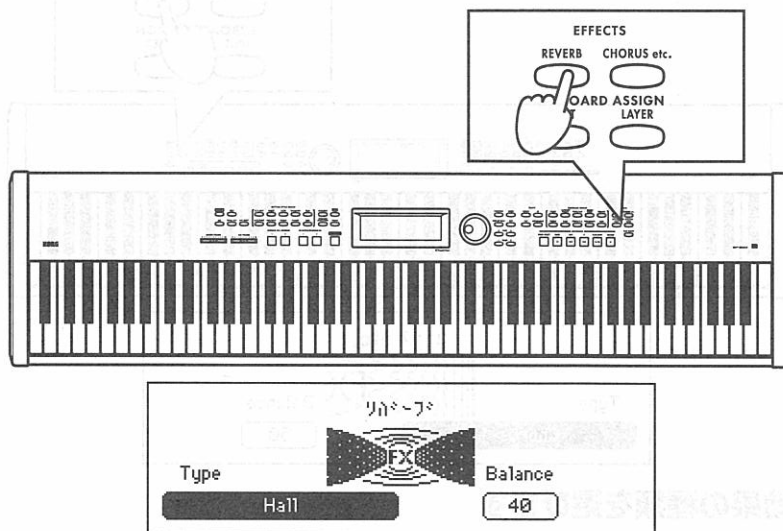
MeMO 選んだプログラムによっては、リバーブやコーラス（エフェクト）の効果がかりにくいことがあります。ドラム・キットを選んだときは[CHORUS etc.]スイッチを押しても、効果はかりません。

音に残響効果を加えるときは

選んだ音色に残響と深みを加え、コンサート・ホールなどいろいろな空間で演奏しているような臨場感のあるサウンドにします。これをリバーブ効果といいます。

1 [REVERB]スイッチを押します

[REVERB]スイッチのランプが点灯し、音にリバーブ効果がかけられます。



2 リバーブ効果の種類を選びます

"Type"セルを押してダイヤルまたは[VALUE]スイッチで変更します。

リバーブ・タイプ一覧

1	Pedal Simulat	ピアノの共鳴効果がかけられます。 ペダルを踏むと効果が大きくなります。
2	Hall	小さなコンサート・ホールの臨場感を再現するリバーブ
3	Ensemble Hall	大きなホールの臨場感を再現するリバーブ
4	Concert Hall	初期反射音を強調したリバーブ
5	Room	室内の臨場感を再現するリバーブ
6	Large Room	大きめの室内の臨場感を再現するリバーブ
7	Live Stage	ライブ演奏のようなリバーブ
8	Wet Plate	重めのプレート・リバーブ
9	Dry Plate	軽めのプレート・リバーブ
10	Spring Reverb	スプリング・リバーブ
11	Early Ref1	残響音の初期反射音部分だけを再現するリバーブ
12	Early Ref2	初期反射音がゆっくりと消えていくリバーブ
13	Early Ref3	初期反射音が増えていくリバーブ

3 リバーブのかかり具合を調節します

"Balance"セルを押してダイヤルまたは[VALUE]スイッチで調節します。
設定できるバランス量はDry(効果なし)、01～99、Fx(最大)です。

4 基本画面に戻ります

[DISPLAY HOLD]スイッチがオンのときは[EXIT]スイッチを押すと基本画面に戻ります。

リバーブ効果を止めるときは

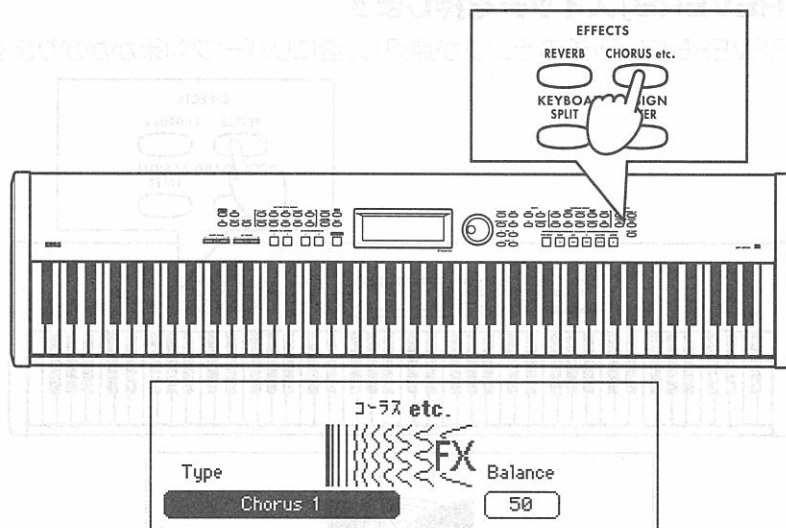
[REVERB]スイッチを押して、[REVERB]スイッチのランプを消灯します。

音に変化などの効果を加えるときは

選んだ音色に、うねりを加えて広がりのある豊かなサウンドや、ひずみを加えて迫力のあるサウンドにします。これをエフェクト効果といいます。

1 [CHORUS etc.] スイッチを押します

[CHORUS etc.]スイッチのランプが点灯し、音にコーラスなどのエフェクト効果がかけられます。



2 効果の種類を選びます

“Type”セルを押してダイヤルまたは[VALUE]スイッチで変更します。

エフェクト・タイプ一覧

1	Stereo Delay	ステレオ・ディレイ
2	Cross Delay	左右チャンネル間を行き来するディレイ
3	Dual Delay	左右チャンネルに別々のモノ・ディレイ
4	Multitap Dly1	1回の音が2回の音になり繰り返します
5	Multitap Dly2	同上で2回の音の間隔が異なります
6	Multitap Dly3	同上
7	Chorus 1	左右チャンネルに逆位相のステレオ・コーラス
8	Chorus 2	左右チャンネルに同位相のステレオ・コーラス
9	Quad Chorus	左右チャンネルの位相が90度ずれたコーラス
10	XOver Chorus	クロスオーバー効果
11	Harmonic Cho.	ベースなど低い音に効果的なコーラス
12	Symphonic Ens	ストリングスに効果的なコーラス
13	Flanger 1	左右チャンネルに同位相でモジュレーション
14	Flanger 2	左右チャンネルに逆位相でモジュレーション
15	XOver Flanger	逆位相で変調しますが、相互にフィードバック
16	Exciter	音自体にメリハリを持たせ音の輪郭をハッキリさせます
17	Enhancer	音に広がり感を与えます
18	Distortion	ハードでソリッド・ステートなひずみ
19	Overdrive	あたたかみのあるチューブ・アンプのひずみ
20	Phaser 1	左右チャンネルに逆位相の変調
21	Phaser 2	左右チャンネルとも同位相で変調
22	Rotary Speakr	ロータリー・スピーカーのサウンド
23	Auto Pan	音像がステレオでパンニングしているような効果
24	Tremolo	トレモロ効果

3

効果のかかり具合を調節します

“Balance” セルを押してダイヤルまたは[VALUE] スイッチで調節します。
設定できるバランス量はDry(効果なし)、01～99、Fx(最大)です。

4

基本画面に戻ります

[DISPLAY HOLD]スイッチがオンのときは[EXIT]スイッチを押すと基本画面に戻ります。

効果を止めるときは

[CHORUS etc.]スイッチを押して、[CHORUS etc.]スイッチのランプを消灯します。

5. メトロノームに合わせて演奏する

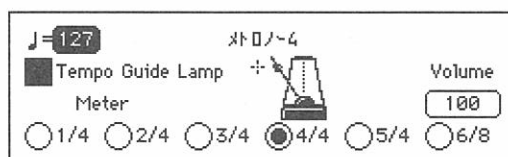
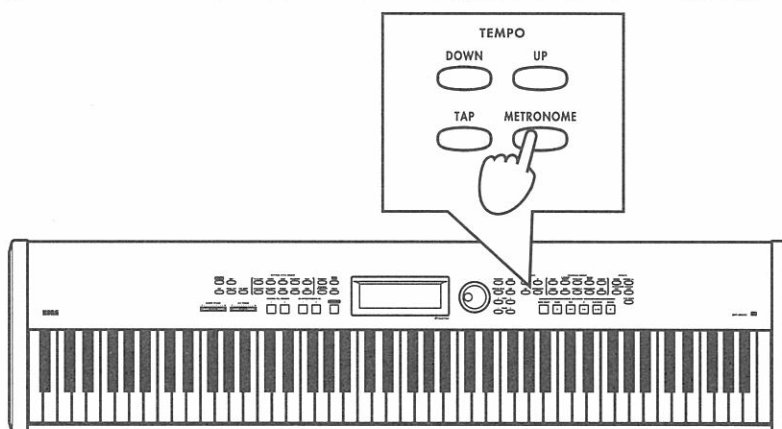
正確なテンポに合わせて演奏するときに、メトロノームを使うと便利です。このメトロノームは、演奏を録音するときの拍子やテンポの基準にもなります。

メトロノームを鳴らすときは

1

[METRONOME] スイッチを押します

[METRONOME] スイッチのランプが点灯し、メトロノームがスタートします。

**拍子を設定するときは**

“Meter” ラジオ・ボタンを押して拍子を選びます。
設定できる拍子は、1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/8です。
“1/4” を選ぶと拍子が無い設定になります。

MeMO “Tempo Guide” チェック・ボックスをオフにすると、BEATランプが点灯しません。

音量を調節するときは

“Volume” セルを押して、ダイヤルまたは[VALUE] スイッチで調節します。
設定できる音量は0(最小)～127(最大)です。

MeMO 電源をオンにした直後は、テンポ“127”、拍子(“Meter”)“4/4”、音量(“Volume”)“100”に設定されます。

2

基本画面に戻ります

[DISPLAY HOLD]スイッチがオンのときは[EXIT]スイッチを押すと基本画面に戻ります。

メトロノームをストップするときは

メトロノームをストップするときは、もう一度[METRONOME]スイッチを押します。[METRONOME]スイッチのランプが消灯しメトロノームがストップします。

..... テンポを調節するときは

“メトロノーム”ページの“テンポ”セルを押して、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチでテンポを変更するか、基本画面の左上に表示されるテンポ表示を[TEMPO UP]または[TEMPO DOWN]スイッチで調節します。または[TAP TEMPO]スイッチを曲のテンポに合わせて2回以上押してテンポを設定します。

設定できる範囲は、♩=40～240です。(p.39)

MeMO

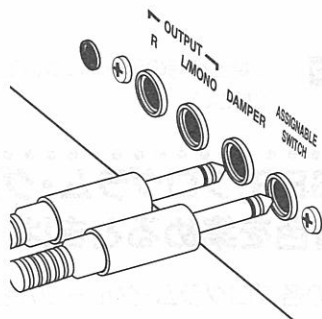
本機のテンポ表示は「4分音符が1分間に刻まれる数」を基準としています。拍子を“6/8”に設定したときはテンポの半分の値を入力してください。

例：♩ = 96 のときは、“48”に設定します。

6. ペダルを使う

本機には2つのペダルを接続することができます。

リア・パネルにあるダンパー・ペダル端子とアサインابل・スイッチ端子に、付属のペダル・スイッチか別売のDS-1H、PS-1などを接続します。



アサインابل・スイッチ

付属のペダルまたは別売のペダルをアサインابل・スイッチ端子に接続します。

アサインابل・スイッチはいろいろな機能を設定することができます。

工場出荷時は“Soft”に設定されています。(p.66)

ダンパー・ペダル

付属のペダルをダンパー・ペダル端子に接続します。

ペダルを踏んでいる間は音が長く伸び、余韻のある豊かな響きになります。

別売のDS-1Hを使用するとペダルを踏み込む深さでダンパーのかかり具合を変化させることができます(ハーフ・ペダル効果)。

ペダルの極性を反転するとき

ペダルの極性の判定は電源をオンにしたときに自動的に行われます。ペダルを使うときは、必ず接続後に電源をオンにしてください。

付属のペダルやオプションのペダル以外のペダルを使う場合ペダルの極性が逆の場合があります。この場合ペダルを踏んでいなくてもペダルが踏まれた状態になってしまいます。

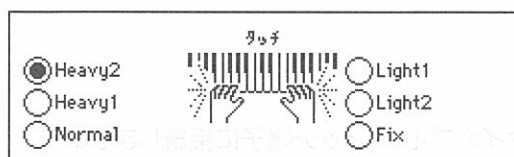
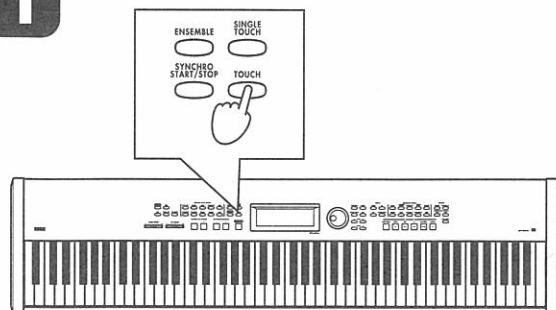
レイヤー、スプリット時のダンパー・ペダルの設定

レイヤー機能またはスプリット機能を使用しているときに、ダンパー・ペダルによる効果を2つの音色の両方または、いずれかにかけるかを設定します。(p.66)

7. 鍵盤のタッチ感を変える

鍵盤を弾く強さによって音の強弱が変化する度合いを設定します。これをタッチ・コントロール機能といいます。

1 [TOUCH] スイッチを押します



2 タッチを選びます

演奏に適したタッチのラジオ・ボタンを押します。

Light 1、2: 弱く弾いても強音が出せるタッチです。(軽いタッチ)

Normal: 通常のピアノ・タッチです。

Heavy 1、2: 強く弾かないと強音が出せないタッチです。(重いタッチ)

Fix: 打鍵の強さによる変化がなくなります。オルガンなどの音色の演奏に適しています。

この機能では鍵盤自体の重さは変わりません。

3 基本画面に戻ります

[DISPLAY HOLD]スイッチがオンのときは[EXIT]スイッチを押すと基本画面に戻ります。

MeMO この設定は“ファンクション 7/10”ページの“Setup”で“ライト”することにより本体に記憶でき、電源をオンするたびにその設定になります。(p.67)

8. [USER]プログラム・グループを使う

プログラムを演奏しやすいように並べ替えたり、自分の良く使うプログラムだけ集めたプログラム・グループを作るときに[USER]プログラム・グループを使います。

MeMO 工場出荷時のデータについてはp.78の表を参照してください。

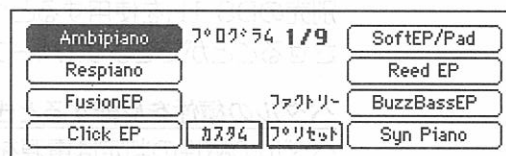
[USER]プログラム・グループに好みの音色を集めるときは

本機の各プログラム・グループから必要なプログラムを選び[USER]プログラム・グループに好きな順番で並べることができます。

MeMO [PERCUSSION]プログラム・グループにある“GM キット1”などのドラムキットは“9/9”ページにコピーできます。

1 [PROGRAM GROUP]の[USER]スイッチを押します

現在の[USER]プログラム・グループの一覧が表示されます。



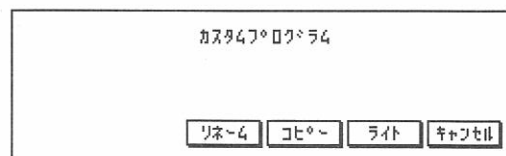
2 コピー先のプログラムを選びます

コピー先のプログラム名を押します。ここで選んだプログラムが手順5で選んだプログラムに置き換えられます。

手順7で書き込みを実行すると、ここで選んだプログラムは消えてしまいます。

3 “カスタム” ボタンを押します

“カスタムプログラム”ページが表示されます。



4 “コピー” ボタンを押します

“カスタムコピー”ページが表示されます。



- 5 コピー元のプログラムを選びます**
手順2.で選んだプログラムにコピーするプログラムを選びます。通常のプログラム選択と同様に選びます。(p.24)

- 6 “コピー” ボタンを押します**
プログラムがコピーされ、“カスタムプログラム” ページに戻ります。

プログラム名を変更するとき

プログラム名を変更するときは、書き込む前に“リネーム” ボタンを押してプログラム名を変更してください。☞「プログラム名を変更するとき」

- 7 プログラムを書き込みます**
このプログラムでよければ、“ライト” ボタンを押して書き込みます。

⚠ 書き込み中は、絶対に電源をオフにしないでください。

書き込みをやめるときは

書き込みをしないで“キャンセル” ボタンを押すと、コピーした内容はなくなり元のプログラムに戻ります。ディスプレイは基本画面が表示されます。

- 8 他のプログラムも変更します**
手順1～7を繰り返して、[USER]プログラム・グループに必要なプログラムを集めます。

工場出荷時の状態に戻すときは

“プリセット” ボタンを押します。確認のメッセージが表示されたら、“OK” を押します。

⚠ 工場出荷データに戻すと変更した[USER]プログラムの内容はすべて消えます。

プログラム名を変更するときは

[USER]プログラム・グループのプログラムを“ライト” するときにプログラム名を変更することができます。“リネーム” ボタンを押してプログラム名を変更してください。

- 1 “リネーム” ボタンを押します**
“リネーム” ボタンを押すと、“リネーム” ページが表示されます。



- 2 文字を選びます**
ダイヤルまたは[VALUE]スイッチで1文字目を選びます。

- 3 1文字目を決定します**
“セット” ボタンを押して1文字目を決定します。

- 4 次の文字を選びます**
手順2、3と同じように文字を選んでプログラム名をつけます。
プログラム名は16文字まで使うことができます。

修正したいときは

“←”、“→” ボタンを使って修正したい文字にカーソルを移動します。
文字を消したいときは“デリート” ボタンを押すと、カーソルの位置の文字を消すことができます。文字を挿入したいときは“インサート” ボタンを押すと、カーソルの位置に選んでいる文字を挿入できます。

- 5 プログラム名を決定します**
プログラム名をすべて入力したら“リターン” ボタンを押します。
プログラム名を保存するときは“ライト” を行ってください。☞「[USER]プログラム・グループに好みの音色を集めるときは」手順7参照

THE HISTORY OF THE

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

THE HISTORY OF THE

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

THE HISTORY OF THE

... of the ...

... of the ...

... of the ...

自動伴奏

1. 自動伴奏を使った演奏

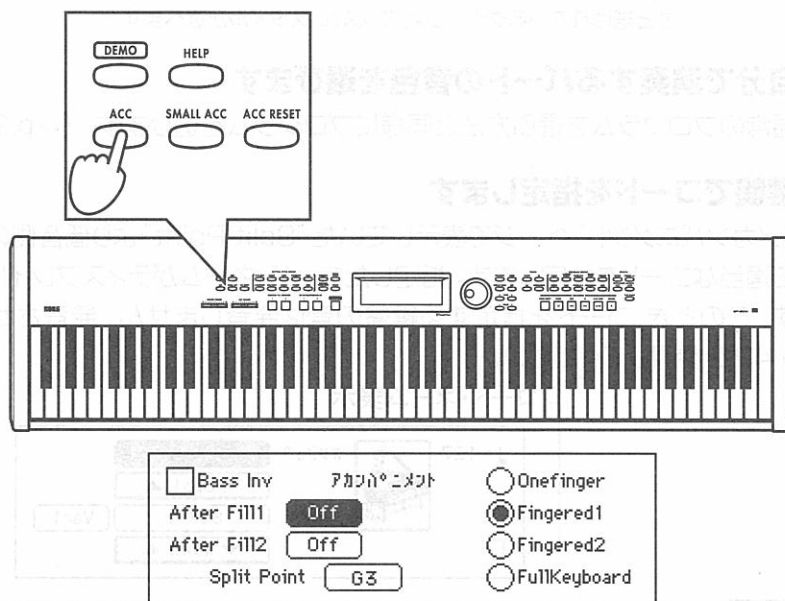
自動伴奏とは、鍵盤でコード(和音)を指定すると、そのコードに合わせた伴奏を自動的に付けてくれる機能です。ピアノ演奏に最適なピアノ音色を中心に使用した[PIANIST](ピアニスト)や、ポップス、ロック、ジャズ、ダンス音楽などのさまざまなスタイルの伴奏が収められています。これら伴奏をリズム・スタイルといい(217種類収録)、10のリズム・スタイル・グループにそれぞれ収められています。

リズム・スタイルは、Drum(ドラム:ポピュラー・ミュージックなどで使用される一般的なドラム・セット)、Perc(パーカッション:ドラム以外の打楽器全般)、Bass(ベース:低音楽器)、Acc1~3(アカンパニメント:一般的な伴奏楽器)という、6つの演奏トラックからできています。

自動伴奏を使うときは

1 [ACC]スイッチを押します

[ACC]スイッチのランプが点灯し、“アカンパニメント”ページが表示されます。

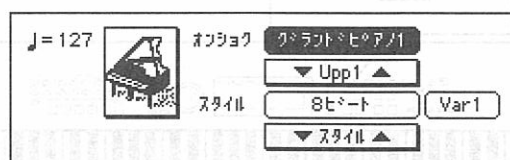


2 コードの指定方法を選びます

コードの指定方法をここで選びます。コード指定方法については「コード指定方法を変更するときは」(p.42)を参照してください。

3 基本画面に戻ります

[EXIT]スイッチを押して基本画面に戻ります。



4

リズム・スタイルを選びます

リズム・スタイル・グループを選びます

[RHYTHM STYLE GROUP]のいずれかのスイッチを押してリズム・スタイル・グループを選びます。[PIANIST]スイッチを押すと、ピアノ音色だけの伴奏スタイルが選べます。

リズム・スタイルを選びます

表示されたポップアップ画面からリズム・スタイルを押して選びます。

ディスプレイに“1/2”や“2/3”などが表示されているときは、ダイヤルまたは[PAGE ▶]スイッチで次のページを表示し、その他のリズム・スタイルを選ぶことができます。リズム・スタイルの種類についてはp.78～の表をご覧ください。



MeMO

このほかにもリズム・スタイルを選ぶ方法があります。

- ・基本画面で“▼ スタイル ▲”ボタンを押します。このときは選ばれているグループ内のリズム・スタイルが選べます。
- ・画面上の“スタイル”セルを押します。この状態で、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチを押すと選ばれているグループ内のリズム・スタイルが選べます。

5

自分で演奏するパートの音色を選びます

通常のプログラムを選ぶ方法と同様にプログラムを選びます。(p.24)

6

鍵盤でコードを指定します

“アカンパニメント”ページで表示していた“Split Point”より低音側の鍵盤を弾いて適当なコードを指定します。指定したコード・ネームがディスプレイに表示されます。このとき、コードを指定する鍵盤の音は発音しません。発音させたいときはp.42を参照してください。

コード・ネーム表示



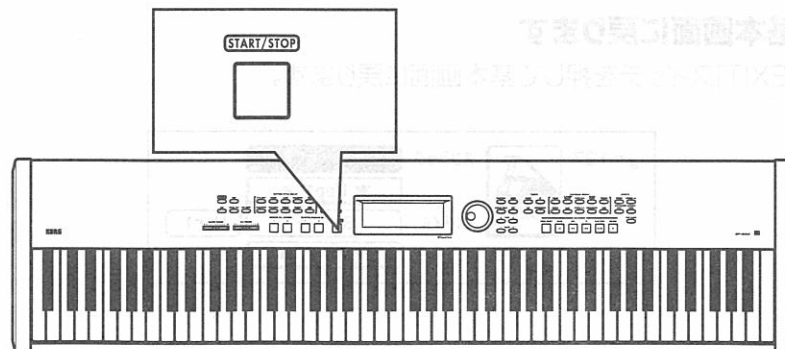
MeMO

[ACC RESET]スイッチを押すと、コードを指定していない状態になります。コードを指定しないときは“Drum”、“Perc”だけが演奏されます。

7

[START/STOP]スイッチを押します

ディスプレイに表示されているコードに合わせた自動伴奏がスタートします。自動伴奏に合わせて演奏してください。



MeMO 演奏中は、[BEAT]ランプが拍子とテンポにしたがって点灯します。
演奏中にコードを変えたり、フィルを入れたり、リズム・スタイルのバリエーションを変えたり、自分で演奏するパートに自動的にハーモニーを付けることができます。(p.42)

自動演奏をストップするには

もう一度[START/STOP]スイッチを押すと、[START/STOP]スイッチのランプが消灯し演奏がストップします。

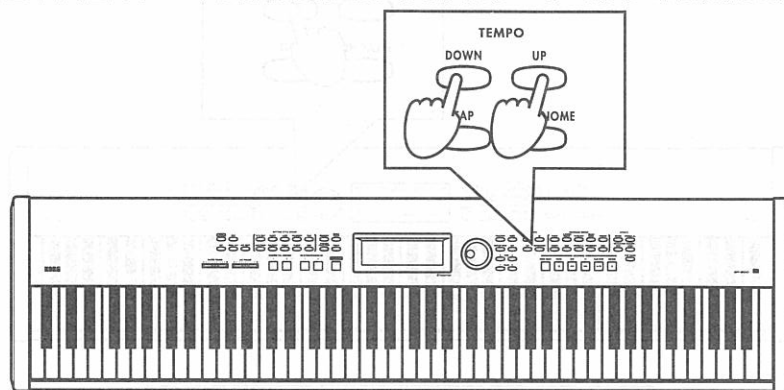
MeMO 自動伴奏をスタート/ストップさせる方法は、上記のほかにもあります。
シンクロ・スタート/ストップ(p.41)、イントロ/エンディング(p.43)

テンポを変更するときは

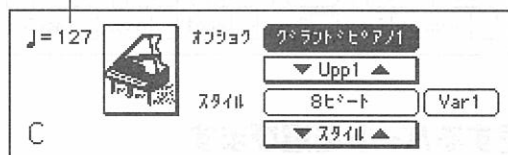
1

[TEMPO DOWN、UP]スイッチを押します

基本画面のテンポ表示が変わります。演奏データのテンポが変わります。

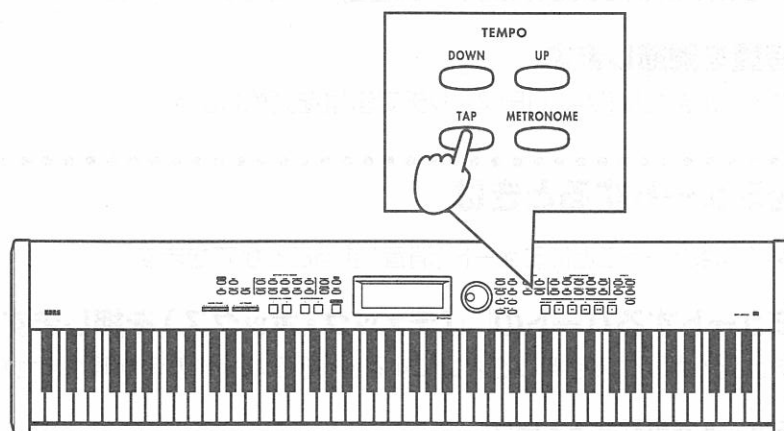


テンポ表示



リズムに合わせてテンポを変更するときは

リズムに合わせて[TAP TEMPO]スイッチを2回以上押して、テンポを変更することもできます。[TAP TEMPO]スイッチを押すリズムに合ったテンポが設定されます。



全体の音量を調節するときは

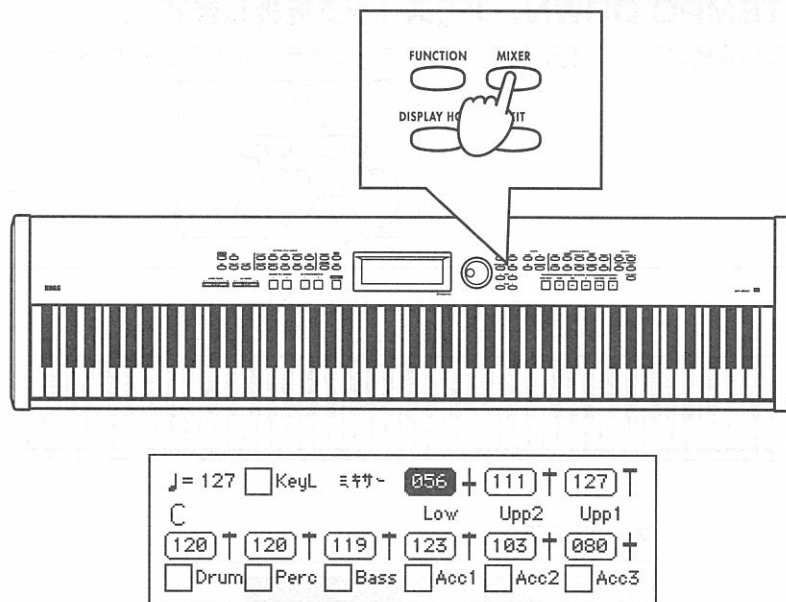
[ACC VOLUME]スライダーで自動伴奏と鍵盤演奏の音量のバランスを調節します。
鍵盤の演奏も含め、全体の音量は[MASTER VOLUME]スライダーで調節します。

パートごとに音量を調節するときは

自動伴奏の各パートそれぞれの音量と鍵盤の音量は、[MIXER]スイッチを押して表示されるページで行います。

1 [MIXER]スイッチを押します

[MIXER]スイッチのランプが点灯し、“ミキサー”ページが表示されます。



2 音量を変更するパートを選びます

音量を変更するパートの“Vol”セルを押します。

Upp1:[LAYER]スイッチや[SPLIT]スイッチをオンにしたときのUpper1、または
[LAYER]スイッチや[SPLIT]スイッチがオフのときの鍵盤の音量

Upp2:[LAYER]スイッチがオンのときに重ねた音色の音量

Low:[SPLIT]スイッチがオンのときに、スプリット・ポイントより左側の音色の音量

Drum、Perc、Bass、Acc1～3:自動伴奏の各パートの音量

3 音量を調節します

ダイヤルまたは[VALUE]スイッチで音量を調節します。

パートをミュートするときは

リズム・スタイルはパートごとにミュート(消音)することができます。

1 ミュートするパートの□(チェック・ボックス)を押します

チェック・ボックスを押してオンにすると、そのパートの音が鳴りません。

ミュートを解除するときは

チェック・ボックスを再度押してオフにするとミュートが解除されます。

2. いろいろな自動伴奏の機能

..... スタート/ストップ方法を変更するときは

自動伴奏をスタート/ストップするにはいくつかの方法があります。

目的にあった方法で演奏してください。

a. 基本的なスタート/ストップ

1 **コードを指定します**
コード指定側の鍵盤を押してコードを指定します。指定したコード・ネームが基本画面に表示されます。

2 **[START/STOP]スイッチを押します**
自動伴奏がスタートします。

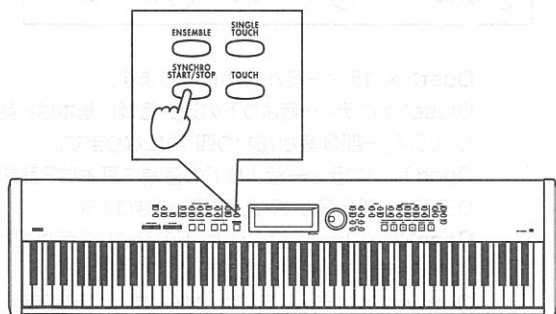
MeMO [BEAT]のランプが拍子に合わせて点灯します。

3 **[START/STOP]スイッチをもう一度押します**
自動伴奏がストップします。

b. シンクロ・スタート、シンクロ・ストップ

鍵盤を押したと同時に自動伴奏がスタートするシンクロ・スタートと、鍵盤から手を離れたと同時に自動伴奏がストップするシンクロ・ストップが行えます。

1 **[SYNCHRO START/STOP]スイッチを押します**
[SYNCHRO START/STOP]スイッチのランプが点灯します。



2 **コードを指定すると、演奏が始まります (シンクロ・スタート)**
p.42「コード指定の方法を変更するときは」

3 **コードを指定しているときに[SYNCHRO START/STOP]スイッチを押します**

4 **コード指定側の鍵盤を離すと自動伴奏がストップします (シンクロ・ストップ)**

伴奏をブレークして、右手のソコを入れるときなどに使います。

コードを指定して鍵盤を押すと、伴奏パターンの1拍目から伴奏を開始します。

解除するには、[SYNCHRO START/STOP]スイッチを押してランプが消えた状態にします。

c. ペダル・スタート、ペダル・ストップ

アサインابل・スイッチ端子に接続したペダルを踏むことによって自動伴奏のスタート、ストップを行います。

1 **“ファンクション 3/10” ページを表示します**
[FUNCTION]スイッチを押した後、[PAGE ▶]スイッチを押して“ファンクション 3/10”ページを表示します。

2 **“Assignable Switch” の設定を “Start/Stop” にします**
アサインابل・スイッチ端子に接続したペダルが、[START/STOP]スイッチと同様の機能として使えるようになります。(p.66)

3 **[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押します**
基本画面に戻ります。

4 **コードを指定します**
コード指定側の鍵盤を押してコードを指定します。指定したコード・ネームが基本画面に表示されます。

5 **ペダルを踏みます**
アサインابل・スイッチ端子に接続したペダルを踏むと、自動伴奏がスタートします。もう一度、ペダルを踏むとストップします。

..... コード指定方法を変更するときは

鍵盤でコードを指定する方法は、演奏のレベルや好みによって選べます。

1 **[ACC]スイッチを押します**
[ACC]スイッチのランプが点灯し、“アカンパニメント”ページが表示されます。

<input type="checkbox"/> Bass Inv	アカンパニメント	<input type="radio"/> Onefinger
After Fill1 <input type="button" value="Off"/>		<input checked="" type="radio"/> Fingered1
After Fill2 <input type="button" value="Off"/>		<input type="radio"/> Fingered2
Split Point <input type="button" value="G3"/>		<input type="radio"/> FullKeyboard

2

コード指定方法を選びます

ディスプレイのラジオ・ボタンを押して、コードを入力する方法を選びます。

“Onefinger” (ワン・フィンガー): コードの押さえ方を知らなくても簡単に入力できる方法です。スプリット・ポイントの左側の鍵盤でコードの根音(ルート)だけを押しとmajorのコードが指定できます。根音とそれより左側の鍵盤の白鍵を押すと7th、それより左側の黒鍵を押すとminor、両方押しとminor7のコードが指定できます。

“Fingered1” (フィンガード1): コードの押さえ方を知っているときに分かりやすい方法です。スプリット・ポイントの左側の鍵盤で普通のコードの押さえ方で入力できます。ただし、根音だけ押さえたときはmajorのコードが入力されます。分数コードを入力するときは、“Bass Inv.”をオンにします。

“Fingered2” (フィンガード2): フィンガード1と同様ですが、3つ以上の鍵盤を押さないとコードが入力されません。

“FullKeyboard” (フル・キーボード): フィンガード2と同様ですが、コード入力の指定範囲がスプリット・ポイントに関係なく、全鍵盤で行なえます。

スプリット・ポイントを変更するときは

コード指定方法を“FullKeyboard”以外にしているときは、“Split Point”に表示している音名より左側の鍵盤がコード指定用の鍵盤範囲になります。

“C4”が中央のドの鍵盤です。

“アカンパニメント”ページの“Split Point”セルを選んで、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチで設定します。または[SPLIT]スイッチを押しながら、境目にしたい鍵盤を押します。

コード指定する鍵盤をミュート解除するときは

- [MIXER]スイッチを押した後、“KeyL”チェック・ボックスを押してオフにします。
- [PLAY PIANO]スイッチを押します。

コード指定する鍵盤をミュートするときは

[ACC]スイッチを押すと、コード指定する鍵盤は自動的にミュートされます。それ以外でミュートする場合は[MIXER]スイッチを押して、“KeyL”チェック・ボックスを押してオンにするとミュートされます。



[SPLIT]スイッチが点灯しているときは、左側の鍵盤はミュートできません。

“Bass Inv.”チェック・ボックスをオンにしたときは

このチェック・ボックスをオンにすると、鍵盤でコード指定をしたときに、弾いた鍵盤のうち一番低い音をベース音として、コードの展開形とは別に認識します。

Am7/GやF/Cなど、ベース音が独立したコードの指定ができます。

..... アンサンブルで演奏するときは

スプリット・ポイントから右側の鍵盤(Upp1)を演奏したメロディー音に、ハーモニーを自動的に付けることができます。

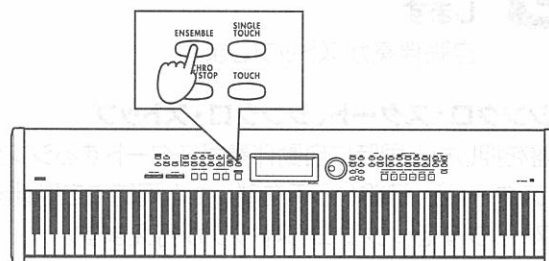


コード指定が“Fullkeyboard”になっているときはこの機能は使えません。

1

[ENSEMBLE]スイッチを押します

[ENSEMBLE]スイッチを押すと、“アンサンブル”ページが表示されスイッチのランプが点灯します。



<input checked="" type="radio"/> Duet	<input type="radio"/> Octave	アンサンブル	<input type="radio"/> Fourths
<input type="radio"/> Close			<input type="radio"/> Block
<input type="radio"/> Open1			<input type="radio"/> Brass Ens.
<input type="radio"/> Open2			<input type="radio"/> Reed Ens.
	<input type="radio"/> Power Ens.		

Duet: メロディー音が二声になります。

Close: メロディー音より下の近い音域に基本は2音加わり三声(一部3音が加わり四声)になります。

Open1: メロディー音より下の音域に基本は2音加わり三声(一部3音が加わり四声)になります。

Open2: メロディー音より上、下の音域に2音が加わり三声(一部3音が加わり四声)になります。

Octave: メロディー音にオクターブ上、下の2音が付加されます。

Power Ens.: メロディー音の4度下の音とオクターブ下の音が付加され三声になります。

Fourths: メロディー音より4度上の音と短7度上の音が重なり三声になります。

Block: メロディー音に下の3音と1オクターブ下の音が付加され五声になります。

Brass Ens.: メロディー音に下の3音が付加され四声になります。

Reed Ens.: メロディー音の下に“Block”で付加される3音とは転回の異なる和音とメロディー音の1オクターブ下の音が付加され五声になります。

- 2 アンサンプルの種類を選びます**
ラジオ・ボタンを押して、アンサンプルの種類を選んでください。選んだアンサンプルの種類によってハーモニーの付き方がちがいます。

アンサンプル機能をオフにするときは

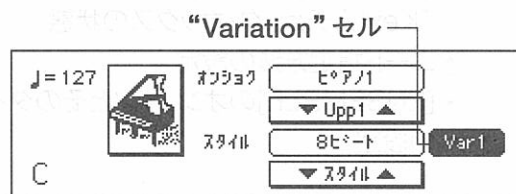
もう一度、[ENSEMBLE]スイッチを押します。

.....
バリエーションを変えるときは

それぞれのリズム・スタイルには、4つの異なるバリエーションを選ぶことができます。

- 1 自動伴奏の途中で、“Variation”セルを選びます**

“Variation”セルを押し、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチでバリエーションを設定します。次の拍または次の小節から、選んだバリエーションに切り替わります。



MeMO “アカンパニメント” ページで “After Fill” (p.44) を設定すると、フィルを演奏したあと、自動的に指定したバリエーションに切り替わり、曲の展開に変化をつけることができます。

MeMO リズム・スタイルによってバリエーション、イントロ、エンディングの伴奏内容が異なります。

.....
イントロをつけるときは

自動伴奏の冒頭にイントロを付けることができます。イントロ演奏後、バリエーションの演奏に入ります。それぞれのリズム・スタイルは、2種類のイントロとエンディングを持っています。

- [INTRO/ENDING 1] では、コード展開が入るイントロやエンディングが演奏されます。
- [INTRO/ENDING 2] では、コード展開のないシンプルなイントロやエンディングが演奏されます。

- 1 [INTRO/ENDING 1] スイッチまたは [INTRO/ENDING 2] スイッチを押します**

- 2 [START/STOP] スイッチを押します**
イントロの自動伴奏がスタートします。イントロが終わると、基本画面で選んでいるバリエーションに切り替わります。選んだ [INTRO/ENDING 1、2] スイッチのランプは、イントロの演奏中は点灯し、バリエーションの演奏に入ると消灯します。

イントロを繰り返したいときは

イントロ演奏中に同じ [INTRO/ENDING] スイッチを押すと、そのイントロを繰り返し演奏し続けます。もう1つの [INTRO/ENDING] スイッチ、または [FILL 1、2] スイッチを押すか “Variation” セルを選びなおすと繰り返しが解除されます。

イントロをやめたいときは

自動伴奏をスタートする前は [FILL 1、2] スイッチを押すと解除されます。

自動伴奏をスタートした後は [START/STOP] スイッチを押して停止するとイントロの選択が解除されます。

MeMO イントロをスタート後は、[FILL 1、2] スイッチを押しても途中で解除されません。

.....
エンディングをつけるときは

- 1 自動伴奏の途中で [INTRO/ENDING 1] スイッチまたは [INTRO/ENDING 2] スイッチを押します**

エンディングが演奏され、終了後自動的にストップします。

選んだエンディングのスイッチのランプは、そのエンディングに演奏が切り替わるまで点滅を続けます。エンディングに切り替わった後は、演奏が終わるまで点灯し続けます。エンディングの後に自動伴奏の演奏がストップします。

エンディングを途中でやめたいときは

エンディングに切り替わった後に “Variation” セルの設定を変更するか、または [FILL 1、2] スイッチを押すと、次の拍あるいは次の小節から、選んだバリエーション、フィルの伴奏に切り替わり自動伴奏を続けます。

フィルをつけるときは

1 自動伴奏の途中で[FILL1]スイッチまたは[FILL2]スイッチを押します

フィル(オカズ)が入ります。イントロと同様に、フィルが終わると“AfterFill1”または“AfterFill2”セルで設定したバリエーションの演奏に切り替わります。

MeMO バリエーションからフィルへの切り換えが自然につながるようにタイミングを補正していますが、押すタイミングによっては後ろの部分しか演奏されないこともあるので、押すタイミングに気をつけてください。

フィル後のバリエーションを変化させるには
フィル1の演奏が終わったときに、どのバリエーションに変わるかを設定します。

<input type="checkbox"/> Bass Inv	アカソノコメント	<input type="radio"/> Onefinger
After Fill1	<input type="button" value="Off"/>	<input checked="" type="radio"/> Fingered1
After Fill2	<input type="button" value="Off"/>	<input type="radio"/> Fingered2
Split Point	<input type="button" value="G3"/>	<input type="radio"/> FullKeyboard

“After Fill1”セル: リズム・スタイルを演奏中に[FILL1]スイッチを押して、フィル1の演奏が終わったときに、どのバリエーションに変わるかを設定します。

Off: フィル1が終わるとフィルを開始する直前に選ばれていたバリエーションに戻ります。

Var1&2: バリエーション1またはバリエーション2を選んでいるときに、フィル1が終わるとバリエーション1とバリエーション2に交互に変わります。

Var1&3: バリエーション1またはバリエーション3を選んでいるときに、フィル1が終わるとバリエーション1とバリエーション3に交互に変わります。

Var1&4: バリエーション1またはバリエーション4を選んでいるときに、フィル1が終わるとバリエーション1とバリエーション4に交互に変わります。

Var2&3: バリエーション2またはバリエーション3を選んでいるときに、フィル1が終わるとバリエーション2とバリエーション3に交互に変わります。

Var2&4: バリエーション2またはバリエーション4を選んでいるときに、フィル1が終わるとバリエーション2とバリエーション4に交互に変わります。

Var3&4: バリエーション3またはバリエーション4を選んでいるときに、フィル1が終わるとバリエーション3とバリエーション4に交互に変わります。

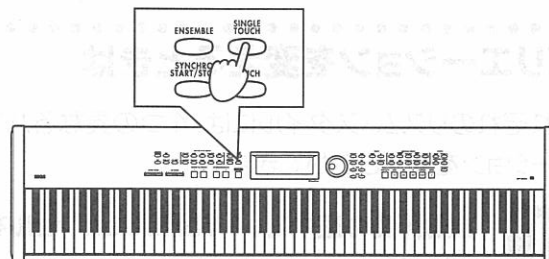
Var+: フィル1が終わるとフィルを開始する前に選ばれていた次のバリエーションに変わります。バリエーション4の次はバリエーション1になります。

Var-: フィル1が終わるとフィルを開始する前に選ばれていた前のバリエーションに変わります。バリエーション1の次はバリエーション4になります。

“After Fill2”セル: リズム・スタイルを演奏中に[FILL2]スイッチを押して、フィル2の演奏が終わったときに、どのバリエーションに変わるかを設定できます。内容は“After Fill1”と同様です。

リズム・スタイルに最適なプログラムにすることは

1 [SINGLE TOUCH]スイッチを押します
[SINGLE TOUCH]スイッチをオンにしてリズム・スタイルを選ぶと、それぞれのスタイルに適した鍵盤の音色や自動伴奏の設定が自動的に選ばれます。



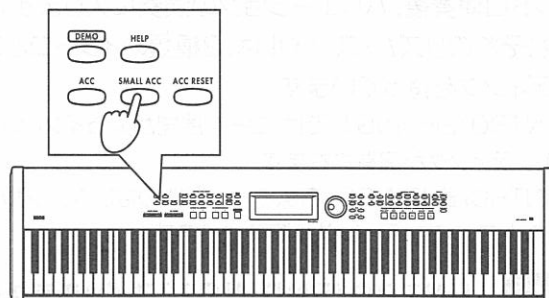
設定されている内容

- 鍵盤の音色、Upp1、Upp2、Low各パートのパン、ボリューム、オクターブ、音色の設定
- [SPLIT]、[LAYER]のオン、オフと“KeyL”チェック・ボックスの状態
- コード指定方法の設定
- [ENSEMBLE]のオン、オフとそのタイプの設定

パートを減らした伴奏にすることは

1 [SMALL ACC]スイッチを押します
Acc1とAcc3のパートが自動的にミュートされます。通常の伴奏より、パートを減らしたいときに使います。

MeMO すでに“ミキサー”ページでAcc1、Acc3のパートをミュートしているときや[PIANIST]リズム・スタイルのように、これらのパートに演奏が無いリズム・スタイルを選んだときは、この機能による効果はありません。



3. [USER]リズム・スタイル・グループを使う

記録したリズム・スタイルを使うときやリズム・スタイルを演奏しやすいように並べ替えたり、自分のよく使うスタイルだけを集めたリズム・スタイル・グループを作るときに[USER]リズム・スタイル・グループを選びます。

MeMO 工場出荷時には、プリセットのデータがロードされています。

[USER]リズム・スタイル・グループに好みのスタイルを集めるときは

必要なリズム・スタイルを選び、[USER]リズム・スタイル・グループに好きな順番で並べることが出来ます。

1 [RHYTHM STYLE GROUP]の[USER]スイッチを押します

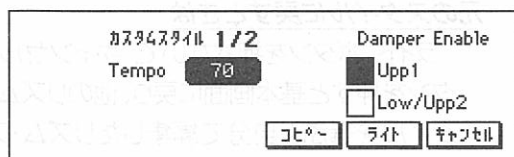
2 コピー先のリズム・スタイルを選びます

コピー先のスタイル名を押します。ここで選んだリズム・スタイルが手順5で選んだリズム・スタイルに置き換わります。

書き込みを実行すると、ここで選んだユーザー・リズム・スタイルは消えてしまいます。

3 “カスタム” ボタンを押します

“カスタムスタイル 1/2” ページが表示されます。



4 “コピー” ボタンを押します

“カスタムコピー” ページが表示されます。

5 コピー元のリズム・スタイルを選びます

手順2で選んだところにコピーするリズム・スタイルを選びます。通常のリズム・スタイルの選択と同様に選びます。(p.38)

6 “コピー” ボタンを押します

リズム・スタイルがコピーされ、“カスタムスタイル 1/2” ページに戻ります。

リズム・スタイル名を変更するときは

リズム・スタイル名を変更するときは、書き込みをする前に“リネーム” ボタンを押してスタイル名を変更してください。(p.48)

7 “ライト” ボタンを押して、リズム・スタイルを書き込みます

変更したリズム・スタイルでよければ、“ライト” ボタンを押して[USER]リズム・スタイル・グループに書き込みます。

書き込みをしないと、コピーは無効になります。他のリズム・スタイルを選ぶとコピー前の設定に戻ります。一度“ライト” ボタンを押して書き込みをすると、元のリズム・スタイルは上書きされ消えてしまいます。

書き込み中は、絶対に電源をオフにしないでください。

8 他のリズム・スタイルも変更します

手順1～7を繰り返して、[USER]リズム・スタイル・グループに必要なリズム・スタイルを集めます。

MeMO ここで集めたリズム・スタイルは電源をオフにしてもその状態で残っています。

工場出荷時のスタイルに戻すには

ファクトリー “プリセット” ボタンを押します。確認の画面が表示されたら、“OK” ボタンを押します。“キャンセル” ボタンを押すとデータのロードは行いません。

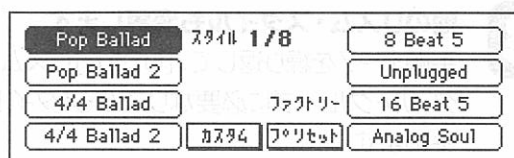
ロード中は、絶対に電源をオフにしないでください。

4. カスタム・リズム・スタイルの編集

.....
自分でリズム・スタイルを作るときは

1 [RHYTHM STYLE GROUP]の
[USER]スイッチを押します

2 消してもよいスタイルを選びます
[RHYTHM STYLE GROUP]の[USER]
スイッチを押し、[USER]リズム・スタイル・グ
ループの中で、上書きしてもよいリズム・スタ
イルを押して選びます。



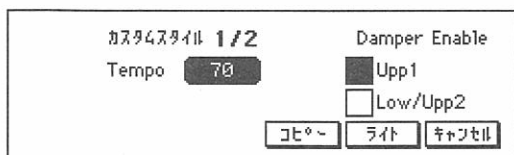
“カスタム”ボタンを押すと、“カスタムスタイル 1/2”ページが表示されます。

3 “カスタムスタイル 1/2”ページの“コ
ピー”ボタンを押します

“カスタムスタイル 1/2”ページの“コピー”
ボタンを押すと、“カスタムコピー”ページが
表示されます。“Source Style”セルにコ
ピー元になるリズム・スタイルを選びます。

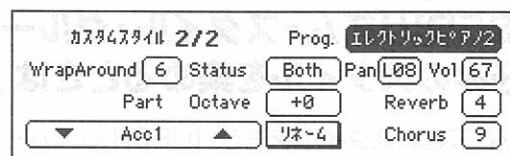
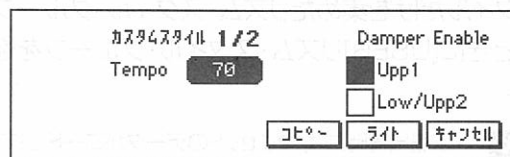
4 “カスタムコピー”ページの“コピー”ボタ
ンを押します

“カスタムスタイル”ページの“コピー”ボタ
ンを押すと、元になるリズム・スタイルが一時的なメモリ領域に読み込まれます。
“カスタムスタイル 1/2”ページが表示され
ます。



MeMO この段階では、まだ前のリズム・スタイルが残っています。“ライト”ボタンを押して初めて書き込まれます。“ライト”ボタンを押さないで他のリズム・スタイルを選んだり、電源をオフにすると元のスタイルに戻ります。

5 リズム・スタイルを編集します
“カスタムスタイル”の1/2ページと2/2
ページで設定が変更できます。
設定できる内容は「カスタム・スタイルのパ
ラメーター一覧」を参照してください。



6 カスタム・スタイルに名前をつけます
“カスタムスタイル 2/2”ページで“リネー
ム”ボタンを押すと“リネーム”ページが表示
されます。編集したリズム・スタイルに名前を
つけます。(p.48)



7 カスタム・スタイルを本体に記録します
“カスタムスタイル 1/2”ページで“ライト”
ボタンを押します。

元のスタイルに戻るときは

“ライト”ボタンを押さないで“キャンセル”ボ
タンを押すと基本画面に戻り、他のリズム・ス
タイルを選ぶと自分で編集したリズム・スタ
イルは手順2で選んだデータに戻ります。

2 ライト中は、絶対に電源をオフにしないでください。

カスタム・スタイルのパラメーター一覧

“カスタムスタイル 1/2” ページ

カスタムスタイル 1/2	Damper Enable
Tempo 70	<input checked="" type="checkbox"/> Upp1
	<input type="checkbox"/> Low/Upp2
	コヒ〜 ライト キヤメル

“Tempo” セル: リズム・スタイルのテンポを設定します。40~240まで変えることができます。

“Damper Enable” チェック・ボックス: 鍵盤の音色にダンパー・ペダルの効果がかかるかからないかを、鍵盤のパート別に設定できます。

Upp1: [LAYER]スイッチや[SPLIT]スイッチをオンにしたときのUpper1、または[LAYER]スイッチや[SPLIT]スイッチがオフのときの鍵盤の音色

Low/Upp2: [SPLIT]のときの左側の音色、[LAYER]のときの“Upp1”に重ねる音色

“カスタムスタイル 2/2” ページ

各伴奏パートについて次の設定ができます。パートはDrum、Perc、Bass、Acc1、Acc2、Acc3、Upp1、Upp2、Lowです。

カスタムスタイル 2/2	Prog. エレクトリックピアノ2
WrapAround 6	Status Both
Part Octave +0	Pan L08 Vol 67
▼ Acc1 ▲	Reverb 4
	リネ-4 Chorus 9

“パート” セル: パートの変更は、セルについている“▲”、“▼”またはダイヤル、[VALUE]スイッチで行います。

MeMO Upp1、Upp2、Lowのパートでは“Prog.”セル、“Reverb”セル、“Chorus”セル、“WrapAround”セル、“Status”セルについての設定ができません。

“WrapAround” セル: Bass、Acc1、Acc2、Acc3のパートについて設定できます。これらのパートの伴奏が高くなりすぎたり低くなりすぎたときに、オクターブを変更し伴奏が不自然にならないようにします。設定値は“Org、1~12”です。設定値“Org”はスタイルのオリジナルの設定です。

例えば、コードCを基準としたときに、設定値を“1”に設定すると指定したコードがC#のとき、伴奏がオクターブ下がります。設定値を“2”に設定すると指定したコードがDのとき、伴奏がオクターブ下がります。

設定値“1”のとき

- コードC→ベースパターン…①
- コードC#→①を半音あげてオクターブ下げる…②
- コードD→①を1音あげてオクターブ下げる…③

設定値“2”のとき

- コードC→①
- コードC#→①を半音あげる…④
- コードD→③



“Status” セル: Drum、Perc、Bass、Acc1、Acc2、Acc3について設定できます。これらの各パートの自動伴奏データを本機で演奏するか外部のMIDI機器で演奏するかを設定します。

Off: 内部音源とMIDI OUTのすべてに出力しません。
Int: 内部音源だけ鳴らします。MIDI OUTに出力しません。

Ext: MIDI OUTからデータ出力します。内部音源は演奏しません。

Both: 内部音源とMIDI OUTに出力します。

“Octave” セル: Bass、Acc1、Acc2、Acc3について設定できます。これらの各パートのピッチをオクターブ単位で設定します。±2オクターブの可変ができます。

“WrapAround”と組み合わせて設定し、不自然にならないようにします。

“Prog.”セル: 各パートの音色プログラムを設定します。

“Pan”セル: 各パートのパンニングを設定します。

Off: パートをミュート(消音)します。

L15~L01: 数値が大きいほど左に定位します。

Cnt: 中央に定位します。

R15~R01: 数値が大きいほど右に定位します。

Prg: 音色プログラム自体に設定された定位になります。

“Vol”セル: 各パートの音量レベルを設定します。設定値は0~127です。

“Reverb”セル: [REVERB]スイッチを押したときの、リバーブ効果の各パートのセンド・レベル量(かかり具合)を設定します。

“Chorus”セル: [CHORUS etc.]スイッチを押したときの、エフェクト効果の各パートのセンド・レベル量(かかり具合)を設定します。

“リネーム”ボタン: カスタム・リズム・スタイルを“ライト”するときスタイル名を変更することができます。“リネーム”ボタンを押してスタイル名を変更してください。スタイル名を変更する方法は、p.35の「プログラム名を変更するときは」の手順を参照してください。



録音してみよう

1. 演奏を録音する

自分で演奏した曲をテープ・レコーダーで録音するように、演奏データとして本機のレコーダーに記録することができます。記録した演奏データは、多重録音で音を重ねて記録したり、間違えたところや録音し直したいところを編集することができます。

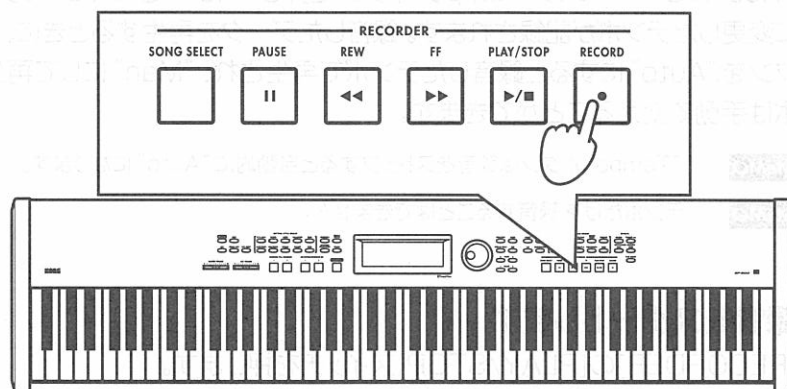
基本的な録音 (リアルタイム・レコーディング)

ここでは自動伴奏を使用しないで、鍵盤で演奏した曲を録音する方法を説明します。

1

[RECORDER]の[RECORD]スイッチを押します

基本画面を表示しているときに[RECORDER]の[RECORD]スイッチを押すと、“Rec 1/3” ページが表示され[RECORD]スイッチが点滅します。
まだ演奏データが記録されていない“NewSong”が自動的に選択されます。
自動伴奏を使わないで録音するときは、[ACC]スイッチをオフにします。(p.37)



2

録音するトラックを確認し、プログラムを選びます

“KBD”、“Control”、“Chord”トラックのボタンが“Rec”になっていることを確認します。(p.52「トラックについて」)

“プログラム”セルを押して、演奏するトラックのプログラムを選びます。(p.24)



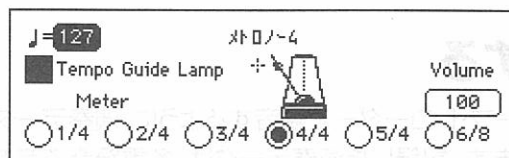
スプリット、レイヤー機能を使うときは

[SPLIT]スイッチ、[LAYER]スイッチを押し、スプリットまたはレイヤーを設定し、プログラムを選びます。(p.26)

3

拍子を設定します

[METRONOME]スイッチを押して、拍子を設定します。(p.31)



MeMO 録音中にメトロノームが不要なときは、再度[METRONOME]スイッチを押してオフにします。

MeMO [ACC]スイッチをオンで録音するときは、ここで拍子を設定することはできません。

曲の途中で拍子を変えたいときは

全体を同じ拍子で録音した後で“Rec 3/3”ページの“イベントエディット”で変更することができます。全部のトラックが最後に拍子を変えたトラックと同じ状態になります。

MeMO [ACC]スイッチをオンで録音するときは、“Rec 1/3”ページの“Tempo”を“Man”にしておくとリズム・スタイルに合わせた拍子になります。ただし、拍子を“イベントエディット”で変えた後に録音しなおしたときは、録音しなおしたときの拍子になります。

テンポも録音するときは

“Rec 1/3”ページの“Tempo”ボタンを押し“Man”を“Rec”にすると、録音中に変更したテンポが記録されます。録音したデータを再生するときに、“Tempo”ボタンを“Auto”にすると録音したテンポで再生され、“Man”にして再生するとテンポは手動で変更することができます。

MeMO “Tempo”ボタンは録音をストップすると自動的に“Auto”になります。

MeMO テンポだけを録音することはできません。

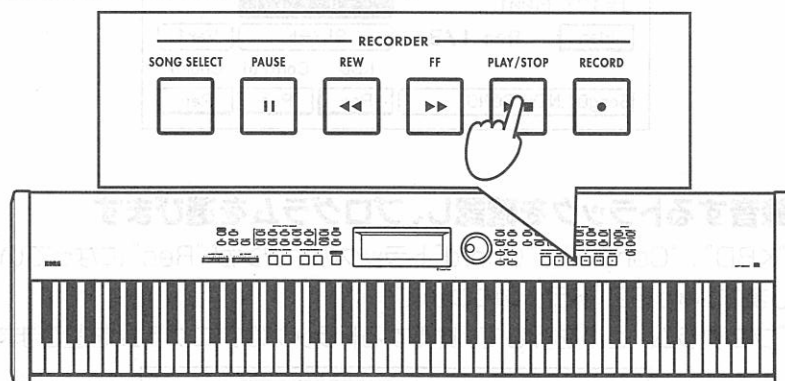
4

録音をスタートします

[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します。

2小節のプリ・カウントの後、録音がスタートします。

鍵盤を弾いて演奏して、録音します。



プリ・カウントの小節数を変更するには

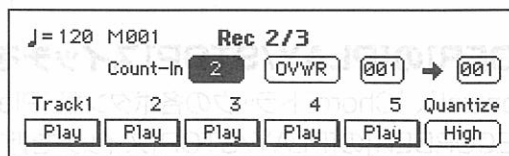
“Rec 2/3”ページの“Count-In”セルで、プリ・カウントの小節数を“0”、“1”、“2”のいずれかに設定します。

メトロノームを使っているときは、[START/STOP]スイッチを押すとメトロノーム

は1拍目(強拍)から始まります。

MeMO

"Count-In"セルを"0"に設定して、1拍目から録音したいときは、"ファンクション3/10"ページの"Assignable Switch"セルを"Start/Stop"にしてアサインابل・スイッチで録音スタートすると便利です。



録音をストップするときは

演奏が終わったら[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します。

"Rec 1/3"ページに戻り、"Rec"に設定したトラックは"Play"に設定されます。このとき、演奏データは自動的に本体のメモリに記録されます。記録中はメッセージが表示されます。



記録中は絶対に電源をオフにしないでください。

5

録音した曲を再生します

[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押すと、録音した曲が再生されます。

自動伴奏を使って録音するときは

[ACC]スイッチを押して、オンにしてから「基本的な録音」の手順を行います。(p.49)

演奏時に指定したリズム・スタイルやコードも録音することができます。

MeMO

手順2で録音するトラックを確認するときに、"スタイル"セルを押して、リズム・スタイルを選びます。



[SINGLE TOUCH]スイッチをオフにすることはできません。

記録した演奏データを読み込むときは

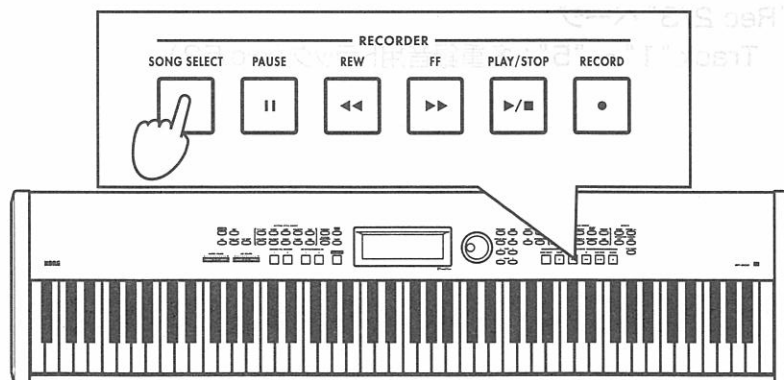
本体に記録した演奏データを再生をしたり編集したり録音を追加したりすることができます。

1

[RECORDER]の[SONG SELECT]スイッチを押します

"Rec 1/3"ページが表示されます。

"SONG番号: 曲名"セルを押し、再生するソングをダイヤルまたは[VALUE]スイッチで選びます。





2

[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します

“KBD”、“Control”、“Chord”トラックの各ボタンが“Play”になっていることを確認します。[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押すと、録音したソングが再生されます。

再生を一時停止するときは

[RECORDER]の[PAUSE]スイッチを押します。もう一度[PAUSE]スイッチを押すと続きから演奏を再開します。

早送りするときは

停止中に[RECORDER]の[FF]スイッチを押します。

巻き戻しするときは

停止中に[RECORDER]の[REW]スイッチを押します。

再生をストップするときは

演奏が終わったら[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します。

トラックについて

本機のレコーダーは、“KBD”、“Control”、“Chord”の3つの機能別に録音するトラックと多重録音用の5つのトラックで構成されています。

それぞれ個別に“Rec”（録音）、“Play”（再生）、“Mute”（ミュート）に設定することができます。

いずれかのトラックに“Rec”を設定すると[RECORD]スイッチが点滅します。

MeMO Track “1”～“5”は“Mute”に設定できません。

“Rec 1/3” ページ

“KBD”：鍵盤で演奏した内容を録音するトラック

“Control”：自動伴奏のフィルやバリエーションのオン、オフなどのパネルの操作やコントローラを記録するトラック

“Chord”：リズム・スタイルのコード進行を記録するトラック

MeMO “KBD”、“Control”、“Chord”トラックが“Mute”のときはそのトラックは再生しません。

“Rec 2/3” ページ

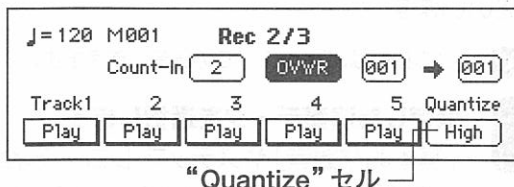
Track “1”～“5”：多重録音用トラック (p.53)



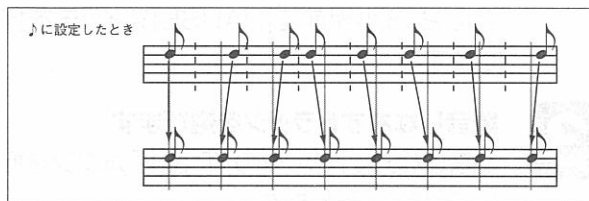
2. いろいろな録音方法

クオンタイズを使って録音するときは

クオンタイズは録音時のタイミングを補正します。
“Rec 2/3” ページの “Quantize” セルを押して、ダイヤルまたは [VALUE] スイッチでレゾリューション（分解能）を設定します。



“High”：補正を行わないで、最大分解能（4分音符1つを96等分した細かさ）でレコーディングします。
“♪”～“J”：設定した音符のタイミングで補正します。
“♪”のときは32分音符の3連符単位でタイミングを補正し、“J”のときは4分音符単位でタイミングを補正します。



MeMO ♪や J などの大まかなクオンタイズでダンパー・ペダルやその他のコントロール・データを録音すると、再生時に不自然な音に聞こえることがあります。これを避けるには、“High”に設定して録音し、次に“Rec3/3”ページの“クオンタイズ”でノート・データのタイミングだけを修正します。（※p.57）

多重録音

“KBD”、“Control”、“Chord”で録音したデータに5トラックまで録音を重ねることができます。
「基本的な録音」で記録した演奏データを読み込み多重録音をします。

1

保存した演奏データを読み込みます
「基本的な録音」やステップ・レコーディングで保存した演奏データを読み込みます。（※p.51）

2

“Rec 2/3” ページを表示します
[PAGE▶]スイッチを押して“Rec 2/3”ページを表示します。



3

録音するトラックを選びます

録音したい“Track” ボタンを押して“Rec”にします。

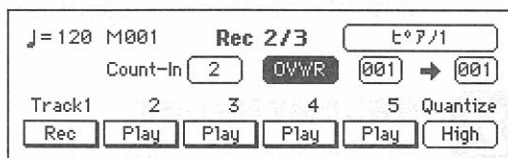
MeMO

1つのTrackだけしか“Rec”にできません。“Rec 1/3”ページの“Rec”設定は、ここで“Rec”を設定すると自動的に解除されます。

4

プログラムを設定します

“プログラム”セルを押して、演奏するトラックのプログラムを選びます。（※p.24）



MeMO

Track1～Track5ではレイヤー、スプリット機能を使用できません。

5

録音をスタートします

[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押すと、スイッチのランプが点灯します。2小節間のプリカウントの後、録音がスタートします。

録音をストップするときは

[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します。メモリに記録中のメッセージが表示されたあと[RECORD]スイッチのランプが消灯します。録音した“Track” ボタンが“Play”になります。

6

他のトラックに録音します

手順3と同様に他のトラックを選んでから、同じ手順で録音してください。

同じトラックに重ねて録音するときは

“録音方式”セルを押して、“OVDB”に設定します。

録音方式には以下の方式があります。

OVWR（オーバーライト）：前の録音データを消去し新しい録音データに書きかえて録音します。

OVDB (オーバー・ダビング): 前の録音データに重ねて録音します。

AUTP (オート・パンチ・イン/アウト): オート・パンチ/イン録音をします。

MeMO

“Rec 1/3” ページではこの設定にかかわらず、“OVWR” になります。

“OVWR” と “OVDB” では “開始小節” セルと “終了小節” セルの設定は無効となります。

曲名を変更するには

“Rec 3/3” ページを表示し “ソングネーム” ボタンを押して曲名を変更します。(p.59)

曲の途中から録音するときは

1 保存した演奏データを選択します
「基本的な録音」やステップ・レコーディングで保存した演奏データを読み込みます。(p.51)

2 録音した曲を再生します
各トラックの設定を “Play” にして [PLAY/STOP] スイッチを押します。

3 録音したい小節まできたら一時停止します
録音を開始したいところまで再生されたら、[PAUSE] スイッチを押して一時停止します。

4 録音したいトラックを選びます
追加して録音したいトラックの設定を “Rec” にします。
・ [ACC] スイッチがオンの録音のときは KBD、CTRL、CHORD のすべてのトラック
・ [ACC] スイッチがオフの録音のときは KBD、CTRL のトラック
・ トラック 1～5 の録音のときはいずれかのトラック

5 一時停止を解除します
[PAUSE] スイッチを押して、一時停止を解除します。
2小節のプリカウントの後録音が始まります。

オート・パンチ・イン/アウト

録音した曲の一部分を間違えたり、思ったような演奏にならなかったときに、曲の先頭から録音せずにその一部分だけ録音しなおすことができます。オート・パンチ・インとは、曲を再生状態から設定しておいた小節で、自動的に録音状態に切り替えることをいいます。オート・パンチ・アウトとは、逆に録音状態から設定しておいた小節で、自動的に再生状態に切り替えることをいいます。

MeMO

この機能は、Track 1～5 の録音に使えます。

1 保存した演奏データを選択します
「基本的な録音」やステップ・レコーディングで保存した演奏データを読み込みます。(p.51)

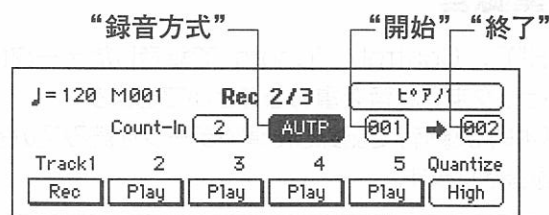
2 録音しなおす小節の前で一時停止します
各トラックの設定を “Play” にして [PLAY/STOP] スイッチを押します。録音しなおす小節の 2、3 小節前で [PAUSE] スイッチを押します。

3 録音しなおすトラックを選びます
録音しなおすトラックの “Track” ボタンを押して “Rec” にします。

MeMO

“Rec” にしないと以下の設定はできません。

4 “Rec 2/3” ページで “録音方式” セルを “AUTP” にします
“録音方式” セルを押して、ダイヤルまたは [VALUE] スイッチで “AUTP” に設定します。



5 “開始小節” セルを設定します
“開始小節” セルを押して、録音しなおしたい小節の始めをダイヤルまたは [VALUE] スイッチで設定します。

6 “終了小節” セルを設定します
“終了小節” セルを押して、録音しなおしたい小節の終わりをダイヤルまたは [VALUE] スイッチで設定します。

7 録音をスタートします

[RECORDER]の[PAUSE]スイッチを押すと手順2で設定した小節から曲が再生されます。

MeMO 手順5で設定した小節から自動的に録音が始まりますので、録音開始小節の1、2小節前から弾き始めるとよいでしょう。

8 録音をストップします

録音終了小節が過ぎたら自動的に録音が終了し、再生を続けます。曲の再生をストップするときは、[RECORDER]の[PLAY/STOP]スイッチを押します。

..... 演奏しないで自動伴奏を録音する方法 (ステップ・レコーディング)

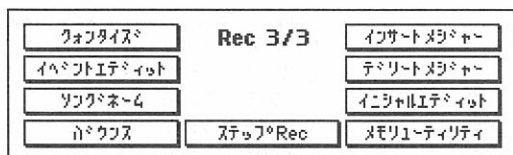
ステップ・レコーディング機能を使うと、自動伴奏のコードとフィルなどのコントローラーの入力を自分で演奏しなくても小節等を指定することによって簡単に入力できます。ピアノが演奏できなくても、楽譜のコードやコード譜を見ながら自動伴奏を録音することができます。

1 [RECORDER]の[RECORD]スイッチを押します

“Rec 1/3” ページが表示されます。自動的に“NewSong”が選択されます。[ACC]スイッチをオンにしてください。

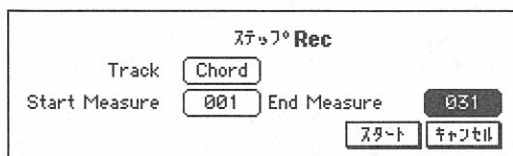
2 “Rec 3/3” ページを表示します

[PAGE ▶]スイッチで“Rec 3/3” ページを表示します。



3 “ステップRec” ボタンを押します

“ステップRec” ページが表示されます。



リズム・スタイルのコードを入力するときは、“Track”セルを“Chord”にします。

リズム・スタイルのコントローラーを入力するときは“Track”セルを“Ctrl”にします。

“Start Measure”セルに開始小節、“End Measure”セルに終了小節を設定します。

MeMO 初めて録音するトラックでは、“End Measure”セルに設定した小節まで入力できます。すでに録音されているトラックの場合、最終小節が自動的に設定されます。

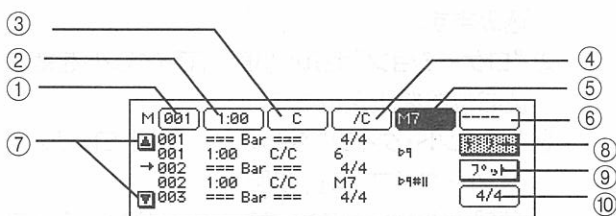
4 “スタート” ボタンを押します

ステップ・レコーディングのページが表示されます。

ステップ・レコーディングを終了するときは
[EXIT]スイッチを押します。“Rec 3/3” ページが表示されます。

○ステップ・レコーディングの操作

“Chord”：コード入力時



① “小節”セル: この設定の小節にイベントを書き込みます。

② “ロケーション”セル: 小節内でイベントを書き込む位置 (ロケーション) を設定します。表示する数値は“拍:クロック”をあらわします。拍は4分音符の単位です。クロックは4分音符を96であらわします。

“1:00”が小節の最初をあらわします。例えば、4分音符で2拍目は“2:00”、3拍目は“3:00”、1.5拍目は“1:48”と示します。

ステップ・レコーディングでは48 (8分音符) 単位に設定できます。

③ コードの根音 (ルート):

④ コードのベース:

⑤ コードのタイプ: ここを“NoChord”に設定すると、DrumとPercだけの演奏になります。

⑥ コードのテンション:

⑦ “▲、▼” ボタン: ロケーションを選びます。

⑧ “デリート” ボタン: “→”のコードが削除されます。

⑨ “プット” ボタン: 設定したコードを指定した小節、ロケーションに挿入します。

⑩ “拍子”セル: “→”の示す小節の拍子を設定します。

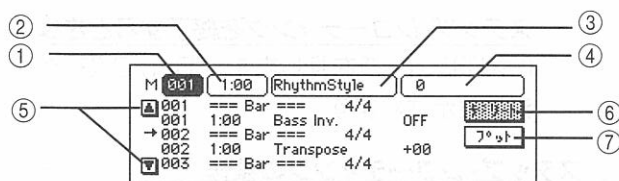
MeMO

3、4、5、6は鍵盤から入力できます。鍵盤から入力するときは、“ステップRec”ボタンを押す前に[ACC]スイッチをオンにします。また、必要に応じて“Bass Inv.”ボタンもオンにします。

“Ctrl”：コントロール・イベント入力時

自動伴奏で使う“INTRO/ENDING”、“Variation”や“KBD ASSIGN”の設定、演奏中のリズム・スタイルの変更などを記録できます。

“Chord”トラックと同様にして必要な位置にコントロール・イベントを入れていきます。



- ① “小節”セル: この設定の小節にイベントを書き込みます。
- ② “ロケーション”セル: 小節内でイベントを書き込む位置を設定します。
- ③ “イベント・タイプ”セル: 「○ コントロール・イベント・タイプ一覧」参照
- ④ “値”セル: 「○ コントロール・イベント・タイプ一覧」参照

- ⑤ “▲、▼”ボタン: ロケーションを選びます。
- ⑥ “デリート”ボタン: “→”のイベントが削除されます。
- ⑦ “プット”ボタン: 設定したコントロール・イベントを指定した小節、ロケーションに挿入します。

○ コントロール・イベント・タイプ一覧

イベント名	値
RhythmStyle	0~217 (※p.78「リズム・スタイル・リスト」“No.*”参照)
Sty.Element	Off, Var1, Var2, Var3, Var4, Int1, Int2, End1, End2, Fil1, Fil2
Kbd Assign	Full, Layer, Split, F-Mute (“Full”で左側鍵盤ミュート)、L-Mute (レイヤー時左側鍵盤ミュート)
Bass Inv.	Off, On
Transpose	-11 ~ +11
Drum Mute	Play, Mute
Perc Mute	Play, Mute
Bass Mute	Play, Mute
Acc1 Mute	Play, Mute
Acc2 Mute	Play, Mute
Acc3 Mute	Play, Mute
Upp1 Prog.	0~411 (※p.75「プログラム・リスト」“No.*”参照)
Up2/Lo Prog.	0~411 (※p.75「プログラム・リスト」“No.*”参照)
Upp1 Oct.	-2 ~ +2
Up2/Lo Oct.	-2 ~ +2

ステップ・レコーディングでコードを入力してみましょう

下の楽譜のコードをステップ・レコーディングで入力すると、楽譜の横にあるリストのようになります。

p.55 ~を参照して入力してください。

☆ 線路は続くよどこまでも / アメリカ民謡

小節	ロケーション	ルート	ベース	タイプ	テンション
① M003	1:00	G	/G		----
② M004	3:00	G	/G	7	----
③ M005	1:00	C	/C		----
④ M005	3:00	C	/C	m6	----
⑤ M006	1:00	G	/G		----
⑥ M007	1:00	G	/G		----
⑦ M008	3:00	E	/E	m	----
⑧ M009	1:00	A	/A	7	----
⑨ M010	1:00	D	/D		----
⑩ M011	1:00	D	/D	7	----
⑪ M012	1:00	G	/G		----
⑫ M012	3:00	G	/G	7	----
⑬ M013	1:00	C	/C		----
⑭ M014	1:00	B	/B	7	----
⑮ M015	1:00	C	/C		----
⑯ M016	1:00	G	/G		----
⑰ M017	1:00	E	/E	m	----
⑱ M017	2:48	C	/C	m6	----
⑲ M017	3:00	G	/G		----
⑳ M017	4:00	D	/D	7	----
㉑ M018	1:00	G	/G		----

3. 編集機能

..... 保存した録音データを編集するときは

リアルタイムやステップなどで録音したデータを、もう一度呼び出して演奏等を追加したり編集したりすることができます。

1

保存した演奏データを選択します

「基本的な録音」やステップ・レコーディングで保存した演奏データを読み込みます。
(p.51)

2

データの修正を行います

“Rec 1/3” ページ、“Rec 2/3” ページ、“Rec 3/3” ページの各ページでデータの修正ができます。

“Rec 1/3” ページ

♩ = 127 M001		カラオケ・ピアノ/1	
Man	Rec 1/3	8ビート	Var1
C		KBD	Control Chord
Song01:NEW SONG		Rec	Rec Rec

“KBD” ボタン: “Rec 1/3” ページで録音した鍵盤で演奏したデータのトラック

“Control” ボタン: 自動伴奏のフィルやバリエーションのオン、オフなどのパネルの操作やコントローラを記録するトラック (p.56「コントロール・イベント・タイプ一覧」)

“Chord” ボタン: リズム・スタイルのコード進行を記録するトラック

“Tempo” ボタン: “Tempo” ボタンを押すたびに“Man”、“Auto”、“Rec”の順番で変わります。“ファンクション 4/10” ページの“Sync.”を“Ext.”に設定したとき (p.71) は、テンポ表示が“♩ = EXT”になります。このときは本体でテンポを変更できないので、この設定は無視されます。

Man: 手でテンポを変えることができます。

Auto: テンポ・トラックのデータに従ってテンポが変わります。

Rec: テンポ・トラックにテンポのデータを録音します。

“Rec 2/3” ページ

♩ = 120 M001		Rec 2/3	
Count-In	2	QVWR	001 → 001
Track1	2	3	4 5 Quantize
Play	Play	Play	Play High

“Track1～5” ボタン: “Rec 2/3” ページで鍵盤で弾いて録音したデータが入っています。

“Rec 3/3” ページ

クオンタイズ	Rec 3/3	インサートメロディ
イニシャルエディット		テリットメロディ
ソフタペー		イニシャルエディット
バック	ステップ・Rec	メモリー・テリディ

さまざまな録音データ編集機能があります。それぞれの項目についての詳細は「“Rec 3/3” ページ項目詳細」を参照してください。

○ “Rec 3/3” ページ項目詳細

“Rec 3/3” ページでは次のような録音データ編集機能があります。

編集する項目のボタンを押して、各ページを表示します。

以下の操作説明は、項目名のボタンを押してページが表示されているものとして説明します。

編集後、“Rec 3/3” ページに戻ると編集した演奏データは自動的に記録されます。

“クオンタイズ” ページ

録音した演奏データのタイミングを補正します。

この機能は“Rec 2/3” ページにある“クオンタイズ”セルよりも自由度があります。小節の範囲やクオンタイズするデータのタイプを選ぶので、関係ない他の小節やデータには影響しません。

クオンタイズ	
<input checked="" type="radio"/> All	<input type="radio"/> Note <input type="radio"/> CTRL <input type="radio"/> AFTT <input type="radio"/> Bend <input type="radio"/> Prog.
Track	Kbd Res. High
Start 001	End 001 QNTZ キャンセル

“クオンタイズ” ラジオ・ボタン: クオンタイズをかけるデータの種類を選びます。

All: すべてのイベント・データ

Note: 鍵盤を弾いたデータ(ノート・オン/オフ・イベントと呼びます。)

CTRL: ダンパーやソフト、ソステヌート・ペダルのデータ(コントロール・チェンジと呼びます。)

AFTT: アフター タッチのデータ(本機では録音できません。)

Bend: ピッチベンドのデータ(本機では録音できません。)

Prog.: プログラムを切り換えるデータ(プログラム・チェンジと呼びます。バンク・チェンジも含みます。)

“Track”セル: クォンタイズをかけるトラックを設定します。

Kbd、Ctrl、Chord、Track 1～5、Tempo

“Res.”セル: 音符の長さ(レゾリューション)の設定します。

High: 4分音符の1/96

♪₃: 32分音符の3連符

♪: 32分音符

♪₃: 16分音符の3連符

♪: 16分音符

♪₃: 8分音符の3連符

♪: 8分音符

♪: 4分音符

“Start”セル: 開始小節を設定します。

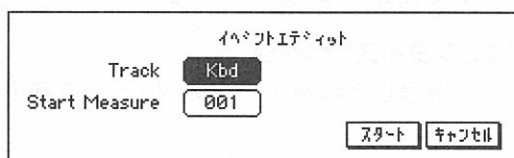
“End”セル: 終了小節を設定します。

“QNTZ”ボタン: クォンタイズを実行します。

“キャンセル”ボタン: クォンタイズを実行しないで前のページに戻ります。

“イベントエディット”ページ

データを直接書き換えたり、追加したりします。編集するトラックと小節を選び、“スタート”ボタンを押します。



“Track”セル: 編集するトラックを選びます。選ぶトラックによってイベント・エディットの操作が変わります。

“Start Measure”セル: 編集を開始する小節を設定します。

“スタート”ボタン: イベント・エディットを開始します。

“キャンセル”ボタン: 元のページに戻ります。

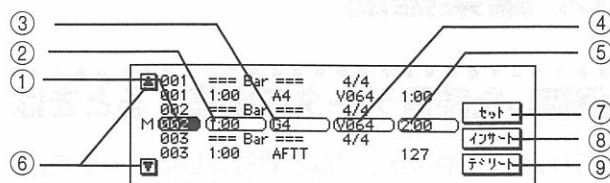
Kbdトラック、Track 1～Track 5を選んだときのイベント・エディット操作

“スタート”ボタンを押すと、“イベントフィルター”ページが表示されます。



エディットするイベントのチェック・ボックスをオンにします。“OK”ボタンを押すとイベント・エディットのページが表示されます。

画面中央のデータがエディット対象です。



① “小節”セル: この設定の小節にイベントを書き込みます。

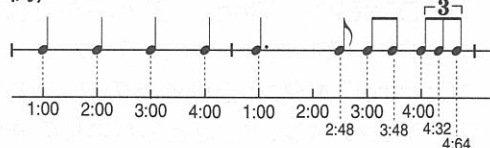
② “ロケーション”セル: 小節内でイベントを書き込む位置を設定します。

表示する数値は“拍:クロック”をあらわします。拍は4分音符の単位です。クロックは4分音符を96であらわします。

“1:00”が小節の最初をあらわします。例えば、4分音符で2拍目は“2:00”、3拍目は“3:00”、1.5拍目は“1:48”と示します。

	♪ (0:12)	♪ (0:24)	♪ (0:48)	♪ (1:00)	♪ (2:00)	♪ (4:00)
付点	♪. (0:18)	♪. (0:36)	♪. (0:72)	♪. (1:48)	♪. (3:00)	♪. (6:00)
3連符	♪ ₃ (0:08)	♪ ₃ (0:16)	♪ ₃ (0:32)	♪ ₃ (0:64)	♪ ₃ (1:32)	♪ ₃ (2:64)

例)



③ イベント・タイプ: イベント・タイプによってイベント・データが2つのものと1つのものがあります。

④ イベント・データ1:

⑤ イベント・データ2:

⑥ “▲、▼”ボタン: ロケーションを選びます。

⑦ “セット”ボタン: 設定したイベントを決定します。

MeMO

エディット画面で、変更していないときは“セット”ボタンがグレー表示になります。値を変更したときは、“セット”ボタンが表示され、“セット”ボタンを押して変更を決定します。“セット”ボタンを押した後は再びグレー表示になります。

⑧ “インサート”ボタン: “M”のロケーション(ページ中央の位置)にイベントが挿入されます。

⑨ “デリート”ボタン: “M”のロケーションのイベントが削除されます。

○ イベント・タイプ一覧

イベント・タイプ	データ1/データ2
C-1...G9 (ノート・データ)	V:002~V:126 (ベロシティ)/ 0:00~5:00 (レグス、拍クロック) *1
BEND (ピッチ・ベンド)	-8192~+8191 (上位/下位 バリュー)
AFTT (アフタータッチ)	000~127 (バリュー) /--
PROG (プログラムチェンジ)	000~127 (プログラム・バンク) /000~127 (プログラム・ナンバー) *2
CTRL (コントロール・チェンジ)	C000~C127 (ナンバー) / 000~127 (バリュー)
PAFT (ポリアフター)	C-1~G9 (ノート・ナンバー) / 000~127 (バリュー) *3

*1 次の小節に音がつながっているときは“TIE”と表示されます。

*2 “004”はドラム・バンクです。プログラム・ナンバーとドラム・プログラムの対応は「付録」のプログラム・リスト (p.75) を参照してください。

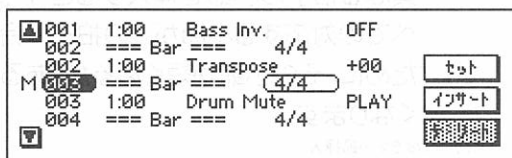
値1の000...127は、MIDIバンク・チェンジのLSBを表わします、MSBは0になります。

--では、プログラム・バンクは送信されません。その前に指定されていたバンクが保持されます。

*3 MIDIのポリフォニック・キー・プレッシャーを送信します。

Ctrlトラックを選んだときのイベント・エディット操作

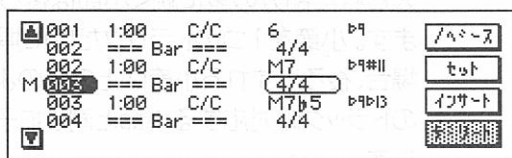
Kbdトラックと同様ですが“イベントフィルター”ページは表示されません。



また、表示されるイベントが異なります。
(p.56「コントロール・イベント一覧」参照)

Chordトラックを選んだときのイベント・エディット操作

Ctrlトラックと同様です。



コード・イベントは同じロケーションに2つ以上イベントを入れても1つしか有効になりません。また、コード・イベントはそのイベント以降はすべて同じコードとなります。

イベント・データを“NoChord”にすると、そのイベント以降はDrum、Percの演奏だけになります。

MeMO

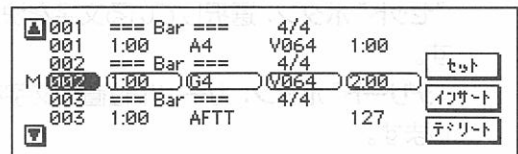
オン・コード (“Bass Inv.” がオンのときのようなコード) のベース (分母) を入力するときは “/ベース” ボタンを押して、ボタンを反転させてください。
オン・コードを使用しないときは、分母と分子を同じコードを入力してください。

Tempoトラックを選んだときのイベント・エディット操作

Kbdトラックと同様ですが、イベント・フィルターのページは表示されません。

表示されるイベントはテンポだけです。

○ 基本的な操作



小節の移動

小節セルを押して、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチで設定します。

このときは小節の始めにある小節線 (---Bar---) ごと移動します。

エディットするイベントの選択

“▼”、“▲” ボタンを押します。

イベントの挿入

“Insert” ボタンを押すと、現在の対象イベントの上に新しくイベントを挿入します。

イベントの種類やロケーションは挿入後に変えます。

イベントのエディット

中央の行の小節以外のセルを押してダイヤル、または[VALUE]スイッチで設定します。

値を変更し終わったら“セット” ボタンを押します。

MeMO

ロケーションを変えたときは“セット” ボタンを押したときに正しい位置へ移動します。

イベントの削除

削除したいイベントを対象イベントに移動して、“デリート” ボタンを押します。

小節線は削除できません。

MeMO

小節の削除は“デリートメジャー”ページで行います。

イベント編集終了

編集がすべて終わったら[EXIT]スイッチを押して“Rec 3/3”ページに戻ります。

“ソングネーム” ページ

曲名を編集します。

Screen showing character selection (ASCII and Japanese) and navigation buttons (NEW, ←, →, セット, デリート, インサート, リターン).

文字: ダイアルまたは[VALUE]スイッチで選びます。

“←” ボタン: カーソルを左に動かします。

“→” ボタン: カーソルを右に動かします。

“セット” ボタン: 選択している文字を決定します。

“デリート” ボタン: カーソル位置の文字を消去します。

“インサート” ボタン: カーソル位置に文字を挿入します。

“リターン” ボタン: 名称を変更したら“リターン” ボタンを押して前の画面に戻ります。

“バウンストラック” ページ

KbdトラックとTrack 1 ~ 5の中から2つのトラックを選び、1つにまとめます。

Screen with Source and Destination dropdowns (both set to Kbd) and buttons for バウンス and キャンセル.

“Source” セル: 1つめのトラックを設定します。

“Destination” セル: 2つめのトラックを設定します。

“バウンス” ボタン: “バウンス” ボタンを押すと2つのトラックが“Destination”トラックにまとまります。“Source”トラックのデータは消去されます。

“キャンセル” ボタン: 実行しないで前のページに戻ります。

MeMO 両方のトラックにピッチベンド、ダンパー・ペダル、その他コントロール・イベントを使っていて、そのロケーションが重なっているときに、これを1つにまとめると意図しない結果になることがあります。

MeMO バウンス 後、いっしょになったトラックは“Destination”で指定したトラックのプログラム、MIDIチャンネル、その他のトラック設定がそのまま適用されます。

“インサートメジャー” ページ

小節を挿入します。

Screen with Track (Kbd), Start (001), Length (001), Meter (4/4), and buttons for インサート and キャンセル.

“Track” セル: 対象となるトラックを設定します。全トラックに挿入するときは“All”に設定します。

“Start” セル: 開始小節を設定します。

“Length” セル: 挿入する小節の長さを設定します。

“Meter” セル: 拍子を設定します。

“インサート” ボタン: “インサート” ボタンを押すと小節が挿入されます。

“キャンセル” ボタン: 実行しないで前の画面に戻ります。

異なる拍子の小節を挿入するときは

変更した拍子は、“Rec 1/3” ページの“Tempo”を“Auto”にすれば有効となります。

異なる拍子の小節を挿入すると、トラックすべての対応する小節がこの拍子に合わせるために、その小節が短くなるか、あるいは長くなります。



異なる拍子を選ぶ、選ばないに関係なく、挿入された部分の後に続く小節は後ろにずれます。小節を1つのトラックだけに挿入した場合、後ろにずれる小節は上の図のように他のトラックの対応する小節と同じ拍子になります。

挿入の結果、番号がかわった小節は短く途切れたり逆に長くなったりすることがあります。

MeMO 他のトラックと拍子を合わせるときは、“Meter”で“*/*”を選ぶと挿入した小節は他のトラックと同じになります。

“デリートメジャー” ページ

小節を削除します。

“Track” セル: 対象となるトラックを設定します。全トラックを削除するときは“All”に設定します。

“Start” セル: 消去の開始小節を設定します。全小節を削除するときは“All”に設定します。

“End” セル: 終了小節を設定します。

“デリート” ボタン: “デリート” ボタンを押すと小節が削除されます。

“キャンセル” ボタン: 実行しないで前の画面に戻ります。

MeMO

小節を1つのトラックだけから削除した場合、前にずれる小節は他のトラックの対応する小節と同じ拍子になります。削除によって番号がかわった小節は短く途切れたり、逆に長くなったりすることがあります。

“イニシャルエディット”

録音する曲の最初に各トラックの初期設定やエフェクトの設定を記録できます。各トラックについて設定できます。

“イニシャルエディット 1/2” ページ

エフェクトの設定、鍵盤の音色とオクターブの設定ができます。

“リバーブ” セル: リバーブ効果のかかり具合を設定します。

“リバーブ・タイプ” セル: リバーブのタイプを設定します。

“コーラス” セル: コーラスなどのエフェクト効果のかかり具合を設定します。

“コーラス・タイプ” セル: コーラスなどのエフェクトのタイプを設定します。

“Upper 1、2、Low” セル: それぞれのプログラムとオクターブ設定を設定します。

“イニシャルエディット 2/2” ページ

各トラックの Program、Pan、Volume、Reverb、Chorus の設定を行います。

変更したいトラックのラジオ・ボタンを押して、それぞれのセルを押し、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチで設定します。

“Track” ラジオ・ボタン: 設定するトラックのラジオ・ボタンを押して選びます。

“Program” セル: 初期設定とするプログラムを選びます。

“Pan” セル: 初期設定とするパンポットの値を設定します。

“Volume” セル: 初期設定とする音量を設定します。

“Reverb” セル: リバーブ効果のかかり具合を設定します。

“Chorus” セル: コーラスなどのエフェクト効果のかかり具合を設定します。

“メモリーティリティ” ページ

曲選択セル: 曲を選択します。“Rec 1/3” ページで、録音または再生する曲を選びます。レコーダーが動作中は曲を変更することはできません。

“プリセット” ボタン: 工場出荷時の状態に戻します。

“デリート” ボタン: 曲選択セルで選んだ曲データを消去します。

記録した録音データはすべて消去されます。

“Tx” ボタン: 曲選択セルで選んだ曲のデータをMIDI OUT端子に接続したMIDI機器に送ります。データファイラーに保存するときなどに使用します。データファイラーからデータを受け取る時はこのページを表示しているときに受信できます。このとき曲選択セルで選んでいる曲にデータは上書きされます。



曲データはSMF (スタンダードMIDIファイル) ではありません。

メモリ残量: この値が“0”に近づくと、次に録音できるノート(イベント)数が減ります。

不要な曲をデリートして残量を増やしてから録音することをお勧めします。

MeMO

メモリ残量が少なくなると録音が自動的に中止されます。データを確実に保存するためにメモリ残量が“0”にならない場合もあります。

メモリ使用量: 曲選択セルで選んでいる曲が使っているメモリのおよその量を示します。デリートする場合の目安にします。



ファンクション

1. 音の高さの調整

音の高さを微調整するときは

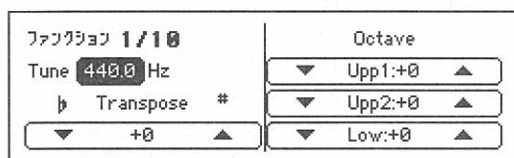
音高(ピッチ)を微調整します。

他の楽器と合奏をするときなどに、楽器間の微妙な音程のずれを調整します。

427.5~453.0Hz(ヘルツ)の範囲で、0.5Hzごとに設定できます。工場出荷時はA4=440Hzです。

1 [FUNCTION]スイッチを押します

[FUNCTION]スイッチのランプが点灯し、“ファンクション1/10”ページが表示されます。



2 “Tune”を調整します

“Tune”セルの値をダイヤルまたは[VALUE]スイッチで調整します。

本体に設定を記憶させるときは

“ファンクション7/10”ページで“ライト”ボタンを押します。記憶させないで電源をオフにすると、元の設定に戻ります。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

キーを変更するときは(移調)

黒鍵を多く押さえるような弾きにくい曲や、他の楽器や歌にキー(調)が合わせられないときなどに、キーを変える(移調することによって、黒鍵をあまり使わない指使いで演奏したり、覚えたそのままの指使いで他の楽器や歌に演奏を合わせることができます。これをトランスポーズ機能といいます。

1 [FUNCTION]スイッチを押します



2 “Transpose”を変更します

“Transpose”セルの“▲”または“▼”を押して、値を変更してください。

設定できるのは-11~+11です。

MeMO 電源をオフにすると設定は、“0”になります。

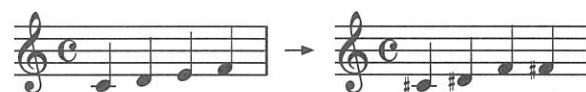
元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

例1: 曲の調子を半音上げて演奏するときは
“Transpose”セルの値を“+1”に設定します。

Cの鍵盤を押さえたときにC#の音が鳴るようになります。

このように音を半音上げた場合、左の楽譜を弾くと、右の楽譜のように鳴ります。



例2: キーがB♭の曲をGの指使いで演奏するときは

“Transpose”セルの値を“+3”に設定します。

B♭の音は、Gの音から見て短3度の(3半音高い)音にあたります。したがって、Cの鍵盤を押したときに、Cよりも3半音高いD#の音が出るようにします。

オクターブを変更するときは

1 [FUNCTION]スイッチを押します



2 それぞれの“Octave”を変更します

“Octave”セルの“▲”または“▼”を押して、値を変更してください。

設定できるのは-2、-1、0、+1、+2オクターブです。

Upp1: [LAYER]や[SPLIT]をオンにしたときの第1音色または[LAYER]や[SPLIT]がオフのときの鍵盤

Upp2: [LAYER]をオンにしたときのUpp1に重ねた音色

Low: [SPLIT]をオンにしたときの、スプリット・ポイントより左側の音色

MeMO

電源をオフにすると設定は、Upp1は“0”、Upp2は“0”、Low“+1”になります。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

2. 音律を選ぶ

クラシック音楽には、古典的な調律法によって作曲された作品が数多く残っています。

これらの曲の持つ本来の響きを再現するキルンベルガーやヴェルクマイスターなどの古典音律や、その他、アラビアやインドネシア特有の音律などを選ぶことができます。

音律名	説明
Equal Temp	平均律 鍵盤楽器に最も幅広く用いられている通常の音律です。これは半音階が均等に配列されているため、どのキーでも均一のスケールで演奏することができます。
Equal Temp2	平均律(ランダム) 平均律のピッチが若干不規則にずれます。音程が自然と不規則になりがちなアコースティック楽器を再現するのに向いています。
Pure Major	純正律長音階 “Key”セルで設定した主調和音のメジャーコードが完全に調和する音律です。
Pure Minor	純正律短音階 “Key”セルで設定した主調和音のマイナーコードが完全に調和する音律です。
Arabic	アラビック(1/4) アラビア音楽の1/4トーン音律です。rast do/bayati reにはキーをC(ド)に、rast re/bayati miにはD(レ)、rast fa/bayati solにはF(ファ)、rast sol/bayati laにはG(ソ)、rast si b/bayati doにはA#(ラ#)を設定します。
Pythagorean	ピタゴラス 古代ギリシャの音律で、メロディー演奏に効果的です。
Werkmeister	ヴェルクマイスター バロック時代の後期に用いられた平均律的な音律です。
Kirnberger	キルンベルガー 主にハーブスコードの調律に用いられている18世紀に考案された音律です。
Slendro	スレンドロ 1オクターブを5音で構成するインドネシアのガムラン音律です。キーがCのとき、C、D、F、G、A(ド、レ、ファ、ソ、ラ)の各鍵を使用します。
Pelog	ペロッグ 1オクターブを7音で構成するインドネシアのガムラン音律です。キーがCのとき、C、D、E、F、G、A、B(ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ)の各鍵を使用します。
User1~4	ユーザー・スケール

MeMO

このほかにアサインابل・ペダルの設定で、中近東音楽などで使用される音律“Quarter Tone”に設定することができます。(p.66)

音律を設定するときは

1 [FUNCTION] スイッチを押します

2 “ファンクション 9/10” ページを表示します



3 音律を選びます

“Main Scale” セルまたは “Sub Scale” セルをダイヤルまたは [VALUE] スイッチで変更します。

音律の一覧を参照してください。

MeMO

電源をオンにした直後は “Main Scale” になります。
“Sub Scale” に切り換えるにはアサインブル・スイッチを使用して切り換えます。(P.66)

4 “Key” を設定します

選んだ音律のキーを選びます。

ただし “Equal Temp”、“Equal Temp2” では無効です。

元の表示に戻るときは

[EXIT] スイッチまたは [FUNCTION] スイッチを押すと、[FUNCTION] スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

MeMO

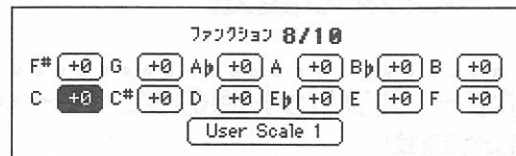
ストレッチ・チューニングについて
ピアノ音色のプログラムでは、より自然な響きを得るために、平均律のピッチに対して低音域は低く、高音域は高いピッチに調整されています。

好みの音律を作るときは

ユーザー・スケールを使って自分で4種類の音律を作ることができます。

1 [FUNCTION] スイッチを押します

2 “ファンクション 8/10” ページを表示します



3 変更する “User Scale” セルを選びます
“User Scale 1～4” の中から設定するユーザースケールをダイヤルまたは [VALUE] スイッチで選びます。

4 各キーのピッチをセント単位で設定します
-50～+50セントの範囲で設定できます。

本体に設定を記憶させるときは

“ファンクション 7/10” ページで “ライト” ボタンを押します。記憶させないで電源をオフにすると、元の設定に戻ります。

元の表示に戻るときは

[EXIT] スイッチまたは [FUNCTION] スイッチを押すと、[FUNCTION] スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

3. ペダルの設定

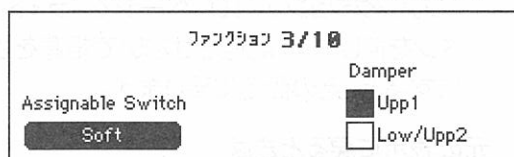
レイヤー、スプリット時のダンパー・ペダルの設定

レイヤー機能またはスプリット機能を使用しているときに、ダンパー・ペダルによる効果を2つの音色の両方または、いずれかにかけるかを設定します。

1 [FUNCTION] スイッチを押します

2 “ファンクション 3/10” ページを表示します

[PAGE ▶]スイッチを2回押して、“ファンクション 3/10” ページを表示します。



3 設定を変更します

“Upp1” チェック・ボックスをオフにすると、Upp1 にダンパーがかからなくなります。
“Low/Upp2” チェック・ボックスをオフにすると、Upp2またはLowにダンパーがかからなくなります。

MeMO この設定はリズム・スタイルを変更したときは、それらに記憶されている設定になります。(p.46)

4 基本画面に戻ります

[EXIT] スイッチを押し基本画面に戻ります。

アサインابل・スイッチの機能を設定するときは

アサインابل・スイッチ端子に接続したペダルはいろいろな機能に設定することができます。
工場出荷時は“Soft”に設定されています。

1 [FUNCTION] スイッチを押します

2 “ファンクション 3/10” ページを表示します

[PAGE ▶]スイッチを2回押して、“ファンクション 3/10” ページを表示します。



3 “Assignable Switch” セルを設定します

アサインابل・スイッチ端子に接続したペダルで使いたい機能を、ダイヤルまたは[VALUE]スイッチで選びます。

Soft	ピアノのソフト・ペダルの機能
Start/Stop	[START/STOP]または[PLAY/STOP]スイッチ
Sync Start	[SYNCHRO START/STOP]スイッチと同じ機能
Acc Reset	[ACC RESET]スイッチと同じ機能
Intro/Ending 1	[INTRO/ENDING1]スイッチと同じ機能
Intro/Ending 2	[INTRO/ENDING2]スイッチと同じ機能
Fill 1	[FILL 1]スイッチと同じ機能
Fill 2	[FILL 2]スイッチと同じ機能
Variation 1	“Variation”セルに“1”を選択
Variation 2	“Variation”セルに“2”を選択
Variation 3	“Variation”セルに“3”を選択
Variation 4	“Variation”セルに“4”を選択
Bass Inversion	“Bass Inv.”セルのオン/オフ
Scale Change	“Main Scale”と“Sub Scale”を切り替える (p.65)
Variation Up	次のバリエーションを選択
Variation Down	前のバリエーションを選択
Reverb On/Off	[REVERB]スイッチのオン/オフ
Effect On/Off	[CHORUS etc.]スイッチのオン/オフ
Drum Mute	自動伴奏のDrumパートのミュート (p.40)
Perc. Mute	自動伴奏のPerc.パートのミュート (p.40)
Bass Mute	自動伴奏のBassパートのミュート (p.40)
Acc1 Mute	自動伴奏のAcc1パートのミュート (p.40)
Acc2 Mute	自動伴奏のAcc2パートのミュート (p.40)
Acc3 Mute	自動伴奏のAcc3パートのミュート (p.40)
Tap Tempo	[TAP TEMPO]スイッチと同じ機能
Ensemble	[ENSEMBLE]スイッチと同じ機能
Quarter Tone	中近東音楽に使います。ペダルがオンの間に押された鍵盤の音名のピッチを+50セントにします。鍵盤を2度押すと-50セント、解除はもう一度ペダルを押します。

4. オール・セットアップ

変更した[FUNCTION]などの各設定を本体に記憶することができます。

この操作を行うと、電源をオフにしても設定が本体に記憶されるので、次に電源を入れたときに、同じ設定になります。

記憶する項目は以下の内容です。

○セッティングの内容

[FUNCTION]スイッチの設定

“ファンクション 1/10” ページ

Tune

“ファンクション 3/10” ページ

Assignable Switch

“ファンクション 4/10” ページ

MIDI Transpose

“ファンクション 5/10” ページ

Prog.、ProgBank、Control、AfterTouch、Exclusive

“ファンクション 6/10” ページ

Keyboard、Upper1、Low/Upp2

Dr、Perc、Bass、Acc1、Acc2、Acc3

Chord Rx1、Chord Rx2

“ファンクション 8/10” ページ

User Scale1～4の設定

“ファンクション 10/10” ページ

Popup Time

[TOUCH]スイッチの設定

[ACC]スイッチの次の設定

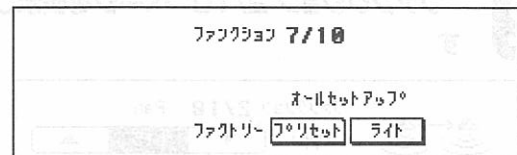
Onefinger、Fingered1、Fingered2、Split Point、After Fill1、After Fill2

各設定を本体に記憶させるときは

オール・セットアップを本体に記憶します。

1 [FUNCTION]スイッチを押します

2 “ファンクション 7/10” ページを表示します




現在の設定内容と本体に記憶された内容が違うときは、このページに“変更された内容が書き込まれていません”というメッセージが表示されます。そのときは、“ライト”ボタンを押して、本体に記憶をしてください。記憶させないで電源をオフにすると、前回電源をオンにした直後の設定に戻ります。

 書き込み中は絶対に電源をオフにしないでください。

工場出荷状態にもどすときは

ファクトリー“プリセット”ボタンを押すと、オールセットアップの内容を工場出荷状態に戻すことができます。

 データの書き込み中に電源をオフするとメモリの内容が壊れることがあります。メモリ内容が壊れたときは、再電源投入時にユーザーリズムスタイル、ユーザープログラム、オールセットアップが自動的に工場出荷時の状態になります。また、録音データの一部が壊れた場合は、録音データはすべて工場出荷時の状態になります。

5. 便利な機能

音の左右のバランスを調整するときは

左右の音のバランスを調整します。

1 [FUNCTION] スイッチを押します

2 “ファンクション 2/10” ページを表示します



3 “Pan” を変更します

レイヤーやスプリットを使用していないときや、レイヤーのUpp1を変更するときは“Upp1”セルを“▲”または“▼”を押して、値を変更します。

レイヤーのUpp2を変更するときは“Upp2”セルを“▲”または“▼”を押して、値を変更します。

スプリットの低音側(Low)を変更するときは“Low”セルを“▲”または“▼”を押して、値を変更します。

設定できる値はoff*、L15 (左のみ) ~Cnt (中央) ~R15 (右のみ)、Prg (プログラムに設定された値) です。

*リバーブ、エフェクト効果のかかった音のみになります。

MeMO プログラムによっては“Pan”が効かないものもあります。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

ポップアップ画面の表示時間を変更するときは

1 [FUNCTION] スイッチを押します

2 “ファンクション 10/10” ページを表示します



3 表示時間を変更します

プログラムやリズム・スタイルを切り換えるときに表示するポップアップ画面の表示時間は“Prog/Style”を変更します。それ以外のポップアップ画面の表示時間を変更するときは“Other Page”を変更します。

設定できる値は0.1 ~ 10sec (秒) です。

本体に設定を記憶させるときは

“ファンクション 7/10” ページで“ライト”ボタンを押します。記憶させないで電源をオフにすると、元の設定に戻ります。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

他の機器との接続

1. MIDI機器との接続

MIDI (ミディ) とは？

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、電子楽器やコンピュータの間で、演奏に関するさまざまな情報をやりとりするための世界共通の規格です。

本機を演奏することによって、他のMIDIを備えた楽器を鳴らすことができます。このとき、音色の切り替えやダンパー・ペダルなどの効果を一緒にコントロールすることができます。

また、他のMIDIキーボードやシーケンサー（自動演奏装置）から本機をコントロールして、内蔵音源を鳴らすこともできます。複数のMIDI機器を組み合わせることによって、より多彩なアンサンブルを楽しむことができます。

ここでは、本機に関連したMIDIの使用方法について説明します。さらにMIDIに興味のある方は、MIDIについてわかりやすく説明した本も、数多く出版されていますので、ご利用ください。

MIDIの接続方法

MIDI情報をやりとりするには、MIDIケーブルを使います。このケーブルを本機のMIDI端子と情報をやりとりする外部MIDI機器のMIDI端子に接続します。このMIDI端子は2種類あります。

MIDI IN端子

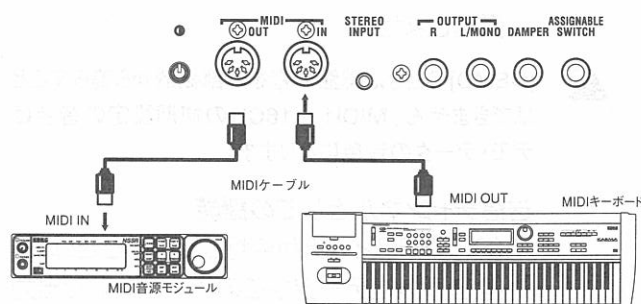
MIDI情報を受信します。

外部MIDI機器（MIDIキーボードやシーケンサーなど）で、本機の音を鳴らすなどのコントロールができます。本機のMIDI IN端子と外部MIDI機器のMIDI OUT端子を、MIDIケーブルで接続します。

MIDI OUT端子

MIDI情報を送信します。

本機を弾いたときなどに出力されるMIDI情報で、外部MIDI機器をコントロールできます。本機のMIDI OUT端子と外部MIDI機器のMIDI IN端子を、MIDIケーブルで接続します。



MIDIチャンネルの設定

MIDI機器との接続が終わったら、本機と接続するMIDI機器のMIDIチャンネルを同じ番号に設定します。MIDIチャンネルには1～16があります。

1

[FUNCTION]スイッチを押します

2

“ファンクション 6/10” ページを表示します

Ch.	ファンクション 6/10	Ch.	Ch.
Chord Rx1	Off	Ch.	Dr [10] Acc1 [13]
Chord Rx2	Off Upper1 [01]	Perc	[11] Acc2 [14]
Keyboard	[01] Low/Up2 [02]	Bass	[12] Acc3 [15]

3

それぞれのセルを設定します

それぞれのセルを押し、MIDIチャンネルをダイヤルまたは[VALUE]スイッチで設定します。

“Chord Rx1”、“Chord Rx2”

受信チャンネルとしての機能

自動伴奏のコード指定を外部機器からMIDIでコントロールするときに使います。設定されたチャンネルで外部機器からMIDIノート・イベントを受信することによってコードを指定します。この入力、スプリット・ポイントの設定には関係なく全鍵盤の範囲でコードを検出します。

MeMO

通常の本体の鍵盤入力も機能していますので、同時に本体の鍵盤入力をすると思った結果にならないこともあります。

“Keyboard”

受信チャンネルとしての機能

外部機器からMIDIでコントロールしたときに、本体の鍵盤と同じ動作をさせるときに設定します。[LAYER]や[SPLIT]をオンにする

ると、外部機器からのノート・イベントで本機の鍵盤で弾いたときと同じように鳴らすことができます。ただし、プログラム・チェンジは受信しません。



[DEMO]のときは鍵盤の音を外部機器から鳴らすことはできません。MIDI1～16CHの初期設定の音色はデモ・データの音色になります。

送信チャンネルとしての機能

[DEMO]スイッチが点灯しているときは、鍵盤を弾いたデータがこのチャンネルで出力されます。



[RECORD]スイッチが点灯しているときは“Keyboard”のチャンネルは“1”にしてください。

- 以下のチャンネル設定は[DEMO]スイッチが消灯しているときに有効です。

“Upper1”

受信チャンネルとしての機能

このチャンネルのMIDIノート・イベントを受信するとUpper1の音色で鳴ります。

送信チャンネルとしての機能

鍵盤の演奏データがこのチャンネルで出力されます。

[SPLIT]スイッチがオンのときは、Upper1側だけのノートが、このチャンネルで出力されます。



“Keyboard”と同じチャンネルにすると、プログラム・チェンジは受信しません。

“Low/Upp2”

受信チャンネルとしての機能

このチャンネルのMIDIノート・イベントを受信すると[LAYER]スイッチがオンのときはUpper2の音色、[SPLIT]スイッチがオンのときは“Lower”の音色で鳴ります。

送信チャンネルとしての機能

[SPLIT]スイッチがオンのときは、Lower側だけのノートがこのチャンネルで出力されます。



“Keyboard”や“Upp1”と同じチャンネルにすると、プログラム・チェンジは受信しません。

“Drum”、“Perc”、“Bass”、“Acc1”、“Acc2”、“Acc3”

受信チャンネルとしての機能

このチャンネルのMIDIノート・イベントを受信すると自動伴奏の各パートの音色で鳴ります。

送信チャンネルとしての機能

自動伴奏の各パートの演奏データがこのチャンネルで出力されます。



レコーダーのTrack1～Track5のMIDIチャンネルは2～6に固定されます。

本体に設定を記憶させるときは

“ファンクション7/10”ページで“ライト”ボタンを押します。記憶させないで電源をオフにすると、元の設定に戻ります。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

本機をマルチティンバー音源として使うときは

本機は、内蔵音源を外部MIDI機器からコントロールして鳴らすことができるマルチティンバー音源として動作します。

[DEMO]スイッチをオンにした状態にすると、16ティンバー・マルチのGM音源として動作します。



MIDIチャンネルの設定はできません。デモ演奏中はそのデータにしたがって音色が変化します。

ローカル・オン/オフの設定

本機の鍵盤を弾いたときに内蔵音源は鳴らさないでMIDIで接続している外部の音源だけを鳴らす場合や、シーケンサーを接続してシーケンサー側でエコーバック（シーケンサーが受信したデータを送り返す動作）を設定したときに戻ってきた情報で二重に鳴るのを防ぐ場合に本機をローカル・オフに設定します。通常はローカル・オンに設定して鍵盤を弾いたときに本機の音が鳴るようにします。



[FUNCTION]スイッチを押します



“ファンクション4/10”ページを表示します

ファンクション 4/10			
MIDI Transpose	Local	<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off
<input checked="" type="radio"/> Tx	<input type="radio"/> Rx	Sync.	<input checked="" type="radio"/> Int. <input type="radio"/> Ext.

3

“Local” ラジオ・ボタンを選びます

“On” か “Off” のラジオ・ボタンを押して設定します。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

MeMO

電源をオンにした直後は、自動的にローカル・オンに設定になります。

外部シーケンサーと同期させるときは

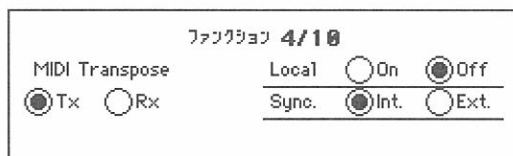
本機のレコーダーに合わせてMIDIで接続した外部シーケンサーやリズム・マシンなどを同時に演奏(同期)させます。

1

[FUNCTION]スイッチを押します

2

“ファンクション4/10” ページを表示します



3

“Sync.” のラジオ・ボタンを選びます

“Int.” か “Ext.” のラジオ・ボタンを押して設定します。

“Int.”：内部クロックで動作します。
本機を単独で使用するときや、マスター(コントロールする側)として外部機器を本機のMIDIクロックに同期させるときに“Int.”にします。

“Ext.”：MIDIで受信したデータのMIDIクロックに同期して本機のレコーダーが動作します。本機をスレーブ(コントロールされる側)として外部機器から送られてくるMIDIクロックに同期させるときは“Ext.”にします。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

MIDIトランスポーズ

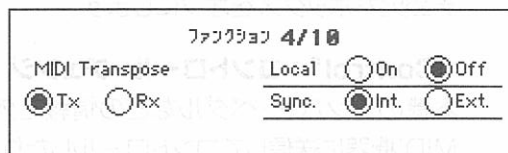
“ファンクション1/10” ページの“Transpose”の設定をMIDIで送受信するデータのどちらに有効にするかを設定します。

1

[FUNCTION]スイッチを押します

2

“ファンクション4/10” ページを表示します



3

“MIDI Transpose” のラジオ・ボタンを選びます

“Tx” か “Rx” のラジオ・ボタンを押して設定します。

“Tx”：鍵盤で入力した送信ノート・データにトランスポーズが有効になります。受信ノート・データにはかかりません。

“Rx”：受信ノート・データにトランスポーズが有効になります。
送信ノート・データにはかかりません。

MIDI Filter

プログラム・チェンジやコントロール・チェンジなどのMIDI情報の送受信するかしないかを設定します。

1

[FUNCTION]スイッチを押します

2

“ファンクション 5/10” ページを表示します



3

送受信するMIDI情報のチェック・ボックスを押して、オンにします

“Prog.”：プログラム・チェンジ

接続している外部MIDI機器のプログラム番号を本機からプログラム・チェンジを送信することによって切り替えます。

外部からプログラム・チェンジ・ナンバーを受

信すると、p.75～の表のように本機の音色が切り替わります。

これを送受信するときは“Prog.”チェック・ボックスをオンに、送受信しないときは“Prog.”チェック・ボックスをオフにします。

“Prog Bank”：プログラム・バンク・チェンジ

プログラム・バンクのMIDI情報を送受信するときに“Prog Bank”チェック・ボックスをオンに、送受信しないときは“Prog Bank”チェック・ボックスをオフにします。

“Control”：コントロール・チェンジ

本機のダンパー・ペダルなどの情報を外部MIDI機器に送信してコントロールしたり、外部MIDI機器からダンパー・ペダルなどの情報を受信して本機をコントロールします。これを送受信するときは“Control”チェック・ボックスをオンに、送受信しないときは“Control”チェック・ボックスをオフにします。



外部からのコントロール・チェンジは、本機のペダルの設定の変更 (P.66「レイヤー、スプリット時のダンパー・ペダルの設定」参照) に関係なくレイヤー機能またはスプリット機能においても、つねに両方の音色に対して有効となります。

“After Touch”：アフター・タッチ

アフター・タッチのMIDI情報を送受信するときに“After Touch”チェック・ボックスをオンに、送受信しないときは“After Touch”チェック・ボックスをオフにします。

“Exclusive”：エクスクルーシブ

エクスクルーシブのMIDI情報を送受信するときに“Exclusive”チェック・ボックスをオンに、送受信しないときは“Exclusive”チェック・ボックスをオフにします。

本体に設定を記憶させるときは

“ファンクション7/10” ページで“ライト”ボタンを押します。記憶させないで電源をオフにすると、元の設定に戻ります。

元の表示に戻るときは

[EXIT]スイッチまたは[FUNCTION]スイッチを押すと、[FUNCTION]スイッチのランプが消灯して、ディスプレイが元の表示に戻ります。

故障とお思いになる前に

電源が入らない

- AC/ACパワー・サプライが適切なコンセントに差し込まれていますか? (p.14)
- AC/ACパワー・サプライが本機のAC9V端子に差し込まれていますか? (p.14)
- 電源スイッチがオンになっていますか? (p.14)
- それでも電源が入らないときは、AC/ACパワー・サプライをコンセントから抜いて、最寄りのコルグ製品販売店にご相談ください。

音が出ない

- [MASTER VOLUME] スライダー、[ACC VOLUME]スライダーが上がっていますか? (p.14)
- 現在選んでいるパートの音量が“0”になっていませんか? (p.40)
- 現在選んでいるパートがミュートされていませんか? (p.40)
- ローカル・オンになっていますか? (p.70)
- “ミキサー” ページの“KeyL” チェック・ボックスがオンになっていませんか? (p.40)

音が途切れてしまう

- 本機の音色は、元になる楽器の音をサンプリング（録音）し、分析/加工してつくられています。音色によっては、1つの鍵盤を押すとサンプリング・データの1つを鳴らす音色と、2つを鳴らす音色があります。いくつかの音色は2つのデータを鳴らしますが、このような音色を選べばダンパー・ペダルを踏んでいるときも含め最大同時発音数は32音となります。それ以外の音色では最大同時発音数は64音となります。この最大同時発音数を越えたときに、音が途切れてしまいます。また、レイヤーやスプリットにして同時に2つの音色を鳴らすとき、サンプリング・データを1つ使っているか2つ使っているかで最大同時発音数は異なってきます。たとえばサンプリング・データを1つ鳴らす音色と2つ鳴らす音色を組み合わせると、最大同時発音数は21音になります。レイヤー、スプリットや、レコーダーに複数のパートを録音する場合は音色の組み合わせを上手に選んでください。

特定の音域でピアノ音色の音程、音質がおかしい

- 本機のピアノ音色は、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音程や音質が異質に感じる場合がありますが、製品の不良ではありません。

高音域で音が出ない、低くなる

- 一部の音色には発音域の上限があるため、高音域を弾いたときに音が出なかったり、1オクターブ下の同音を繰り返し割り当てているものがあります。

ペダルの効果が正しくかからない

- ダンパーペダル端子の接続がはずれていませんか? (p.33)
- アサイナブル・ペダルが適切に設定されていますか? (p.66)

DS-1H（別売）を使用したときに効果がかからない

- 必ずDS-1H（別売）を接続してから電源をオンにしてください。電源をオンしたあと、一度深く踏み込んでから使用してください。

録音できない

- パート設定が“Rec”になっていますか? (p.49)

送信したMIDIデータに外部機器が応答しない

- MIDIケーブルが正しく接続されていることを確認してください。(p.69)
- 外部機器と同じチャンネルで本機がMIDIデータを送信していることを確認してください。(p.69)
- MIDIチャンネル（パート）は合っていますか? (p.69)

仕 様

鍵盤	88鍵 (RH2 鍵盤)
タッチ・コントロール	6ベロシティ・カーブ
音源システム	ステレオ・サンプリング音源
最大同時発音数	64ボイス
音色プログラム数	ROM : 332 RAM : 64
ドラム・プログラム数	ROM : 14 RAM : 2
音色プログラム (グループ)	ピアノ、エレクトリック・ピアノ/オルガン、フルート/サックス 、ブラス/クワイヤー、ストリングス、ギター、ベース、シンセ/効果音 、パーカッション、ユーザー
自動伴奏機能	リズム・スタイル数:ROM = 128、ユーザー = 64 ピアノリスト・リズム・スタイル数:ROM = 26
エフェクト効果	リバーブ:13タイプ、その他:24タイプ、
レコーダー	8トラック (Control、Chord、KBD + 5トラック) ソング・コントロール (Pause、Rew、FF、Play/Stop、Record) 1ソング: 最大40,000ノート、1トラック: 最大16,300ノート 最大ノート数: 128,000ノート (12ソング録音時) 最大ソング数: 100ソング (全ソング合計: 72,000ノート)
ヘルプ画面	日本語 (漢字、カナ) / 英語:切り替え可能
デモ曲	ソング・デモ: 6曲、リズム・スタイル:9曲 音色: 9曲、ピアノ曲 (右手/左手 分離可能):24曲
メトロノーム	○ (オン/オフ、テンポ、拍子、ボリューム)
ディスプレイ	240 × 64 フルドット大型液晶画面 (タッチ画面仕様)
キー・トランスポーズ	-11 ~ +11 半音
ピッチ・コントロール	427.5 ~ 453.0Hz (0.5Hzステップ)
音律	10 + 4 ユーザー・スケール
レイヤー	○
スプリット	○
ペダル端子	ダンパー、アサインابل
アウトプット端子	L / MONO、R: 標準ジャック
インプット端子	ステレオ・ミニ・ジャック
ヘッドホン端子	ステレオ・ミニ・ジャック x 2
MIDI端子	IN、OUT
電源	付属AC/ACパワー・サブライ
消費電力	14W
外形寸法	1,285 (W) x 320 (D) x 122 (H) mm
重量	19.4kg
付属品	ヘッドホン、ペダル、AC/ACパワー・サブライ、譜面立て

※ 仕様および外装は改良のため予告なく変更することがあります。

- ・ MIDIおよびGENERAL MIDIは社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ その他の商品名、社名は、各社の登録商標および商標です。
- ・ Sound Processed with INFINITY™

プログラム・リスト

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Piano	ピアノ		Bank Prog
Grand Piano1	グランドピアノ1	400	5 0 w
Grand Piano2	グランドピアノ2	401	5 1 s
Grand Piano3	グランドピアノ3	402	5 2 s
Gentle Piano	ジェントル・ピアノ	403	5 3 w
Piano 1	ピアノ1	0	0 0 s
Piano 2	ピアノ2	1	0 1 s
Piano 3	ピアノ3	2	0 2 w
Honky-tonk	ホンキー・トンク	3	0 3 w
Harpsichord	ハープシコード	6	0 6 s
90's Piano	90's ピアノ	128	1 0 w
Rock Piano	ロック・ピアノ	129	1 1 w
New Piano	ニュー・ピアノ	130	1 2 w
M1 Piano	M1ピアノ	131	1 3 s
HarpsiFunk	ハーブシ・ファンク	134	1 6 w
Piano&Strgs	ピアノ&ストリングス	256	2 0 w
PianoPad	ピアノ・パッド	257	2 1 w
Midi Piano	ミディ・ピアノ	258	2 2 w
PianoVibes	ピアノ・バイブス	263	2 7 w
Lyle Stack	ライルスタック	291	2 35 w

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
E.Piano/ORGAN	エレクトリックピアノ/オルガン		Bank Prog
E.Piano 1	エレクトリックピアノ1	4	0 4 s
E.Piano 2	エレクトリックピアノ2	5	0 5 s
Clavi	クラビ	7	0 7 s
Whirly	ウーリー	132	1 4 w
DW-8000 EP	DW-8000エレピ	133	1 5 w
Clavmation	クラブメーション	135	1 7 w
Mark II bis	マーク・ビス	260	2 4 w
Hard Times	ハード・タイムズ	261	2 5 w
FunkyRoads	ファンキー・ローズ	262	2 6 w
Fantasia	ファンタジア	88	0 88 w
BellPad	ベル・パッド	226	1 98 w
Melody Organ	メロディー・オルガン	404	5 4 s
MelodyMonica	メロディー・ハーモニカ	405	5 5 s
ChurchOrgan	チャーチ・オルガン	19	0 19 w
Reed Organ	リード・オルガン	20	0 20 s
Organ 1	オルガン1	16	0 16 s
Organ 2	オルガン2	17	0 17 s
Organ 3	オルガン3	18	0 18 s
Musette	ミュゼット	21	0 21 s
Bandoneon	バンドネオン	23	0 23 s
Harmonica	ハーモニカ	22	0 22 s
Euro Pipe	ユーロ・パイプ	147	1 19 w
SmallPipe	スモール・パイプ	148	1 20 w
Gospel Org.	ゴスペル・オルガン	144	1 16 w
ClickOrgan	クリック・オルガン	145	1 17 w
Rotary Org.	ロータリー・オルガン	146	1 18 s
Fr.Musette	フレンチ・ミュゼット	149	1 21 w
Cassotto	キャソット	151	1 23 s
Akordeon	アコーデオン	150	1 22 w
Tone Wheel	トーン・ホイール	264	2 8 w
70' Organ	70' オルガン	265	2 9 w
Theatre Org.	シアター・オルガン	266	2 10 w
Velo Organ	タッチ・オルガン	267	2 11 w

※「No.」は「ミキサー1/3」ページなどで使用するプログラム番号です。

・「MIDI Bank#」が「0」のプログラムはGMで使用するプログラムです。

・s: 最大発音数64音のプログラム

w: 最大発音数32音のプログラム

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Flute/Sax	フルート/サクス		Bank Prog
Melody Flute	メロディー・フルート	406	5 6 s
Melody FltAtk	メロディフルートAtk	407	5 7 w
Melody Tenor	メロディー・テナー	408	5 8 s
Soprano Sax	ソプラノ・サクス	64	0 64 w
Alto Sax	アルト・サクス	65	0 65 s
Tenor Sax	テナー・サクス	66	0 66 s
Baritone Sax	バリトン・サクス	67	0 67 s
Piccolo	ピッコロ	72	0 72 s
Flute	フルート	73	0 73 s
Clarinet	クラリネット	71	0 71 s
Oboe 1	オーボエ1	68	0 68 s
English Horn	イングリッシュ・ホルン	69	0 69 s
Bassoon	バスーン	70	0 70 s
Recorder	リコーダー	74	0 74 s
Ocarina 1	オカリナ1	79	0 79 s
Pan Flute	パン・フルート	75	0 75 s
Bottle Blow	ボトル・ブロー	76	0 76 w
Shaku 1	シャクハチ1	77	0 77 s
Bagpipe	バグパイプ	109	0 109 w
Shanai	シャナイ	111	0 111 s
Whistle 1	ホイッスル1	78	0 78 s
Syn.Calliope	シンセ・カリオペ	82	0 82 w
Chiffer Lead	チファー・リード	83	0 83 w
AltoBreath	アルト・ブレス	192	1 64 w
Folk Sax	フォーク・サクス	193	1 65 w
SoftTenor	ソフト・テナー	194	1 66 w
PerkySaxes	パーキー・サクス	195	1 67 w
Synth Fife	シンセ・フルート	200	1 72 w
BreathFlute	ブレス・フルート	201	1 73 w
Clarn.Ens.	クラリネット Ens.	199	1 71 w
Oboe 2	オーボエ2	196	1 68 s
Woodwinds	ウッドウィンズ	197	1 69 w
Small^Orch	スモール・オーケストラ	198	1 70 w
Traverso	トラヴェルソ	202	1 74 w
Ocarina 2	オカリナ2	207	1 79 s
Kawala	カワラ	203	1 75 w
BottleBlow	ボトル・ブロー	204	1 76 w
Shaku 2	シャクハチ2	205	1 77 s
Jaw Harp	ジョー・ハーブ	237	1 109 s
Hichiriki	ヒチリキ	239	1 111 w
Whistle 2	ホイッスル2	206	1 78 w
PurePanLd.	ピュア・パンリード	210	1 82 w
Velo Flute	ヴェロ・フルート	288	2 32 w
Flute/Muted	フルート/ミュート	289	2 33 w
Folk Clar.	フォーク・クラリネット	292	2 36 s
SectWinds	セクト・ウィンズ	293	2 37 w
Poppin'Pad	ポッピン・パッド	310	2 54 w

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Brass/Choir	ブラス/クワイア		Bank Prog
MelodyTrumpet	メロディランペット	409	5 9 s
Melody MuteTp	メロディーミュートTp	410	5 10 s
Trumpet	トランペット	56	0 56 s
MuteTrumpet	ミュート・トランペット	59	0 59 s
Trombone	トロンボーン	57	0 57 s
Tuba	チューバ	58	0 58 s
FrenchHorns	フレンチ・ホルン	60	0 60 w
Brass	ブラス	61	0 61 w
Syn.Brass1	シンセ・ブラス1	62	0 62 w
Syn.Brass2	シンセ・ブラス2	63	0 63 w
FlugelHorn	フリューゲル・ホルン	184	1 56 s
Mute Ens.	ミュート・アンサンブル	187	1 59 w
Dynabone	ダイナボーン	185	1 57 w
OB. Tuba	OBチューバ	186	1 58 w
Horn Ens.	ホルン・アンサンブル	188	1 60 w
Brass Band	ブラス・バンド	189	1 61 w
Syn.Brass3	シンセ・ブラス3	190	1 62 w
Sfz<Brass	Sfz・ブラス	191	1 63 w

DblBrass	ダブル・ブラス	268	2	12	w
Trump Ens.	トランペット Ens.	290	2	34	w
Brass Fall	ブラス・フォール	319	2	63	w
Choir Aahs	クワイア アー	52	0	52	s
Solo Vox	ソロ・ボックス	85	0	85	w
Space Voice	スペース・ボイス	91	0	91	w
Halo Pad	ハロー・パッド	94	0	94	w
Brightness	ブライツネス	100	0	100	w
Echo Drops	エコー・ドロップ	102	0	102	s
Voice Oohs	ボイス ウー	53	0	53	s
SynVox	シンセ・ボックス	54	0	54	w
Breath Noise	ブレス・ノイズ	121	0	121	w
Doolally	ドゥーラリー	180	1	52	w
Vox Lead	ボックス・リード	213	1	85	w
Heaven	ヘブン	219	1	91	w
Polar Pad	ポーラー・パッド	222	1	94	w
ElastikPad	イラスティックパッド	228	1	100	w
Big Panner	ビッグ・パンナー	230	1	102	w
AirVoxDbl	エアボックスダブル	181	1	53	w
Glassglide	グラスグライド	182	1	54	w
Laughing	ラフイング	249	1	121	s
DanceReMix	ダンス・リミックス	271	2	15	w
LiteVoices	ライト・ボイス	304	2	48	w
DigitalAir	デジタル・エア	305	2	49	w
Air Vox	エア・ボックス	306	2	50	s
Ambi.Voice	アンビエント・ボイス	307	2	51	w
Airways	エアウェイズ	308	2	52	w

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Strings	ストリングス/ブラス/クワイア	Bank	Prog
Melody Violin	メロディーバイオリン	411	5 11 s
Strings	ストリングス	48	0 48 s
Slow Strings	スロー・ストリングス	49	0 49 s
Tremolo Str.	トレモロ・ストリングス	44	0 44 s
PizzicatoStr.	ピチカートストリング	45	0 45 s
Violin	バイオリン	40	0 40 w
Viola	ビオラ	41	0 41 s
Cello	チェロ	42	0 42 s
Contrabass	コントラバス	43	0 43 s
Marcato	マルカート	176	1 48 s
Expr Str.	Exp.ストリングス	177	1 49 s
Octave Str.	オクターブストリング	172	1 44 w
OctavePizz.	オクターブピチカート	173	1 45 w
The Strings	ザ・ストリングス	168	1 40 w
ChambViola	チェンバー・ヴィオラ	169	1 41 w
Cello Ens.	チェロ・アンサンブル	170	1 42 w
ChamDBass	チェンバー・Wベース	171	1 43 w
i3 Strings	i3ストリングス	296	2 40 w
N-Strings	N-ストリングス	297	2 41 w
Light Pizz	ライト・ピチカート	302	2 46 w
DblStrings	ダブルストリングス	303	2 47 w
Stab Pad	スタブ・パッド	309	2 53 w
SynStrings 1	シンセ・ストリングス1	50	0 50 w
SynStrings 2	シンセ・ストリングス2	51	0 51 w
AnalogPad	アナログ・パッド	178	1 50 w
AnaStrings	アナログストリングス	179	1 51 w
Fiddle	フィドル	110	0 110 s
MandoTrem.	マンドリン・トレモロ	238	1 110 w
Harp	ハープ	46	0 46 s
My dream	マイ・ドリーム	174	1 46 w
OrchestraHit	オーケストラ・ヒット	55	0 55 s
Impact Hit	インパクト・ヒット	183	1 55 w

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Guitar	ギター	Bank	Prog
Nylon Gtr.	ナイロン・ギター	24	0 24 s
SteelGtr.	スチール・ギター	25	0 25 s
Jazz Gtr.	ジャズ・ギター	26	0 26 s
Clean Gtr.	クリーン・ギター	27	0 27 s
Overdrive	オーバードライブ	29	0 29 s
Dist.Gtr.	ディスト・ギター	30	0 30 s
Muted Gtr.	ミュート・ギター	28	0 28 s
Charang	チャラン	84	0 84 w
GT.Harm.	ギター・ハーモニクス	31	0 31 s
L&R Ac.Gtr.	L&RアコースティックG	152	1 24 w
12 Strings	12 ギン・ギター	153	1 25 w
PedalSteel	ペダル・スチール	154	1 26 s
L&R El.Gtr.	ステレオ・エレキギター	155	1 27 w
DistoMutes	ディスト・ミュート	157	1 29 w
Solo Dist.	ソロ・ディストーション	158	1 30 w
Clean Funk	クリーン・ファンク	156	1 28 w
Dist.Lead	ディスト・リード	212	1 84 w
PowerChord	パワー・コード	159	1 31 w
R&R Guitar	R&R ギター	272	2 16 w
ResonatedGtr	レゾネート・ギター	273	2 17 s
ElectricAc.	エレ・アコ・ギター	274	2 18 w
Mr.Clean	ミスター・クリーン	275	2 19 s
Hackbrett	ハックブレット	276	2 20 w
Gtr.Strings	ギター・ストリングス	277	2 21 w
StereoDist.	ステレオ・ディスト	278	2 22 w
Sitar	シタール	104	0 104 w
Banjo	バンジョー	105	0 105 s
Santur	サントウル	15	0 15 s
Shamisen	シャミセン	106	0 106 s
Koto	コト	107	0 107 s
Gt.FretNoise	ギターフレットノイズ	120	0 120 s
Tambra	タンブーラ	232	1 104 w
Bouzouki	ブズーキ	233	1 105 w
Celtic Plug	ケルティック・プラグ	143	1 15 w
Oud	ウード	234	1 106 w
Kanoon	カヌーン	235	1 107 w
Ukulele	ウクレレ	236	1 108 s

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Bass	ベース	Bank	Prog
Acoustic Bs.	アコースティックベース	32	0 32 s
Fingered Bs.	フィンガー・ベース	33	0 33 s
Picked Bs.1	ピック・ベース1	34	0 34 s
Fretless Bs.	フレットレス・ベース	35	0 35 s
Slap Bass 1	スラップ・ベース1	36	0 36 s
Slap Bass 2	スラップ・ベース2	37	0 37 s
SynthBass 1	シンセ・ベース1	38	0 38 s
SynthBass 2	シンセ・ベース2	39	0 39 s
Upright	アップライト	160	1 32 w
Bass/Harm.	ベース・ハーモニクス	161	1 33 s
Picked Bs.2	ピック・ベース2	162	1 34 s
Fat Fretty	ファット・フレッティ	163	1 35 w
SuperRound	スーパー・ラウンド	164	1 36 w
DynaSlap	ダイナミックスラップ	165	1 37 w
Dance Bass	ダンス・ベース	166	1 38 w
SquareBass	スクエア・ベース	167	1 39 w
Ultra Rez	ウルトラ・レゾ	270	2 14 w
Gtr/Bass	ギター/ベース	279	2 23 w
FingerDark	フィンガー・ダーク	280	2 24 w
Dyno Bass	ダイノ・ベース	281	2 25 w
Bass/Mute	ベース/ミュート	282	2 26 w
Stick Bass	スティック・ベース	283	2 27 w
Deep House	ディープ・ハウス	284	2 28 w
Dr.Octave	ドクター・オクターブ	285	2 29 w
Rap Bass	ラップ・ベース	286	2 30 w
Zap bass	ザップ・ベース	287	2 31 w

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Synth/S.E.	シンセ/効果音	Bank	Prog
SquareWave	スクエア・ウェーブ	80	0 80 w
Saw Wave	ソー・ウェーブ	81	0 81 w
5Th Wave	フィフス・ウェーブ	86	0 86 w
Bass & Lead	ベース&リード	87	0 87 w
PolySynth	ポリ・シンセ	90	0 90 w
Ice Rain	アイス・レイン	96	0 96 w
Warm Pad	ウォーム・パッド	89	0 89 s
BowedGlass	ボウド・グラス	92	0 92 w
Metal Pad	メタル・パッド	93	0 93 w
Sweep Pad	スイープ・パッド	95	0 95 s
Soundtrack	サウンドトラック	97	0 97 w
Atomosphere	アトモスフィア	99	0 99 w
Goblin	ゴブリン	101	0 101 w
Star Theme	スター・テーマ	103	0 103 w
Soft Solo	ソフト・ソロ	208	1 80 w
Big Lead	ビッグ・リード	209	1 81 w
Rubby	ラビー	211	1 83 w
Big Fives	ビッグ・ファイブス	214	1 86 w
Big & Raw	ビッグ&ロー	215	1 87 w
Thick Pad	シック・パッド	216	1 88 w
Soft Pad	ソフト・パッド	217	1 89 w
Farluce	ファールース	218	1 90 w
Glass Pad	グラス・パッド	220	1 92 w
Panner Pad	パンナー・パッド	221	1 93 w
Celestial	セレスティアル	223	1 95 w
Caribbean	カリビーン	224	1 96 w
AmbientPad	アンビエントパッド	227	1 99 w
Bell Choir	ベル・クワイア	229	1 101 w
Odyssey	オディッシー	231	1 103 w
Fresh Air	フレッシュ・エアー	259	2 3 w
SlowSunset	スロー・サンセット	269	2 13 w
FallAngels	フォール・エンジェルズ	294	2 38 w
Lylesircs	ライルサークス	295	2 39 w
Ravel Pad	ラヴェル・パッド	298	2 42 w
Dark Pad	ダーク・パッド	299	2 43 w
Yoshi Pad	ヨシ・パッド	300	2 44 w
Swell Pad	スウェル・パッド	301	2 45 w
MonoLead	モノ・リード	311	2 55 w
Space Wing	スペース・ウィング	313	2 57 w
SteamCloud	スチーム・クラウド	316	2 60 s
Fragments	フラグメンツ	318	2 62 s
Rave	レイブ	225	1 97 w
Heart Beat	ハート・ビート	248	1 120 s
Jet Star	ジェット・スター	312	2 56 w
Ambience	アンビエンス	314	2 58 w
Glide Fx	グライド Fx	315	2 59 s
WhiteNoise	ホワイト・ノイズ	317	2 61 s
Seashore	シー・ショアー	122	0 122 s
Bird	バード	123	0 123 w
Telephone 1	テレフォン1	124	0 124 s
Helicopter	ヘリコプター	125	0 125 s
Applause	アプローズ	126	0 126 w
Gun Shot	ガン・ショット	127	0 127 s
Wind	ウィンド	250	1 122 w
Gallop	ギャロップ	251	1 123 s
Telephone 2	テレホン2	252	1 124 s
Train	トレイン	253	1 125 s
Stadium!!	スタジアム	254	1 126 w
Explosion	エクスプロージョン	255	1 127 w

Program Name	プログラム名	No.*	MIDI#
Percussion	パーカッション	Bank	Prog
Celesta	チェレスタ	8	0 8 w
Glockenspiel	グロッケンシュピール	9	0 9 s
Music Box	ミュージックボックス	10	0 10 w
Kalimba	カリンバ	108	0 108 s
Vibraphone	ビブラフォン	11	0 11 s
Marimba	マリンバ	12	0 12 s
Xylophone	シロフォン	13	0 13 s
Tubular Bell	チューブラー・ベル	14	0 14 s
Timpani	ティンパニー	47	0 47 s
Soft Timpani	ソフト・ティンパニー	175	1 47 s
Agogo	アゴゴ	113	0 113 s
Steel Drums	スチール・ドラム	114	0 114 s
Woodblock	ウッドブロック	115	0 115 s
Crystal	クリスタル	98	0 98 w
Tinkle Bell	ティンクル・ベル	112	0 112 w
Taiko	タイコ	116	0 116 s
Melo. Tom	メロウ・タム	117	0 117 s
Synth Drum	シンセドラム	118	0 118 w
ReverseCym.	リバース・シンバル	119	0 119 s
SynCelesta	シンセ・チェレスタ	136	1 8 w
Sistro	シストロ	137	1 9 w
Orgel	オルゲル	138	1 10 w
SynVibes	シンセ・バイブス	139	1 11 w
Balaphone	バラフォン	140	1 12 w
Gamelan	ガムラン	141	1 13 s
ChurchBell	チャーチ・ベル	142	1 14 s
Cowbell	カウベル	241	1 113 s
Claves	クラベス	242	1 114 s
Castanets	カスタネット	243	1 115 s
WindChimes	ウィンド・チャイム	240	1 112 w
Tsuzumi	ツヅミ	244	1 116 s
Oil Drum	オイル・ドラム	245	1 117 s
Rev.Tom	リバース・タム	246	1 118 s
Rev.Snare	リバース・スネア	247	1 119 s
GM Kit 1	GMキット1	384	4 0 --
GM Kit 2	GMキット2	385	4 1 --
Room Kit	ルーム・キット	386	4 8 --
Power Kit	パワー・キット	387	4 16 --
Electronic Kit	エレクトロニック・キット	388	4 24 --
Analog Kit	アナログ・キット	389	4 25 --
Dance Kit	ダンス・キット	390	4 26 --
Jazz Kit	ジャズ・キット	391	4 32 --
Brush Kit	ブラッシュ・キット	392	4 40 --
Orchestra Kit	オーケストラ・キット	393	4 48 --
Percussion Kit	パーカッション・キット	394	4 64 --
Latin Perc. Kit	ラテン・キット	395	4 65 --
Arabian Kit	アラビアン・キット	396	4 116 --
SFX Kit	SFXキット	397	4 56 --

Program Name USER	プログラム名 ユーザー	No.*	MIDI# Bank Prog	
Ambipiano	Ambipiano	320	3 0	w
Respiano	Respiano	321	3 1	w
FusionEP	FusionEP	322	3 2	w
Click EP	Click EP	323	3 3	w
SoftEP/Pad	SoftEP/Pad	324	3 4	w
Reed EP	Reed EP	325	3 5	w
BuzzBassEP	BuzzBassEP	326	3 6	w
Syn Piano	Syn Piano	327	3 7	w
ScannerOrg	ScannerOrg	328	3 8	w
Iced Organ	Iced Organ	329	3 9	w
Cheese4Dnr	Cheese4Dnr	330	3 10	w
Gurgle Org	Gurgle Org	331	3 11	w
Glide Dark	Glide Dark	332	3 12	w
Late Comet	Late Comet	333	3 13	w
Breathery	Breathery	334	3 14	w
Answer Pad	Answer Pad	335	3 15	w
SynthaGT1	SynthaGT1	336	3 16	w
Guitarlog	Guitarlog	337	3 17	w
Electr.Gap	Electr.Gap	338	3 18	w
CompChorGT	CompChorGT	339	3 19	w
Si/Guitar	Si/Guitar	340	3 20	w
CompBuzzGT	CompBuzzGT	341	3 21	w
Over GT.	Over GT.	342	3 22	w
Ethnic Str	Ethnic Str	343	3 23	w
Bass&Lead2	Bass&Lead2	344	3 24	w
SpittingLd	SpittingLd	345	3 25	w
BlurredAtk	BlurredAtk	346	3 26	w
RunningLd	RunningLd	347	3 27	w
Mayceinery	Mayceinery	348	3 28	w
DistoFlute	DistoFlute	349	3 29	w
DigiMeow	DigiMeow	350	3 30	w
Digi Bop	Digi Bop	351	3 31	w
ViolinoVib	ViolinoVib	352	3 32	w
Viola Vib	Viola Vib	353	3 33	w
Cello Vib	Cello Vib	354	3 34	w
SlowAirSax	SlowAirSax	355	3 35	w
B.BandSolo	B.BandSolo	356	3 36	w
Flute Vib	Flute Vib	357	3 37	w
FluteVoice	FluteVoice	358	3 38	w
Soft Trp	Soft Trp	359	3 39	s
Energy Str	Energy Str	360	3 40	w
AnaLow Str	AnaLow Str	361	3 41	w
AnaAnalogy	AnaAnalogy	362	3 42	w
Digitoyd	Digitoyd	363	3 43	w
Digi Brass	Digi Brass	364	3 44	w
HybridBrs	HybridBrs	365	3 45	w
OB Brass	OB Brass	366	3 46	w
TrptsThing	TrptsThing	367	3 47	w
Long Piano	Long Piano	368	3 48	w
Planar 00	Planar 00	369	3 49	w
Planar 07	Planar 07	370	3 50	w
Planar 09	Planar 09	371	3 51	w
E.Pianarm1	E.Pianarm1	372	3 52	w
ParisPad 1	ParisPad 1	373	3 53	w
Stratopad1	Stratopad1	374	3 54	w
Arpa Pad	Arpa Pad	375	3 55	w
AmbassFret	AmbassFret	376	3 56	w
Trombobell	Trombobell	377	3 57	w
Paddonbelz	Paddonbelz	378	3 58	w
Marimboyd	Marimboyd	379	3 59	w
Sharp Edge	Sharp Edge	380	3 60	w
Undermetal	Undermetal	381	3 61	w
Radioactiv	Radioactiv	382	3 62	w
Introspect	Introspect	383	3 63	w
Techno Kit	Techno Kit	398	4 72	--
Rock Kit	Rock Kit	399	4 73	--

リズム・スタイル・リスト

Style Name 8/16 BEAT	スタイル名 8/16 ビート	No.*
8 Beat	8ビート	64
GuitarBallad	ギター・バラード	65
L.A. R&B	L.A. R&B	66
Sweet Beat	スウィート・ビート	67
Analog Night	アナログ・ナイト	68
8 Beat Rock	8ビート・ロック	69
ShuffleShade	シャッフル・シェード	70
Rhythm&Beat	リズム&ビート	71
16 Beat	16ビート	72
Windy Beat	ウィンディー・ビート	73
Home Beat	ホーム・ビート	74
ColorBeat	カラー・ビート	75
Miami Beat	マイアミ・ビート	76
Analogyst	アナログリスト	77
Thin Funk	シン・ファンク	78
Easy Rock	イージー・ロック	79

Style Name DANCE	スタイル名 ダンス	No.*
Party Polka	パーティー・ポルカ	88
NonstopParty	ノンストップパーティ	89
Motown	モータウン	90
Love disco	ラブ・ディスコ	91
Disco '70	ディスコ'70	92
80's Dance	80'sダンス	93
House	ハウス	94
Techno	テクノ	95
Progressive	プログレッシブ	96
Underground	アンダーグラウンド	97
Jungle	ジャングル	98
Garage	ガラージュ	99
Euro Rap	ユーロ・ラップ	100
Hip Hop	ヒップ・ホップ	101
DancingTribe	ダンス・トライブ	102
Down Beat	ダウン・ビート	103

Style Name LATIN	スタイル名 ラテン	No.*
Basic Bossa	ベーシックボサノバ	104
Bossa nueva	ボサノバ・ニューバ	105
Miss Bossa	ミス・ボサノバ	106
Samba	サンバ	107
Sambalegre	サンバレグレ	108
Beguine	ビギン	109
Last Rhumba	ラスト・ルンバ	110
Cha Cha Cha	チャ・チャ・チャ	111
Tango	タンゴ	112
Habanera	ハバネラ	113
Paso Doble	パソ・ドブレ	114
Cumbia	クンビア	115
By on	バイオン	116
Calypso	カリプソ	117
Reggae	レゲエ	118
Dance Reggae	ダンス・レゲエ	119

Style Name BALLROOM	スタイル名 ボールルーム	No.*
Pop 6/8	ポップ6/8	80
Back to 60's	バック・トゥー60's	81
Rock 6/8	ロック6/8	82
Flipper 6/8	フリッパー6/8	83
Flipper 4/4	フリッパー4/4	84
Twist	ツイスト	85
Hully Gully	ハリー・ガリー	86
Beach Surfer	ビーチ・サーファー	87
Mambo	マンボ	120
Salsa	サルサ	121
Merengue	メレンゲ	122
Meneito	メネイト	123
Macarena	マカレナ	124
Tikitikita	チキチキタ	125
Lambada	ランバダ	126
Disco Samba	ディスコ・サンバ	127

Style Name TRAD	スタイル名 トラッド	No.*
Waltz	ワルツ	128
Mazurka	マズルカ	129
Polka	ポルカ	130
German Waltz	ジャーマン・ワルツ	131
Laendler	レンドラー	132
German Polka	ジャーマン・ポルカ	133
W. Musette	ワルツ・ミュゼット	134
French March	フレンチ・マーチ	135
WienerWaltz	ウィナー・ワルツ	136
Slow Waltz1	スロー・ワルツ1	137
Slow Waltz2	スロー・ワルツ2	138
Operetta	オペレッタ	139
Fox Trot	フォックス・トロット	140
Club Fox	クラブ・フォックス	141
Quick Step	クイック・ステップ	142
Charleston	チャールストン	143

Style Name JAZZ/FUNK	スタイル名 ジャズ/ファンク	No.*
BigBand 40's	B.バンド40'S	144
Big Band	ビッグ・バンド	145
Fast BigBand	ファスト・B.バンド	146
Latin BigBand	ラテン・B.バンド	147
Broadway	ブロードウェイ	148
Hollywood	ハリウッド	149
Jazz Waltz	ジャズ・ワルツ	150
5/4 Swing	5/4 スイング	151
Ballad	バラード	152
Medium Swing	ミディアムスイング	153
Be Bop	ビ・バップ	154
Acid Jazz	アシッド・ジャズ	155
Latin Jazz	ラテン・ジャズ	156
Still Life	スティル・ライフ	157
Party Funk	パーティー・ファンク	158
Groove	グルーブ	159

Style Name R&B/ROCK	スタイル名 R&B/ロック	No.*
R. & B.	R. & B.	160
6/8 Blues	6/8 ブルース	161
Gospel	ゴスペル	162
BluesShuffle	ブルース・シャッフル	163
Pop Shuffle	ポップ・シャッフル	164
Uncle Funk	アンクル・ファンク	165
Get Funked	ゲット・ファンク	166
ElectricFunk	エレクトリック・ファンク	167
Light Rock	ライト・ロック	168
Pop Rock	ポップ・ロック	169
Open Rock	オープン・ロック	170
Heavy Rock	ヘビー・ロック	171
Rock Ballad	ロック・バラード	172
Half Time	ハーフ・タイム	173
Rock & Roll	ロック&ロール	174
Rock Hip Hop	ロック・ヒップホップ	175

Style Name WORLD	スタイル名 ワールド	No.*
Country	カントリー	176
Country Beat	カントリー・ビート	177
Country Bld.	カントリー・バラード	178
Dixieland	ディキシーランド	179
OnTheBridge	オン・ザ・ブリッジ	180
Tarantella	タランテラ	181
Sevillana	セビリアーナ	182
Gipsy	ジプシー	183
9/8 Roman	9/8 ロマン	184
Ciftetelli	チフテデリ	185
Mariachi	マリアッチ	186
Raspa	ラスパ	187
Venezia	ベネチア	188
Minuetto	メヌエット	189
Bolero	ボレロ	190
New Age	ニュー・エイジ	191

Style Name PIANIST	スタイル名 ピアニスト	No.*
Classic	クラシック	192
Classic 3/4	クラシック 3/4	193
Waltz	ワルツ	194
March	マーチ	195
Ragtime	ラグタイム	196
Swing	スイング	197
Jazz Waltz	ジャズ ワルツ	198
Arpeggio 1	アルペジオ 1	199
Arpeggio 2	アルペジオ 2	200
Ballad	バラード	201
Rock Ballad	ロックバラード	202
Pop 1	ポップ 1	203
Pop 2	ポップ 2	204
Pop 3	ポップ 3	205
Country	カントリー	206
Shuffle	シャッフル	207
Gospel	ゴスペル	208
Boogie Woogie	ブギ ウギ	209
50's Rock	50's ロック	210
Bossa Nova	ボサノバ	211
Tango	タンゴ	212
Ballad Trio 1	バラードトリオ 1	213
Ballad Trio 2	バラードトリオ 2	214
Ballad Quartet	バラード カルテット	215
Jazz Trio	ジャズトリオ	216
Latin Quartet	ラテン カルテット	217

Style Name USER	スタイル名 ユーザー	No.*
Pop Ballad	Pop Ballad	0
Pop Ballad 2	Pop Ballad 2	1
4/4 Ballad	4/4 Ballad	2
4/4 Ballad 2	4/4 Ballad 2	3
8 Beat 5	8 Beat 5	4
Unplugged	Unplugged	5
16 Beat 5	16 Beat 5	6
Analog Soul	Analog Soul	7
Red Rose	Red Rose	8
Sunflower	Sunflower	9
Lite Bossa	Lite Bossa	10
Black Shape	Black Shape	11
Light Rock 2	Light Rock 2	12
Light Crunch	Light Crunch	13
Mdn Country	Mdn Country	14
Greyhound	Greyhound	15
6/8 Swing	6/8 Swing	16
Warm Ballad	Warm Ballad	17
Mood Swing	Mood Swing	18
Jimmy's mood	Jimmy's mood	19
SwingShuffle	SwingShuffle	20
All Star	All Star	21
The Duke	The Duke	22
The Count	The Count	23
60's Rock	60's Rock	24
Jhonny...	Jhonny...	25
60's Dance	60's Dance	26
VibraBeach	VibraBeach	27
Energy	Energy	28
Trance	Trance	29
Toonchi	Toonchi	30
Rave Party	Rave Party	31
Mondo Beat	Mondo Beat	32
Love Ballad	Love Ballad	33
On the road	On the road	34
Many Stories	Many Stories	35
True Love	True Love	36
Heart Beat	Heart Beat	37
Rock & Soul	Rock & Soul	38
Phaser Funk	Phaser Funk	39
Romance	Romance	40
SynphoBeat	SynphoBeat	41
Soft Beat	Soft Beat	42
Shuffle Beat	Shuffle Beat	43
Blue Tales	Blue Tales	44
12/8 beat	12/8 beat	45
Europe	Europe	46
Electro Pop	Electro Pop	47
DiscoTrance	DiscoTrance	48
Still Dance	Still Dance	49
...Go on!	...Go on!	50
GuitarDance	GuitarDance	51
Cool Cumbia	Cool Cumbia	52
Caribbean	Caribbean	53
HawaianDream	HawaianDream	54
Sirtaki	Sirtaki	55
Fast Walzer A	Fast Walzer A	56
Folk Mazurka	Folk Mazurka	57
Hit Polka	Hit Polka	58
Paris Valzer	Paris Valzer	59
Thin Fox	Thin Fox	60
Big Fox	Big Fox	61
Organ Swing	Organ Swing	62
Soft Bossa	Soft Bossa	63

※ 工場出荷時に[USER]に読み込まれているときのNoとMIDI No.です。

ドラム・キット・リスト

Key	GM Kit 1	GM Kit 2	Room Kit	Power Kit	Electronic Kit	Analog Kit	Dance Kit	Jazz Kit
# Note	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl
21 A0	Syn Kick 1	---	Syn Kick 1	---	Syn Kick 2	---	Dance Kick	---
22 A#0	SynSnare 2	---	SynSnare 2	---	AmbiSnare1	---	SynSnare 2	---
23 B0	Syn Kick 3	---	Syn Kick 3	---	Syn Kick 3	---	Syn Kick 3	---
24 C1	SynSnare 1	---	SynSnare 1	---	SynSnare 1	---	GatedSnare	---
25 C#1	FullRoomSD	---	FullRoomSD	---	LightSnare	---	PicloSnare	---
26 D1	GatedSnare	---	---	---	TightSnare	---	Snare 1	---
27 D#1	Dry Kick 2	---	Dry Kick 2	---	Fat Kick	---	Rock Kick	---
28 E1	Rock Kick	---	Ambi.Kick	---	Gated Kick	---	---	---
29 F1	Snare 2	---	AmbiSnare2	---	FullRoomSD	---	FullRoomSD	---
30 F#1	Open HH 1	1	Close HH	1	Open HH 1	1	Close HH	1
31 G1	Gated Kick	---	PillowKick	---	Real Kick	---	Fat Kick	---
32 G#1	Side Stick	---	---	---	Metronome2	---	Metronome2	---
33 A1	RollSnare2	7	RollSnare2	7	AmbiSnare2	---	GatedSnare	---
34 A#1	RollSnare1	7	RollSnare1	7	PowerSnare	---	FullRoomSD	---
35 B1	Fat Kick	---	ProcesKick	---	Rock Kick	---	Ambi.Kick	---
36 C2	Ambi.Kick	---	Fat Kick	---	Ambi.Kick	---	Gated Kick	---
37 C#2	Side Stick	---	Side Stick	---	Side Stick	---	Syn Rim	---
38 D2	DrySnare 1	---	DrySnare 1	---	GatedSnare	---	PowerSnare	---
39 D#2	Syn Claps	---	Syn Claps	---	Syn Claps	---	Syn Claps	---
40 E2	FullRoomSD	---	Rock Snare	---	LightSnare	---	GatedSnare	---
41 F2	Tom 2 Lo	---	Tom 2 Lo	---	Tom 1 Lo	---	ProcessTom	---
42 F#2	Close HH	1	Close HH	1	Close HH	1	Close HH	1
43 G2	Tom 2 Lo	---	Tom 2 Lo	---	Tom 1 Lo	---	ProcessTom	---
44 G#2	Pedal HH 1	1	Pedal HH 1	1	Pedal HH 1	1	Pedal HH 1	1
45 A2	Tom 2 Lo	---	Tom 2 Lo	---	Tom 1 Lo	---	ProcessTom	---
46 A#2	Open HH 1	1	Open HH 1	1	Open HH 1	1	Open HH 1	1
47 B2	Tom 2 Lo	---	Tom 2 Hi	---	Tom 1 Lo	---	ProcessTom	---
48 C3	Tom 2 Hi	---	Tom 2 Hi	---	Tom 1 Lo	---	ProcessTom	---
49 C#3	Crash Cym	---	Crash Cym	---	Crash Cym	---	Crash Cym	---
50 D3	Tom 2 Hi	---	Tom 2 Hi	---	Tom 1 Lo	---	ProcessTom	---
51 D#3	Ride Cym 2	---	Ride Cym 2	---	Ride Cym 2	---	Ride Cym 2	---
52 E3	China Cym	---	China Cym	---	China Cym	---	Rev.Cymbal	---
53 F3	Ride Cup	---	Ride Cup	---	Ride Cup	---	Ride Cup	---
54 F#3	Tambourine	---	Tambourine	---	Tambourine	---	Tambourine	---
55 G3	Splash Cym	---	Splash Cym	---	Splash Cym	---	Splash Cym	---
56 G#3	Cowbell 1	---	Cowbell 1	---	Cowbell 1	---	SynCowbell	---
57 A3	Crash Cym	---	Crash Cym	---	Crash Cym	---	Crash Cym	---
58 A#3	Viblaslap	---	Viblaslap	---	Viblaslap	---	Viblaslap	---
59 B3	Ride Cym 2	---	Ride Edge	---	Ride Cym 2	---	Ride Cym 2	---
60 C4	Hi Bongo	---	Hi Bongo	---	Hi Bongo	---	Hi Bongo	---
61 C#4	Lo Bongo	---	Lo Bongo	---	Lo Bongo	---	Lo Bongo	---
62 D4	Slap Conga	---	Slap Conga	---	Slap Conga	---	Slap Conga	---
63 D#4	Open Conga	---	Open Conga	---	Open Conga	---	Open Conga	---
64 E4	Open Conga	---	Open Conga	---	Open Conga	---	Open Conga	---
65 F4	Timbal1HiO	---	Timbal1HiO	---	Timbal1HiO	---	Timbal1HiO	---
66 F#4	Timbal1LoO	---	Timbal1LoO	---	Timbal1LoO	---	Timbal1LoO	---
67 G4	Agogo 1	---	Agogo 1	---	Agogo 1	---	Agogo 1	---
68 G#4	Agogo 1	---	Agogo 1	---	Agogo 1	---	Agogo 1	---
69 A4	Cabasa	---	Cabasa	---	Cabasa	---	Cabasa	---
70 A#4	SynMaracas	---	SynMaracas	---	SynMaracas	---	SynMaracas	---
71 B4	Whistle S	2	Whistle S	2	Whistle S	2	Whistle S	2
72 C5	Whistle L	2	Whistle L	2	Whistle L	2	Whistle L	2
73 C#5	Guiro S	4	Guiro S	4	Guiro S	4	Guiro S	4
74 D5	Guiro L	4	Guiro L	4	Guiro L	4	Guiro L	4
75 D#5	Claves	---	Claves	---	Claves	---	Claves	---
76 E5	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---
77 F5	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---
78 F#5	Mute Cuica	3	Mute Cuica	3	Mute Cuica	3	Mute Cuica	3
79 G5	Open Cuica	3	Open Cuica	3	Open Cuica	3	Open Cuica	3
80 G#5	MuteTriang	5	MuteTriang	5	MuteTriang	5	MuteTriang	5
81 A5	OpenTriang	5	OpenTriang	5	OpenTriang	5	OpenTriang	5
82 A#5	Cabasa	---	Cabasa	---	Cabasa	---	Cabasa	---
83 B5	JingleBell	---	JingleBell	---	JingleBell	---	JingleBell	---
84 C6	MarcTree 1	---	MarcTree 1	---	MarcTree 1	---	MarcTree 1	---
85 C#6	Castanet1V	---	Castanet1V	---	Castanet1V	---	Castanet1V	---
86 D6	Bayal 1	6	Bayal 1	6	Bayal 1	6	Bayal 1	6
87 D#6	Tom 2 Hi V	6	Tom 2 Hi V	6	Tom 2 Hi V	6	Tom 2 Hi V	6

Key	Brush Kit		Orchestra Kit		Percussion Kit		Latin Perc. Kit		Arabian Kit		SFX Kit		Techno Kit		Rock Kit		
#	Note	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl	Inst	Excl
21	A0	Tom 1 Lo	---	OFF		OFF		OFF		Metronome2	---	OFF		Dry Kick 2	---	Syn Kick 1	---
22	A#0	Tom 1 Lo	---	OFF		OFF		MuteTriang 7		Tubular 3	---	OFF		Rock Snare	---	SynSnare 2	---
23	B0	Tom 1 Lo	---	OFF		OFF		OpenTriang 7		Cowbell 1	---	OFF		Gated Kick	---	SynTom2 Lo	---
24	C1	Tom 1 Lo	---	RollSnare2 7		Flexatone	---	Flexatone	---	Cowbell 1	---	OFF		FullRoomSD	---	SynSnare 1	---
25	C#1	Tom 1 Hi	---	RollSnare1 7		FingCymbal	---	FingCymbal	---	RollSnare1	---	OFF		PicloSnare	---	LightSnare	---
26	D1	DrySnare 1	---	FingrSnap1	---	Tsuzumi	---	SynCowbell	---	FingrSnap1	---	OFF		Rock Snare	---	AmbiSnare2	---
27	D#1	Orch B.Drm	---	Close HH 1		Lo Bongo	---	Castanet 1 6		Zap 2	---	OFF		Syn Kick 1	---	Dry Kick 2	---
28	E1	Punch Kick	---	---	1	Hi Bongo	---	Castanet1V	---	Tite HH 1	---	OFF		Dance Kick	---	PillowKick	---
29	F1	FingrSnap1	---	Open HH 1 1		Lo Bongo	---	FingrSnap1	---	Gt Scratch	---	OFF		Snare 1	---	PicloSnare	---
30	F#1	Open HH 1 1		Ride Edge	---	Tambourine	---	Snap	---	Gt Scratch	---	OFF		Close HH 1		ClosSynHH1 1	
31	G1	Dry Kick 1	---	Stick Hit	---	Agogo 1	---	MetalHitHi	---	Stick Hit	---	Scratch b 1		Ambi.Kick	---	Ambi.Kick	---
32	G#1	Side Stick	---	Snap	---	Wind	---	MetalHitLo	---	Palm Conga	---	Scratch c 1		Zap 1	---	Metronome2	---
33	A1	Brush Tap	---	Metronome1	---	Agogo 1	---	Tsuzumi	---	Metronome2	---	GtCutNois1	---	FullRoomSD	---	DrySnare 1	---
34	A#1	Brush Tap	---	Tubular 3	---	Slap Bongo	---	Tsuzumi	---	Metronome1	---	GtCutNois2	---	SynSnare 2	---	LightSnare	---
35	B1	PillowKick	---	Real Kick	---	WoodBlockL	---	Tsuzumi	---	Ambi.Kick	---	Chic 2	---	Syn Kick 1	---	Metal Kick	---
36	C2	Dry Kick 2	---	Orch B.Drm	---	Claves	---	Orch B.Drm 1		Real Kick	---	Chic 1	---	Syn Kick 1	---	Gated Kick	---
37	C#2	Side Stick	---	Side Stick	---	WoodBlockM	---	Orch B.Drm 1		Side Stick	---	Bass Slide	---	Zap 1	---	Metronome2	---
38	D2	BrushNoise	---	DrySnare 1	---	BongBellOp	---	Agogo 1	---	Snare 1	---	Gt Scratch	---	SynSnare 1	---	Rock Snare	---
39	D#2	Brush Slap	---	Castanet1V	---	WoodBlockH	---	Agogo 1	---	Hand Claps	---	Zap 1	---	Syn Claps	---	Hand Claps	---
40	E2	Brush Swish	---	DrySnare 1	---	Castanet 1	---	Open Conga	---	Snare 1	---	WhiteNoise	---	LightSnare	---	FullRoomSD	---
41	F2	Brush Tom	---	Timpani	---	Baya 2	---	Mute Conga	---	Tom 1 Lo	---	Scratch Hi 2		OilDrum	---	Tom 1 Lo	---
42	F#2	Close HH 1		Timpani	---	Shaker 1	---	Palm Conga	---	Tite HH 1 1		Scratch Lo 2		Ride Edge 1		Tite HH 1 1	
43	G2	Brush Tom	---	Timpani	---	Baya 1	---	Slap Conga	---	Tom 1 Lo	---	Stick Hit	---	OilDrum	---	Tom 1 Lo	---
44	G#2	Pedal HH 1 1		Timpani	---	Maracas 1	---	SynMaracas	---	Tite HH 1 1		Footstep 2	---	Ride Edge 1		Pedal HH 1 1	
45	A2	Brush Tom	---	Timpani	---	Baya 2	---	Open Conga	---	Tom 1 Lo	---	Metronome2	---	OilDrum	---	Tom 1 Lo	---
46	A#2	Open HH 1 1		Timpani	---	Cabasa	---	MuteTriang 2		Open HH 1 1		Metronome1	---	Crash LP 1		Open HH 1 1	
47	B2	Brush Tom	---	Timpani	---	Tabla 3 1		OpenTriang 2		Tom 1 Hi	---	Gtr Slide	---	OilDrum	---	Tom 1 Lo	---
48	C3	Brush Tom	---	Timpani	---	Tabla 2 1		Mute Conga	---	Tom 1 Hi	---	GtCutNois1	---	OilDrum	---	Tom 1 Hi	---
49	C#3	Crash Cym	---	Timpani	---	Viblaslap	---	Palm Conga	---	Crash Cym 2		GtCutNois1	---	Crash Cym	---	Crash Cym	---
50	D3	Brush Tom	---	Timpani	---	Tabla 1 1		Slap Conga	---	Tom 1 Hi	---	StringSlap	---	OilDrum	---	Tom 1 Hi	---
51	D#3	Ride Cym 2	---	Timpani	---	MuteTriang 3		Tambourine	---	Ride Cym 2 3		StringSlap	---	Ride Cym 2	---	Ride Cym 2	---
52	E3	China Cym	---	Timpani	---	Orch B.Drm	---	Open Conga	---	Darabuka O	---	Laughing V	---	China Cym	---	China Cym	---
53	F3	Ride Edge	---	Timpani	---	OpenTriang 3		Lo Bongo	---	Darabuka M	---	Scream	---	Ride Cup	---	Ride Cup	---
54	F#3	Tambourine	---	Tambourine	---	Guiro S 2		Lo Bongo	---	Tambourine	---	Punch	---	Tambourine	---	Tambourin	---
55	G3	Splash Cym	---	Splash Cym	---	JingleBell	---	Hi Bongo	---	Darabuka R	---	Hart Beat	---	Splash Cym	---	Splash Cym	---
56	G#3	Cowbell 1	---	Cowbell 1	---	Guiro L 2		Timbal1LoO	---	Cowbell 1	---	Footstep 1	---	SynCowbell	---	Cowbell 1	---
57	A3	Crash Cym	---	Crash Cym	---	MarcTree 1	---	Slap Bongo	---	Darabuka R	---	Footstep 1	---	Crash Cym	---	Crash Cym	---
58	A#3	Viblaslap	---	Viblaslap	---	MarcTree 2	---	Timbal1LoO	---	Cabasa	---	Applause 1	---	Zap 2	---	Viblaslap	---
59	B3	Ride Cym 1	---	Orch Cym	---	Maracas 1	---	Tambourine	---	Douf Dom	---	Door Creak	---	Ride Cym 2	---	Ride Cym 2	---
60	C4	Hi Bongo	---	Hi Bongo	---	Hand Claps	---	Timbal1Pil	---	Douf Tak 2	---	Door Slam	---	Hi Bongo	---	Hi Bongo	---
61	C#4	Lo Bongo	---	Lo Bongo	---	Syn Claps	---	Timbal1HiO	---	Lo Bongo	---	Scratch a	---	Lo Bongo	---	Lo Bongo	---
62	D4	Slap Conga	---	Slap Conga	---	Scratch Lo	---	Timbal1Pil	---	Douf Tak 1	---	MarcTree 2	---	Douf Rim	---	Slap Conga	---
63	D#4	Open Conga	---	Open Conga	---	Scratch Hi	---	Timbal1HiO	---	Hi Bongo	---	Car Engine	---	Douf Dom	---	Open Conga	---
64	E4	Open Conga	---	Open Conga	---	ScratchDbl	---	Timbal1HiR	---	Douf Rim	---	Car Stop	---	Douf Dom	---	Open Conga	---
65	F4	Timbal1HiO	---	Timbal1HiO	---	Whistle S 4		Timbal1HiR	---	Tabla Dom	---	Car Pass	---	SolidHit	---	Timbal1HiO	---
66	F#4	Timbal1LoO	---	Timbal1LoO	---	Whistle L 4		Rek Dom 2	---	Tabla Roll 4		Car Crash	---	SolidHit	---	Timbal1LoO	---
67	G4	Agogo 1	---	Agogo 1	---	Slap Conga	---	Rek Dom 2	---	Tabla Tak 4		Siren	---	MouthHarp1	---	Agogo 1	---
68	G#4	Agogo 1	---	Agogo 1	---	Mute Conga	---	Rek Dom 2	---	Tabla Flam	---	Train	---	MouthHarp1	---	Agogo 1	---
69	A4	Cabasa	---	Cabasa	---	Open Conga	---	Rek Slap	---	Tabla Rim	---	Jetstar	---	Cabasa	---	Cabasa	---
70	A#4	SynMaracas	---	SynMaracas	---	Open Conga	---	BongBellOp	---	Slap Bongo	---	Helicopter	---	SynMaracas	---	SynMaracas	---
71	B4	Whistle S 2		Whistle S 2		Mute Cuica	---	WoodBlockL	---	Tabla 2	---	Laser Gun	---	Explosion 2		Whistle S 2	
72	C5	Whistle L 2		Whistle L 2		Open Cuica	---	WoodBlockM	---	Rek Dom 2	---	Gun Shot 2	---	Jetstar 2		Whistle L 2	
73	C#5	Guiro S 4		Guiro S 4		Timbal1Pil	---	BongBellMt	---	Rek Tak	---	MachineGun	---	Rev.Cymbal 4		Guiro S 4	
74	D5	Guiro L 4		Guiro L 4		Timbal1HiR	---	Maracas 1	---	Rek Dom 1	---	Laser Gun	---	Crash Cym 4		Guiro L 4	
75	D#5	Claves	---	Claves	---	Timbal1HiO	---	Manbo Bell	---	Rek Rim	---	Explosion	---	Syn Claves	---	Claves	---
76	E5	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---	Timbal1LoO	---	Cabasa	---	Rek Rim	---	Dog	---	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---
77	F5	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---	Syn Claves	---	Shaker 3	---	Rek Slap	---	Gallop	---	WoodBlockM	---	WoodBlockM	---
78	F#5	Mute Cuica 3		Mute Cuica 3		SynCowbell	---	Cowbell 1	---	Tambourine	---	Bird 1 3		Mute Cuica 3		Mute Cuica 3	
79	G5	Open Cuica 3		Open Cuica 3		FingrSnap1	---	Shaker 1	---	Rek Dom 2	---	Rain	---	Open Cuica 3		Open Cuica 3	
80	G#5	MuteTriang 5		MuteTriang 5		Taiko Hi	---	Shaker 1	---	Tambourine 2		Thunder	---	MuteTriang 5		MuteTriang 5	
81	A5	OpenTriang 5		OpenTriang 5		Taiko Lo	---	Shaker 2	---	Rek Tak 2		Wind	---	OpenTriang 5		OpenTriang 5	
82	A#5	Cabasa	---	Cabasa	---	Zap 2	---	Tambourim3	---	Rek Rim	---	Seashore	---	Cabasa	---	Cabasa	---
83	B5	JingleBell	---	JingleBell	---	RollSnare1 5		Tambourim1	---	Rek Slap	---	Stream	---	JingleBell	---	JingleBell	---
84	C6	MarcTree 1	---	MarcTree 1	---	RollSnare2 5		Tambourim2	---	Sagat Open 5		Bubble	---	MarcTree 1	---	MarcTree 1	---
85	C#6	Castanet1V	---	Castanet1V	---	Orch Cym 6		Tambourim2	---	Sagat HfOp 5		Kitty	---	Castanet1V	---	Castanet1V	---
86	D6	Baya 1 6		Baya 1 6		Orch Cym 6		Tambourim1	---	SagatClose 5		Bird 2	---	Baya 1 6		Baya 1 6	
87	D#6	Tom 2 Hi V 6		Tom 2 Hi V 6		Udu	---	Udu	---	JingleBell	---	Growl 2	---	Tom 2 Hi V 6		Tom 2 Hi V 6	
88	E6	OFF		Applause 1 1		Orch Hit	---	DjembeOpen	---	DjembeOpen 6		Stadium	---	OFF		OFF	
89	F6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Maracas 1	---	DjembeOpen 6		Telephone1	---	OFF		OFF	
90	F#6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Maracas 1	---	Darabuka O 6		Telephone2	---	OFF		OFF	
91	G6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Mute Cuica	---	Sagat Open 7		OFF		OFF		OFF	
92	G#6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Guiro L 3		Sagat HfOp 7		OFF		OFF		OFF	
93	A6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Guiro S 3		SagatClose 7		OFF		OFF		OFF	
94	A#6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Guiro S 3		JingleBell	---	OFF		OFF		OFF	
95	B6	OFF		OFF		Orch Hit	---	Open Cuica	---	Real Kick	---	OFF		OFF		OFF	
96	C7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Claves	---	Cast Roll	---	OFF		OFF		OFF	
97	C#7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Whistle S 4		OFF		OFF		OFF		OFF	
98	D7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Whistle L 4		OFF		OFF		OFF		OFF	
99	D#7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Sagat Open 5		OFF		OFF		OFF		OFF	
100	E7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Sagat HfOp 5		OFF		OFF		OFF		OFF	
101	F7	OFF		OFF		Orch Hit	---	SagatClose 5		OFF		OFF		OFF		OFF	
102	F#7	OFF		OFF		Orch Hit	---	JingleBell	---	OFF		OFF		OFF		OFF	
103	G7	OFF		OFF		Orch Hit	---	MarcTree 1	---	OFF		OFF		OFF		OFF	
104	G#7	OFF		OFF		Orch Hit	---	MarcTree 2	---	OFF		OFF		OFF		OFF	
105	A7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Tri Roll 2		OFF		OFF		OFF		OFF	
106	A#7	OFF		OFF		Orch Hit	---	Cast Roll 6		OFF		OFF		OFF		OFF	
107	G8	OFF		OFF		Orch Hit	---	Metronome1	---	OFF		OFF		OFF		OFF	

デモ曲・リスト

ピアノ曲・デモ

曲名	Piano Demo Songs
1 J.S.バッハ / プレリュード(平均律第1番より)	J.S.Bach / The equal temperament No.1 ~Prelude
2 W.A.モーツァルト / ソナタK.545 第1楽章	W.A.Mozart / Sonata K.545
3 W.A.モーツァルト / ソナタ K.331 第3楽章「トルコ行進曲」	W.A.Mozart / Sonata K.331
4 L.v.ベートーヴェン / エリーゼのために	L.v.Beethoven / For Elise
5 F.ブルグミュラー / アラベスク Op.100-2	F.Burgmuller / Arabesque Op.100-2
6 F.ブルグミュラー / スティリアの女 Op.100-14	F.Burgmuller / La styrienne Op.100-14
7 F.ブルグミュラー / 貴婦人の乗馬 Op.100-25	F.Burgmuller / La chevaleresque Op.100-25
8 F.メンデルスゾーン / 春の歌 Op.62-6	F.Mendelssohn / Springs Song Op.62-6
9 F.ショパン / ワルツ 第6番 変ニ長調「小犬」 Op.64-1	F.Chopin / Waltz No.6 D _♭ -major Op.64-1
10 F.ショパン / ワルツ 第7番 ホ短調 Op.64-2	F.Chopin / Waltz No.7 E-minor Op.64-2
11 F.ショパン / ノクターン第2番 Op.9-2	F.Chopin / Nocturne Op.9-2
12 F.ショパン / マズルカ第5番 Op.7-1	F.Chopin / Mazurka No.5 Op.7-1
13 R.シューマン / トロイメライ Op.15-7	R.Schumann / A Dream Op.15-7
14 G.ランゲ / 荒野のばら	G.Lange / Heidenroslein
15 A.エルメンライヒ / 紡ぎ歌	A.Ellmenreich / Spinning Song
16 T.オースティン / 人形の夢と目覚め	T.Oesten / Dolly's Dreaming and Awakening
17 C.ドビュッシー / ゴリウオーグのケーキウォーク	C.Debussy / Golliwog's Cake walk
18 C.ドビュッシー / 垂麻色の髪の乙女	C.Debussy / La fille aux cheveux de lin
19 C.ドビュッシー / アラベスク 第1番	C.Debussy / Arabesque No.1
20 C.ドビュッシー / 月の光	C.Debussy / Clair de lune
21 F.ショパン / 黒鍵のエチュード Op.10-5	F.Chopin / Etude Op.10-5
22 F.ショパン / 別れの曲 Op.10-3	F.Chopin / Etude Op.10-3
23 E.サティ / ジムノペディ第1番	E.Satie / Gymnopedie No.1
24 E.エルガー / 愛の挨拶	E.Elgar / Salut d'Amour

スタイル・デモ

グループ名	スタイル名	Style Group	Style Name
1 8/16 ビート	アナログスト	8/16 BEAT	Analogyst
2 ダンス	ジャングル	DANCE	Jungle
3 ラテン	ミス・ボサノバ	LATIN	Miss Bossa
4 ボールルーム	サルサ	BALLROOM	Salsa
5 トラッド	ジャーマン・ワルツ	TRAD	German Waltz
6 ジャズ/ファンク	ビッグ・バンド	JAZZ/FUNK	Big Band
7 R&B/ロック	R. & B.	R&B/ROCK	R. & B.
8 ワールド	カントリー	WORLD	Country
9 ピアニスト	ロックバラード	PIANIST	Rock Ballad

プログラム・デモ

グループ名	プログラムデモ (音色デモ)	Prog. Group	Prog. Name
1 ピアノ	F.ショパン / 幻想即興曲 Op.66	PIANO	F.Chopin / Fantasy-Impromptu Op.66
2 エレクトリックピアノ/オルガン	KORGオリジナル / The Harp of Wind	E.PIANO/ORGAN	KORG Original / The Harp of Wind
3 フルート/サクソ	P.チャイコフスキー / くるみ割り人形 ~ 行進曲 Op.71a	FLUTE/SAX	P.Tschaikowsky / Nutcracker ~ March Op.71a
4 ブラス/クワイア	M.ムソルグスキー / 展覧会の絵 ~ プロムナード	BRASS/CHOIR	M. Moussorgsky / Pictures at an Exhibition ~ Promenade
5 スtringス	J.S.バッハ / G線上のアリア	STRINGS	J.S.Bach / Air on the G string
6 ギター	J.S.バッハ / ブーレ	GUITAR	J.S.Bach / Bourree
7 ベース	KORGオリジナル / Movement	BASS	KORG Original / Movement
8 シンセ/効果音	KORGオリジナル / Synth Pict.	SYNTH/S.E.	KORG Original / Synth Pict.
9 パーカッション	KORGオリジナル / A Target, R.コルサコフ / 熊蜂の飛行	PERCUSSION	KORG Original/A Target, R.Korsakov/The Flight of The Bumble Bee

ソング・デモ

Winter Game
作曲者: David Foster / アーティスト: David Foster
We're all alone
作曲者: Boz Scaggs / アーティスト: Boz Scaggs
となりのトトロ
作曲者: 久石 譲 / アーティスト: 井上 あずみ
らいおんハート
作曲者: コモリタ ミノル / アーティスト: SMAP
Your Song
作曲者: Elton John / アーティスト: Elton John
TSUNAMI
作曲者: 桑田 佳祐 / アーティスト: Southern All Stars

認識できるコード一覧

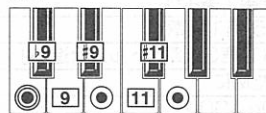
右図のコードはすべて、ルート音がCの根音位置と
なっています。本機がメジャー6thとマイナー6thを
正しく認識するには、このような根音位置でコードを
弾く必要があります。というのは、これらのコードが関
係短調のマイナー7thとマイナー7th ♭5のコード
と同じ音で構成されているからです。たとえば、ド・ミ
- ソ - ラの組合せはC6にもAm7にもなります。

●: 根音 ●: コードの構成音
□: テンションとして使用できる音

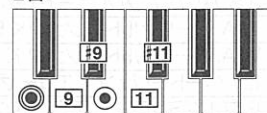
Major

"C"

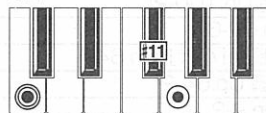
3音



2音



2音



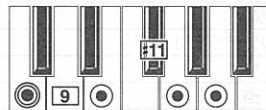
1音



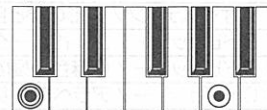
Major 6th

"C6"

4音



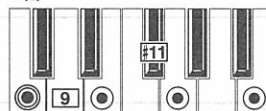
2音



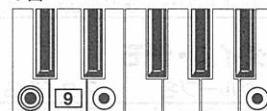
Major 7th

"CM7"

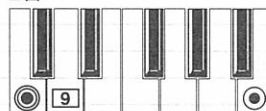
4音



3音



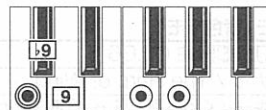
2音



Sus 4

"Csus4"

3音



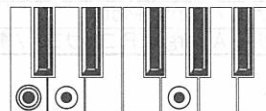
2音



Sus 2

"Csus2"

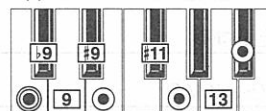
3音



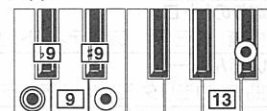
Dominant 7th

"C7"

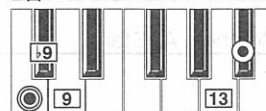
4音



3音

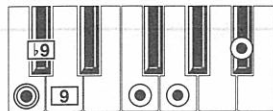


2音

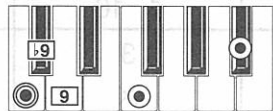


Dominant 7th Sus 4 "C7sus4"

4音

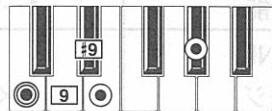


3音



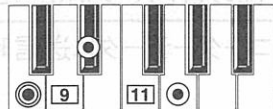
Augmented "Caug"

3音



Minor "Cm"

3音

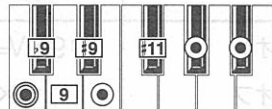


2音



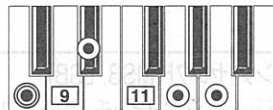
Augmented 7th "Caug7"

4音



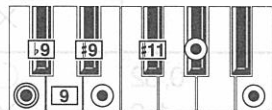
Minor 6th "Cm6"

4音



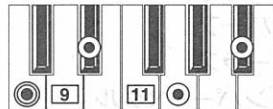
Augmented Major 7th "CaugM7"

4音



Minor 7th "Cm7"

4音

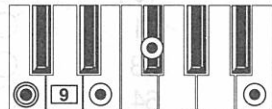


3音



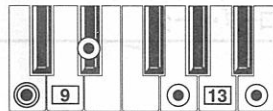
Major 7th b5 "CM7b5"

4音

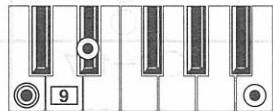


Minor-Major 7th "CmM7"

4音

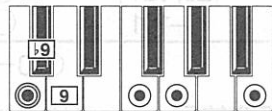


3音



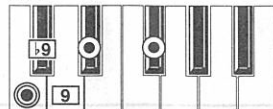
Major 7th Sus 4 "CM7sus4"

4音



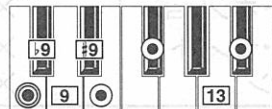
Diminished "Cdim"

3音



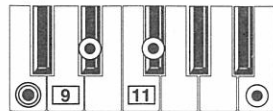
Dominant 7th b5 "C7b5"

4音



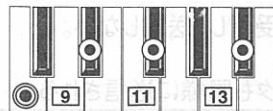
Diminished Major 7th "CdimM7"

4音



Minor 7th b5 "Cm7b5"

4音



ファンクション...		送信	受信	備考	
ベーシック チャンネル:	電源ON時	1-16	1-16	記憶される	
	設定可能	1-16	1-16		
モード	電源ON時		3		
	メッセージ 代用	× *****	×		
ノート ナンバー:	音域	10-119 *****	0-127 21-108	レコーダーデータは送信時0-127 一部の音色で受信0-127	
ベロシティ:	ノート・オン	○9n, V=1-127	○9n, V=1-127	レコーダーデータは送信時2-126	
	ノート・オフ	×	×		
アフタータッチ:	キー別	×	○	チャンネル別として機能	
	チャンネル別	×	○		
ピッチ・ベンダー		×	○		
コントロール チェンジ	0, 32	○	○	バンク・セレクト(MSB, LSB)	*P
	1, 2	×	○	モジュレーション(ピッチ、カットオフ)	*C
	7	○	○	ボリューム	*C
	11	×	○	エクスプレッション	*C
	10	○	○	パンポット	*C
	91	○	○	リバーブ	*C
	93	○	○	コーラス	*C
	64	○	○	ダンパー・ペダル	*2*C
	66	×	○	ソステヌート・ペダル	*C
	67	○	○	ソフト・ペダル	*2*C
	120, 121	○	○	オールサウンドオフ、リセットオールコントロール	*C
	0-101	○	○	レコーダーデータ	*3
	プログラム チェンジ:	設定可能範囲	○0-127 *****	○0-127 0-127	
エクスクルーシブ		○	○		*E
コモン:	ソング・ポジション	×	×		
	ソング・セレクト	×	×		
	チューン	×	×		
リアルタイム:	クロック	○	○		*1
	コマンド	○	○		*1
その他:	ローカル・オン/オフ	×	○		
	オール・ノート・オフ	○	○123-127		
	アクティブセンシング	○	○		
	リセット	×	×		
備考					
*C コントロールチェンジがイネーブルに設定されているとき、送受信する。					
*P プログラムチェンジがイネーブルに設定されているとき、送受信する。					
*E エクスクルーシブがイネーブルに設定されているとき、送受信する。					
*1 クロックがインターナルのとき送信し、受信しない。エクスターナルのときは受信し、送信しない。					
*2 ハーフダンパー出力値(0、38、74、127) ※別売のDS-1H使用時のみ					
*3 *C、*Pの設定にかかわらずレコーダーには記録される。レコーダーの記録データも同様に送信される。					

モード1: オムニオン、ポリ モード2: オムニオン、モノ

○: あり

モード3: オムニオフ、ポリ モード4: オムニオフ、モノ

×: なし

MIDI IMPLEMENTATIONの配布については、コルグお客様相談窓口へお問い合わせください。

索引

M

MIDI 69

P

[PLAY PIANO]スイッチ 28

S

[SINGLE TOUCH]スイッチ 44

ア

アカンパニメント 37

アサイナブル・スイッチ 33

アンサンブル 42

イ

イベント・エディット 58

イベント・タイプ 59

イントロ 39, 43

エ

エフェクト効果 30

エンディング 39, 43

カ

カスタム 45

ク

クォンタイズ 53, 57

コ

コード 37

コードの指定方法 37, 41

コーラス 30

コピー 34, 45

コントロール・イベント・タイプ 56

シ

自動伴奏 37

シンクロ・スタート/ストップ 39, 41

ス

スプリット機能 27

スプリット・ポイント 28, 40

ソ

操作パネル 12

タ

多重録音 53

タッチ・コントロール機能 34

ダンパー・ペダル 33

テ

テンポ 32, 39

ト

ドラムキット 25

ハ

パート 40

ハーモニー 39

パラメーター 46, 47

バリエーション 39, 43

ヒ

ピアニスト 37

フ

フィル 39, 44

プログラム 24

[USER]プログラム・グループ 25, 34

プログラム・グループ 24

プログラム名 35

フロント・パネル 10

ヘ

ペダル 33

ホ

ポップアップ画面 16, 24, 68

ミ

ミディ 69

ミュート 40

メ

メトロノーム 31

リ

リズム・スタイル 37, 38

[USER]リズム・スタイル・グループ 45

カスタム・リズム・スタイル 46

リズム・スタイル・グループ 38

リズム・スタイル名 45

リネーム 35

リバーブ効果 29

レ

レイヤー機能 26

レゾリューション 53, 58

ロ

録音方式 53

ロケーション 55

ワ

和音 37

アフターサービス

■保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路など）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan.
Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03 (3799) 9086

- サービス・センター: 〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1
明正大井5号営業所コルグ物流センター内 TEL 03 (3799) 9085
- 名古屋営業所: 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町100-51 TEL 052 (832) 1419
- 大阪営業所: 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F TEL 06 (6374) 0691
- 福岡営業所: 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-25 第2池田ビル1F TEL 092 (531) 0166